







4-4 1 既存塗膜等の除去及び下地処理 2 下地調整 3 仕上塗材仕上げ

6 1 改修工事 2 見本の製作等 3 防犯建物部品 4 アルミニウム製建具 5 網製建具 6 網製軽量建具 7 ステンレス製建具

8 木製建具 9 建具用金物 10 自動ドア閉鎖装置 11 自閉式上吊り引戸装置 12 重量シャッター 13 軽量シャッター 14 防臭シャッター 15 オーバーヘッドドア

16 ガラス 17 防塵、防蟻処理 18 接着剤 (内装改修工事全般) 19 軽量鉄骨天井下地 20 軽量鉄骨壁下地 21 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

22 床張り用合板及びその他の合板 23 天然木化粧合板 24 特殊加工化粧合板 25 防塵処理 26 接着剤 (内装改修工事全般) 27 軽量鉄骨天井下地 28 軽量鉄骨壁下地 29 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り 30 網製軽量建具



<p>8-3 あと施工アンカー</p>	<p>1 あと施工アンカー [8.2.4]</p> <p>材料等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金属系アンカー <ul style="list-style-type: none"> <li>セット方式 ※本体打込み式</li> <li>引張耐力 ※図示</li> <li>せん断耐力 ※図示</li> <li>接合部の種類、径、長さ ※図示</li> <li>性能確認試験 ・実施する(試験方法及び試験数 ※図示) ・実施しない</li> </ul> </li> <li>接着系アンカー <ul style="list-style-type: none"> <li>アンカーの種類 ※カプセル型</li> <li>引張耐力 ※図示</li> <li>せん断耐力 ※図示</li> <li>接着剤の品質 ※有機系 ・無機系</li> <li>アンカー部の種類 ※改修仕様表8.2.10の異形棒鋼 ・全ねじボルト</li> <li>性能確認試験 ・実施する(試験方法及び試験数 ※図示) ・実施しない</li> </ul> </li> </ul> <p>2 穿孔前の埋込み配管等の調査 [8.1.2.2]</p> <p>調査範囲 ※あと施工アンカー施工部分すべて</p> <p>調査方法 ※図示</p> <p>※鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う</p> <p>・はつり出しによる</p> <p>3 施工確認試験 [8.1.2.5]</p> <p>試験の適用(接着系アンカー)</p> <p>※実施する(試験方法 ※引張試験 ・ )</p> <p>確認強度 ※図示</p> <p>・実施しない</p> <p>4 シアコネクタ(現場打ちコンクリート壁の打増し部にいるシアコネクタ) [8.2.4][8.3.7]</p> <p>種類 ※金属拡張系あと施工アンカーの異形差筋アンカー</p> <p>径(mm) ※D10</p> <p>既存壁への有効埋込み長さ(mm) ※7d (d:シアコネクタの径)</p> <p>増打し壁への有効定着長さ(mm)</p> <p>間隔(mm) ※500×500</p> <p>5 型枠工事 [8.7.8]</p> <p>シアコネクタとセパレータの兼用 ※兼用してもよい ・兼用しない</p>	<p>6 軽量コンクリート [8.9.1]</p> <p>設計基準強度 <math>F_c</math> (N/mm<sup>2</sup>)</p> <p>・2.7 ・3.0 ・3.3 ・3.6</p> <p>適用箇所</p> <p>7 断熱材兼用型枠 [8.9.2]</p> <p>混和材料</p> <p>※湿和剤</p> <p>※高性能A E減水剤標準形又は遅延形 (19.9.2)(19.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>断熱材兼用型枠</td> <td>・木質系</td> <td>※40以下</td> <td>断熱抵抗</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・コンクリート系</td> <td></td> <td>＝厚さ×熱伝導率</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・プラスチック系</td> <td></td> <td>＝0.676以上 (m<sup>2</sup>・K/W)</td> </tr> </table> <p>製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの</p> <p>8 コンクリートの打込み工法等 [8.2.1.8][8.2.3.5]</p> <p>部位ごとのコンクリート打込み工法の指定</p> <table border="1"> <tr> <th>補強工法</th> <th>打込み工法</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td>現場打ち鉄筋</td> <td>※工法指定なし</td> <td>・すべての増設壁 ・図示</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>・流し込み工法 [8.1.9.8(a)(1)及び(b)]</td> <td>・すべての増設壁 ・図示</td> </tr> <tr> <td>壁の増設工事</td> <td>・圧入工法 [8.1.9.8(a)(2)及び(c)]</td> <td>・すべての増設壁 ・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート柱の溶接</td> <td>※工法指定なし</td> <td>・すべての増設柱 ・図示</td> </tr> <tr> <td>金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法</td> <td>・流し込み工法 [8.1.9.8(a)(1)及び(b)]</td> <td>・すべての増設柱 ・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・圧入工法 [8.1.9.8(a)(2)及び(c)]</td> <td>・すべての増設柱 ・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法での型枠等 [8.2.3.5]</p> <p>柱頭柱脚の脚間部間の型枠</p> <p>※発泡プラスチック保温材等を埋め込む</p> <p>柱頭柱脚の隙間寸法 ※図示</p> <p>既存柱外周部あたりコンクリート又はモルタルの厚さ ※図示</p>	種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等	断熱材兼用型枠	・木質系	※40以下	断熱抵抗		・コンクリート系		＝厚さ×熱伝導率		・プラスチック系		＝0.676以上 (m <sup>2</sup> ・K/W)	補強工法	打込み工法	部位	現場打ち鉄筋	※工法指定なし	・すべての増設壁 ・図示	コンクリート	・流し込み工法 [8.1.9.8(a)(1)及び(b)]	・すべての増設壁 ・図示	壁の増設工事	・圧入工法 [8.1.9.8(a)(2)及び(c)]	・すべての増設壁 ・図示			・図示	鉄筋コンクリート柱の溶接	※工法指定なし	・すべての増設柱 ・図示	金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・流し込み工法 [8.1.9.8(a)(1)及び(b)]	・すべての増設柱 ・図示		・圧入工法 [8.1.9.8(a)(2)及び(c)]	・すべての増設柱 ・図示			・図示	<p>8-6 グラウト工事</p> <p>1 モルタル及びグラウト材</p> <p>構造用モルタル 場所:開口閉塞壁 [8.2.6][8.2.11]</p> <p>※ [8.2.10] 及び [8.5.10] による</p> <p>柱座均しモルタル [8.2.11]</p> <p>※無収縮モルタル</p> <p>グラウト材 [8.2.11]</p> <p>※無収縮グラウト材(セメント、混和材、砂は無収縮モルタルに準ずる)</p> <p>無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は以下による</p> <p>無収縮グラウトの材料及び割合</p> <table border="1"> <tr> <th>混和材</th> <th>セメント系(酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等)によって膨張する性質を利用するものとする。</th> </tr> <tr> <th>セメント</th> <td>JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通または単強ポルトランドセメントとする。</td> </tr> <tr> <th>砂</th> <td>(社)土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。(各重量比) (セメント+混和材):砂=1:1</td> </tr> </table> <p>無収縮モルタルの品質及び試験方法 [表8.2.10]</p> <p>コンシステンシー</p> <p>Jロートによる落下時間</p> <p>練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒</p> <p>練り混ぜ2時間後のフリーディング率 2.0%以下</p> <p>フリーディング</p> <p>練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒</p> <p>練り混ぜ2時間後のフリーディング率 2.0%以下</p> <p>凝結時間</p> <p>凝結開始時間 1時間以上</p> <p>最終時間 10時間以内</p> <p>無収縮性</p> <p>材齢7日 収縮しないこと</p> <p>圧縮強度</p> <p>材齢3日 25.0N/mm<sup>2</sup>以上</p> <p>材齢28日 45.0N/mm<sup>2</sup>以上</p> <p>付着強度</p> <p>材齢28日 3.0N/mm<sup>2</sup>以上</p> <p>塩化物量</p> <p>0.30kg/m<sup>3</sup>以上</p> <p>試験方法</p> <p>1)NEXCO0312-1999(無収縮モルタル品質管理試験方法)による。</p> <p>2)塩化物量は、JISA 5308(レディミクストコンクリート)9.6塩化物含有量の試験方法による。</p>	混和材	セメント系(酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等)によって膨張する性質を利用するものとする。	セメント	JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通または単強ポルトランドセメントとする。	砂	(社)土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。(各重量比) (セメント+混和材):砂=1:1	<p>9 環境配慮改修工事</p> <p>① アスベスト含有建材の処理工事 [9.1.1]</p> <p>分析によるアスベスト含有の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行う(採取箇所 ※図示)</li> </ul> <p>調査方法</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>調査方法(1材料当たりの試料数)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析(※3 ・ ) ・定量分析(・3 ・ )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析(※3 ・ ) ・定量分析(・3 ・ )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析(※3 ・ ) ・定量分析(・3 ・ )</td> </tr> </table> <p>分析方法</p> <p>※JIS A 1481(建材製品中のアスベスト含有率測定方法)による</p> <p>分析結果については、監督職員に報告すること</p> <p>報告書の書式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(社)日本作業環境測定協会発行「石綿分析結果報告書」</li> </ul> <p>アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1]</p> <p>・行う(測定箇所 ※図示)</p> <p>測定時期、場所及び測定点数</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点数(各処理作業ごと)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・測定1</td> <td>知処理作業前</td> <td></td> <td>処理作業室内</td> <td>各( )点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・測定2</td> <td></td> <td></td> <td>施工区画周辺</td> <td>計2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・測定3</td> <td></td> <td></td> <td>処理作業室内</td> <td>各( )点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・測定4</td> <td></td> <td></td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>各1点</td> <td>空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> <td>知処理作業中</td> <td></td> <td>責任・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)</td> <td>各1点</td> <td>除じん装置の性能確認</td> </tr> <tr> <td>・測定6</td> <td></td> <td></td> <td>施工区画周辺</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・測定7</td> <td>知処理作業後(隔離シート撤去前)</td> <td></td> <td>施工区画周辺</td> <td>各(2)点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・測定8</td> <td></td> <td></td> <td>撤去前</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td>点</td> <td></td> </tr> </table> <p>(1)施工区画とは、処理作業室、セキュリティゾーン、廃棄物置場、資材置き場等を含む本処理工事に直接又は間接的に係る区画、施工区画周辺とは、その区画境界の前後1m以内の範囲をいう。</p> <p>(2)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督職員と協議する。</p> <p>測定方法</p> <p>JIS K 3850-1(空气中の繊維状粒子測定方法-第1部:光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法)による。</p> <p>種類</p> <p>※位相差顕微鏡法</p> <p>試料採取フィルターを二分割し、一方を位相差顕微鏡法として使用し、他方はその結果が高い場合(10本/ℓ以上)に行う位相差・分散顕微鏡法に保存しておく。</p> <p>・位相差、分散顕微鏡法</p> <p>測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>測定3(作業環境)</th> <th>測定1,4,5,7(室内環境)</th> <th>測定2,6,8(大気環境)</th> </tr> <tr> <td>メンブレンフィルターの直径(mm)</td> <td>2.5</td> <td>2.5</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/分)</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(分)</td> <td>5</td> <td>1.2</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>係数視野数</td> <td>5.0</td> <td>5.0</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>定量限界(本/ℓ)</td> <td>5.0</td> <td>0.5</td> <td>0.3</td> </tr> </table> <p>測定記録項目</p> <p>(1)除去するアスベスト含有建材の種類</p> <p>(2)測定点の位置の図面</p> <p>(3)測定日時、天候、気流</p> <p>(4)試料採取条件</p> <p>(5)標本作製方法</p> <p>(6)使用顕微鏡の種類(開口数を含む)</p> <p>(7)計数条件(HSEテストスライドの読取りグループ番号を含む)</p> <p>(8)繊維数濃度(位相差顕微鏡法の場合は総繊維数濃度、位相差・分散顕微鏡法の場合はアスベスト繊維数濃度)</p> <p>(9)定量限界</p> <p>(10)その他</p> <p>アスベスト含有吹付け材の除去(レベル1) ・行う (モルタル) [9.1.3]</p> <p>除去対象範囲 ※図示</p> <p>除去工法 ※改修仕様9.1.3(b)(i)~(iv)による</p> <p>除去したアスベスト含有吹付け材等の処理</p> <p>※密封処理(二重袋梱包)</p> <p>・セメント固化</p> <p>除去対象範囲 ※図示</p> <p>作業場の隔離 ・行う ・行わない</p> <p>※建築物解体工事共通仕様書による</p> <p>アスベスト含有保温材等の除去(レベル2) ・行う [9.1.4]</p> <p>除去対象範囲 ※図示</p> <p>アスベスト含有形成板の除去(レベル3) ・行う [9.1.5]</p>	材料名	調査方法(1材料当たりの試料数)		※定性分析(※3 ・ ) ・定量分析(・3 ・ )		※定性分析(※3 ・ ) ・定量分析(・3 ・ )		※定性分析(※3 ・ ) ・定量分析(・3 ・ )	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数(各処理作業ごと)	備考	・測定1	知処理作業前		処理作業室内	各( )点		・測定2			施工区画周辺	計2点		・測定3			処理作業室内	各( )点		・測定4			セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認	・測定5	知処理作業中		責任・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)	各1点	除じん装置の性能確認	・測定6			施工区画周辺	4方向各1点		・測定7	知処理作業後(隔離シート撤去前)		施工区画周辺	各(2)点		・測定8			撤去前	4方向各1点					合計	点			測定3(作業環境)	測定1,4,5,7(室内環境)	測定2,6,8(大気環境)	メンブレンフィルターの直径(mm)	2.5	2.5	4.7	試料の吸引流量(L/分)	1	5	1.0	試料の吸引時間(分)	5	1.2	2.4	係数視野数	5.0	5.0	5.0	定量限界(本/ℓ)	5.0	0.5	0.3
種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等																																																																																																																																														
断熱材兼用型枠	・木質系	※40以下	断熱抵抗																																																																																																																																														
	・コンクリート系		＝厚さ×熱伝導率																																																																																																																																														
	・プラスチック系		＝0.676以上 (m <sup>2</sup> ・K/W)																																																																																																																																														
補強工法	打込み工法	部位																																																																																																																																															
現場打ち鉄筋	※工法指定なし	・すべての増設壁 ・図示																																																																																																																																															
コンクリート	・流し込み工法 [8.1.9.8(a)(1)及び(b)]	・すべての増設壁 ・図示																																																																																																																																															
壁の増設工事	・圧入工法 [8.1.9.8(a)(2)及び(c)]	・すべての増設壁 ・図示																																																																																																																																															
		・図示																																																																																																																																															
鉄筋コンクリート柱の溶接	※工法指定なし	・すべての増設柱 ・図示																																																																																																																																															
金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・流し込み工法 [8.1.9.8(a)(1)及び(b)]	・すべての増設柱 ・図示																																																																																																																																															
	・圧入工法 [8.1.9.8(a)(2)及び(c)]	・すべての増設柱 ・図示																																																																																																																																															
		・図示																																																																																																																																															
混和材	セメント系(酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等)によって膨張する性質を利用するものとする。																																																																																																																																																
セメント	JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通または単強ポルトランドセメントとする。																																																																																																																																																
砂	(社)土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。(各重量比) (セメント+混和材):砂=1:1																																																																																																																																																
材料名	調査方法(1材料当たりの試料数)																																																																																																																																																
	※定性分析(※3 ・ ) ・定量分析(・3 ・ )																																																																																																																																																
	※定性分析(※3 ・ ) ・定量分析(・3 ・ )																																																																																																																																																
	※定性分析(※3 ・ ) ・定量分析(・3 ・ )																																																																																																																																																
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数(各処理作業ごと)	備考																																																																																																																																												
・測定1	知処理作業前		処理作業室内	各( )点																																																																																																																																													
・測定2			施工区画周辺	計2点																																																																																																																																													
・測定3			処理作業室内	各( )点																																																																																																																																													
・測定4			セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認																																																																																																																																												
・測定5	知処理作業中		責任・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)	各1点	除じん装置の性能確認																																																																																																																																												
・測定6			施工区画周辺	4方向各1点																																																																																																																																													
・測定7	知処理作業後(隔離シート撤去前)		施工区画周辺	各(2)点																																																																																																																																													
・測定8			撤去前	4方向各1点																																																																																																																																													
			合計	点																																																																																																																																													
	測定3(作業環境)	測定1,4,5,7(室内環境)	測定2,6,8(大気環境)																																																																																																																																														
メンブレンフィルターの直径(mm)	2.5	2.5	4.7																																																																																																																																														
試料の吸引流量(L/分)	1	5	1.0																																																																																																																																														
試料の吸引時間(分)	5	1.2	2.4																																																																																																																																														
係数視野数	5.0	5.0	5.0																																																																																																																																														
定量限界(本/ℓ)	5.0	0.5	0.3																																																																																																																																														
<p>8-4 コンクリート工事</p>	<p>① コンクリートの種類及び強度 [8.1.3]</p> <p>普通コンクリートの設計基準強度 [8.1.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 <math>F_c</math> (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※2.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・2.4</td> <td></td> </tr> </table> <p>軽量コンクリートの設計基準強度等 [8.1.4][8.9.1][表8.9.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 <math>F_c</math> (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m<sup>3</sup>)</th> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※2.1</td> <td></td> <td>・1種 ・2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・1種 ・2種</td> <td></td> </tr> </table> <p>スラブ [8.1.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>スラブ(cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上り [8.1.4][表8.1.2]</p> <p>部材の位置及び断面寸法の許容差</p> <p>※改修仕様表8.1.2による</p> <p>(適用箇所: )</p> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ [8.1.4][表8.1.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○C種</td> <td></td> </tr> </table> <p>仕上りの平坦さ [8.1.4][表8.1.4]</p> <p>※改修仕様表8.1.4による</p> <p>(適用箇所: )</p> <p>② コンクリートの品質 [8.1.4]</p> <p>セメント [8.2.5][表8.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・高炉セメントB種 [8]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フライアッシュセメントB種 [8]</td> <td></td> </tr> </table> <p>普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210に示された規定のほか、水和熱が7日目で325J/g以下、かつ、28日目で402J/g以下のものとする。</p> <p>ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。</p> <p>骨材 [8.2.5]</p> <p>細骨材及び混合細骨材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フェロニッケルスラグ細骨材 [8] 使用部位( )</li> <li>鋼スラグ細骨材 [8] 使用部位( )</li> <li>電気炉酸化スラグ細骨材 使用部位( )</li> </ul> <p>砂利及び砂のアルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B</p> <p>砕石及び砕砂のアルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B</p> <p>混和材料 [8.2.5][8.2.6]</p> <p>種類 ※湿和剤 ・混和材</p> <p>混和材料の使用量 ※改修仕様表8.5.8(a)、(b)、(c)による</p> <p>4 コンクリートの調査強度 [8.2.5]</p> <p>コンクリート強度の気温による補正值</p> <p>室内の工事における温度補正 ・行う ・行わない</p> <p>5 無筋コンクリート (8.1.1.1~3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スラブ (cm)</th> <th>粗骨材の最大寸法 (mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※普通コンクリート</td> <td>※1.8</td> <td>※1.5又は1.8</td> <td>※2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・軽量コンクリート</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・2.0</td> <td></td> </tr> </table> <p>セメントの種類</p> <p>※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</p> <p>・高炉セメントB種 [8] (捨コンクリート)</p>	設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )	適用箇所	※2.1		・2.4		設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	種類	適用箇所	※2.1		・1種 ・2種		・		・1種 ・2種		スラブ(cm)	適用箇所	※18		・		種類	適用箇所	・A種		○B種		○C種		種類	適用箇所	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種		・高炉セメントB種 [8]		・フライアッシュセメントB種 [8]		種類	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スラブ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	適用箇所	※普通コンクリート	※1.8	※1.5又は1.8	※2.5		・軽量コンクリート	・	・	・2.0		<p>8-5 鉄骨工事</p> <p>1 鉄骨製作工場 [8.1.5]</p> <p>※建築基準法第7条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国鋼構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める( )グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。</p> <p>・監督職員の承諾する工場</p> <p>2 入熱、バスの間温度の溶接条件 [8.1.6][8.12.1]</p> <p>鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件</p> <p>※鉄骨溶接基準図による</p> <p>適用箇所 ※柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部</p> <p>・図示( )</p> <p>3 施工管理技術者 [8.1.6][8.12.1]</p> <p>※適用する ・適用しない</p> <p>4 鋼材 [表8.2.7]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>SS400</td> <td>大梁、小梁</td> <td>※JISによる</td> </tr> <tr> <td>STR400</td> <td>柱</td> <td>※JISによる</td> </tr> <tr> <td>SN400B(C)</td> <td>ダイヤフラム、ベースプレート</td> <td>※JISによる</td> </tr> </table> <p>5 高力ボルト [8.2.9]</p> <p>ボルトの区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※トルンシア高力ボルト</li> <li>・JIS高力ボルト</li> </ul> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.2.9]</p> <p>※鉄骨基準図による</p> <p>すべり係数試験 [8.13.2]</p> <p>※行わない ・行う (試験方法等: )</p> <p>6 溶融亜鉛めっき高力ボルト [8.2.9]</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>※鉄骨基準図による</p> <p>摩擦面の処理 (7.2.4)</p> <p>※プラスト処理(表面粗度50µmRz以上)</p> <p>・りん酸塩処理</p> <p>すべり耐力等の確認方法 ※すべり耐力試験方法等 ・図示</p> <p>7 普通ボルト (7.2.3)[8.1.6]</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>※鉄骨基準図による</p> <p>8 アンカーボルト (8.2.4)</p> <p>アンカーボルトの保持及び埋込み工法の種別</p> <p>※構造用(※図示 ・ )</p> <p>・建方用(・A種 ※B種 ・C種)</p> <p>柱座均しモルタルの工法の種別 (8.2.11)</p> <p>※A種 ・B種</p> <p>9 鉄骨工作仮組 [8.13.9]</p> <p>・行う ※行わない</p> <p>10 溶接接合 [8.15.4]</p> <p>開先の形状 ※鉄骨溶接基準図による</p> <p>[8.15.7]</p> <p>鋼製エンドタブの切除する部分 ※図示</p> <p>スカラップの形状 ※鉄骨基準図による</p> <p>[8.15.7]</p> <p>完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う ・行わない [8.15.11]</p> <p>放射線透過試験 ※行わない ・行う [8.15.11]</p> <p>目視試験(エンドタブ使用) ※行わない ・行う [8.15.11]</p> <p>11 スタッド(隠付きスタッド JIS B 1198) [8.1.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名等</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・1.6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・1.9</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・2.2</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>12 錆止め塗装 [8.17.3]</p> <p>耐火被覆材の接着する面の塗装</p> <p>・行う(※JIS K 5622 ・ ) ※行わない</p> <p>13 耐火被覆 [8.18.2~7]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類等</th> <th>種別</th> <th>所要性能及び適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○耐火材吹付け</td> <td>・乾式吹付けロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○半乾式吹付けロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・湿式ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・耐火板張り</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・耐火材巻付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ラス張りモルタル塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>耐火被覆面への錆止め塗装 ○行わない ・行う (適用箇所: )</p>	種類の記号	適用箇所	規格等	SS400	大梁、小梁	※JISによる	STR400	柱	※JISによる	SN400B(C)	ダイヤフラム、ベースプレート	※JISによる	呼び名等	呼び長さ(mm)	適用箇所	・1.6			・1.9			・2.2			種類等	種別	所要性能及び適用箇所	○耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール			○半乾式吹付けロックウール			・湿式ロックウール			・			・耐火板張り			・耐火材巻付け			・ラス張りモルタル塗り			・		<p>8-7 連続繊維補強工事</p> <p>1 連続繊維補強工法 [8.2.4.4]</p> <p>連続繊維補強工法</p> <p>「連続繊維補強材を用いた既存鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計・施工指針」(〔財〕日本建築防災協会発行)の第4章[補強工事の施工]による工法又は同等の性能を有する工法</p> <p>・〔財〕日本建築防災協会の評価を受けた工法</p> <p>・</p> <p>2 連続繊維シート [8.2.12]</p> <p>連続繊維補強材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炭素繊維</li> <li>・アラミド繊維</li> <li>・ガラス繊維</li> </ul> <p>連続繊維の材質 [8.2.12]</p> <p>引張強度(含浸硬化後) ・( ) N<sub>T</sub>/mm<sup>2</sup></p> <p>ヤング係数(含浸硬化後) ・( ) N<sub>T</sub>/mm</p> <p>繊維目付質量 ・( ) g/m<sup>2</sup></p> <p>シート厚さ ・( ) mm</p> <p>シート張り方向 ※図示</p> <p>定着方法 ※図示</p> <p>含浸接着樹脂 ・低臭型</p> <p>プライマー ・低臭型</p> <p>8-8 耐震スリット新設工事</p> <p>5 スリットの施工 [8.2.5.2]</p> <p>既存除去部の配管等の調査 [8.2.5.2]</p> <p>※鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う</p> <p>・はつり出しによる</p> <p>スリットの幅及び深さ ※図示 [8.2.5.2]</p>	<p>8-8 耐震スリット新設工事</p> <p>承認 設計 担当</p> <p>縮尺 A1: N A3: N</p> <p>設計年月日</p> <p>工事名称 猿橋中学校校舎改修工事</p> <p>図面名称 特記仕様書-5</p>																																			
設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )	適用箇所																																																																																																																																																
※2.1																																																																																																																																																	
・2.4																																																																																																																																																	
設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	種類	適用箇所																																																																																																																																														
※2.1		・1種 ・2種																																																																																																																																															
・		・1種 ・2種																																																																																																																																															
スラブ(cm)	適用箇所																																																																																																																																																
※18																																																																																																																																																	
・																																																																																																																																																	
種類	適用箇所																																																																																																																																																
・A種																																																																																																																																																	
○B種																																																																																																																																																	
○C種																																																																																																																																																	
種類	適用箇所																																																																																																																																																
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種																																																																																																																																																	
・高炉セメントB種 [8]																																																																																																																																																	
・フライアッシュセメントB種 [8]																																																																																																																																																	
種類	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スラブ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	適用箇所																																																																																																																																													
※普通コンクリート	※1.8	※1.5又は1.8	※2.5																																																																																																																																														
・軽量コンクリート	・	・	・2.0																																																																																																																																														
種類の記号	適用箇所	規格等																																																																																																																																															
SS400	大梁、小梁	※JISによる																																																																																																																																															
STR400	柱	※JISによる																																																																																																																																															
SN400B(C)	ダイヤフラム、ベースプレート	※JISによる																																																																																																																																															
呼び名等	呼び長さ(mm)	適用箇所																																																																																																																																															
・1.6																																																																																																																																																	
・1.9																																																																																																																																																	
・2.2																																																																																																																																																	
種類等	種別	所要性能及び適用箇所																																																																																																																																															
○耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール																																																																																																																																																
	○半乾式吹付けロックウール																																																																																																																																																
	・湿式ロックウール																																																																																																																																																
	・																																																																																																																																																
	・耐火板張り																																																																																																																																																
	・耐火材巻付け																																																																																																																																																
	・ラス張りモルタル塗り																																																																																																																																																
	・																																																																																																																																																

2 外断熱改修工事
断熱材の種類
種 類 発泡剤の種類 ホルムアルデヒド放散による区分 厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 A種 F☆☆☆☆等級
・押出法ポリスチレンフォーム保温材 A種 F☆☆☆☆等級
・硬質ウレタンフォーム保温材 A種 F☆☆☆☆等級
・フェノールフォーム保温材 A種 F☆☆☆☆等級
・ロックウール F☆☆☆☆等級
・グラスウール F☆☆☆☆等級

ユニット及びその他の工事

1 浴室天井材
市販品
材 質 表面仕上げ 性能 幅(mm) 備考
※アルミニウム製 ※焼付け塗装品 標準品 ※200 回り縁は1付
・アルマイト処理品 ※100 きとし、製造所
・硬質塩ビ製 ※塗装品 ※300 の標準品とする。
・木目調 ※100

2 フリーアクセスフロア
(20.2.2)
施工箇所 構法 仕上り高(mm) 適用地震時水平力 耐荷重性能 表面仕上材 備考
パネル構法 1.0G 3.000N 帯電防止床タイル
清構法 0.6G 5.000N タイルカーペット

3 可動開仕切
(20.2.3)
構造形式 パネル部の総厚さ(mm) 表面材種 表面仕上げ 遮音性能 防火性能
・スタッド式(内蔵・露出) ※鋼板 ※メラミン樹脂貼付 ・あり
・スタッドパネル式 ※鋼板 ※メラミン樹脂貼付 ・なし
・パネル式 ・なし

4 移動開仕切
(20.2.4)
遮音性能 厚さ(mm) 表面材 表面仕上げ 操作方法
・一般タイプ ※鋼板 ・焼付け塗装 ・手動式 ・電動式
・壁紙張り ・部分電動式
・遮音タイプ ※鋼板 ・焼付け塗装 ・手動式 ・電動式
(36db以上) ・壁紙張り ・部分電動式

5 トイレブース
表面仕上げ材
(20.2.5)
表面材の材質 脚部 ドアエッジ
・メラミン樹脂系化粧板 ※幅木 ・アルミニウム製 ※標準 ・アルミニウム製
・ポリエステル樹脂系化粧板 ・支柱 ・ステンレス製 ・R ・ステンレス製
・なし ・なし ・表面材と同材

6 階段滑り止め
(20.2.6)
材 種 幅(mm) 取付け工法 端部フラットエンド
・ステンレス製(SUS304) ※約35 ※接着工法 ※あり(※ビニル製・ステンレス製)
ビニルタイヤ入り ・埋込み工法 ・なし

7 階段手すり
(20.2.7)
材 種 表面仕上げ 直径(mm) 取付箇所
※集成材 ※クリアラッカー ・60 ・45 図示
・ステンレスパイプ ・HL
・鋼製パイプ ・EP-G
・ビニル製

8 黒板及びホワイトボード
(20.2.8)
種 類 寸法(mm) 色 彩 備 考
・黒板 ※焼付け ※緑・黒 ※平面・曲面・スクリーン付引分
※緑・黒
・ホワイト ※ほうろう ※白 ※平面・曲面・スクリーン付引分
ボード

9 表示
(20.2.10)
区 分 材 質 寸法(mm) 厚さ(mm) 取付け高さ 書 体
・衝突防止表示 ※ステンレス製 ※30φ ※市販品 ※図示
(・両面・片面) ・図示
○重名札 ※アクリル板 ※250×50 ※5 ※図示
・ピクトグラフ ※ABS樹脂成型品 ○210×210 ○20
・扉番号
・階数表示
・建物案内板 ※アクリル板 ※図示 ※5 ※図示
・各階案内板

10 ブラインド
(20.2.11)
・既存再使用する(養生方法: ) [2.3.1] [5.1.6]
・新設する (20.2.12)
形 式 種 類 スラットの材質 スラットの幅(mm) 施工箇所
※横型 ※ギヤ式 ・コード式 ※アルミニウム合金製 ※25
・操作棒式
・縦型 ・1本操作コード ・アルミスラット ・80
※2本操作コード ・クロススラット ・100

12 カーテン
・既存再使用する(養生方法: ) [2.3.1] [5.1.6]
○新設する (20.2.14)
形 式 開閉操作 ひだの種類 施工箇所 備 考
・シングル ○片引き ・電動 ・フランスひだ
○ダブル ○引分け ・ひも引き ○箱ひだ・つまひだ
○手引き ・プレーンひだ・片ひだ

13 カーテンレール
(5.1.6)
(20.2.14)
・既存再使用する
○新設する
材種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製
形式 ・片引き ・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)
形状 ・C形 ・D形 ・1形

14 ブラインドボックス及びカーテンボックス
(5.1.6)
・既存再使用する
○新設する
市販品(アルミニウム製 押出材)
溝幅×深さ(mm) ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80
表面処理 ※B-1 ・B-2(※ブラウン系・ブラック・ステンカラー)
・図示

15 天井点検口
(20.2.1)
材 種 寸法 形 式 外 枠 内 枠
※アルミニウム製 ○450×450 ○一般形 ・屋内外用 ○縦線タイプ ○縦線タイプ
・600×600 ・密閉形 ○屋内用 ・目地タイプ ・目地タイプ
・密閉形

16 床点検口
(20.2.1)
材 種 寸法 形 式
※アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・強物用
・ステンレス製 ・600×600 ・密閉形 ・屋内用 ・充填用
・鋼製 ・結露防止形 ・強物、充填兼用
・鉄製

17 防煙垂れ壁
(14.2.1) (14.2.2) (表14.2.1, 2)
材 質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備 考
※網入り防煙板ガラス ※6.8 ※500 アルミ製枠付き
・網入り防煙板ガラス

18 視覚障害者用床タイル
(誘導用及び注意喚起用床材)
(19.2.2)
種 類 材 質 高さ(mm) 備 考
・垂直降下式 ※不織布 ※500 ガイドレール(巻取り型) ※図定式(壁埋込み型)
・回転降下式 鋼板製又はアルミ製 ※500 表面仕上げ ※可動式(天井収納型)
・鋼製又はアルミ製 ※500 ・鋼製又はアルミ製 ※500
降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込み型)

19 くつろぎマット
(19.2.2)
施工箇所 種 類 寸法(mm) 厚さ(mm)
屋 内 ※塩化ビニル製 ※300×300 ※7.0
・レジンコンクリート製 ※300×300
・織物又はせつ器質タイル ※300×300
屋 外 ※レジンコンクリート製 300×300 ※3.0
・織物又はせつ器質タイル 300×300
ブロックパターンはJIS T 9251による

20 流し台ユニット
(19.2.2)
種 類 寸法(L=mm) 適用内容 規格・品質等
○流し台 ※1200・1500・1800 図示 トラップ付き ※優良住宅部品
・コンロ台 ※600・700 バックガード ※あり (セクショナルキッチンI型)
・吊戸棚 ※1200・900・600

21 洗面カウンター
(19.2.2)
材 種 厚さ(mm) 高さ(mm) 備 考
・塩化ビニル又はゴム製 ・ステンレス鋼(SUS304)
・硬質アルミニウム合金製 ・硬質アルミニウム合金
・ステンレス鋼(SUS304)製

22 収納家具
(6.5.2) [6.13.2]
材 質 形状・寸法 備 考
合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三种

23 鋼製書架及び物品棚
(6.5.2) [6.13.2]
種 類 規格等 耐荷重による種類
・鋼製書架 JIS S 10399による ・1種 ・2種 ・3種
・鋼製物品棚 ・4種 ・5種 ・6種

24 屋内掲示板
(6.5.2) [6.13.2]
材 質 ※アルミニウム製
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り

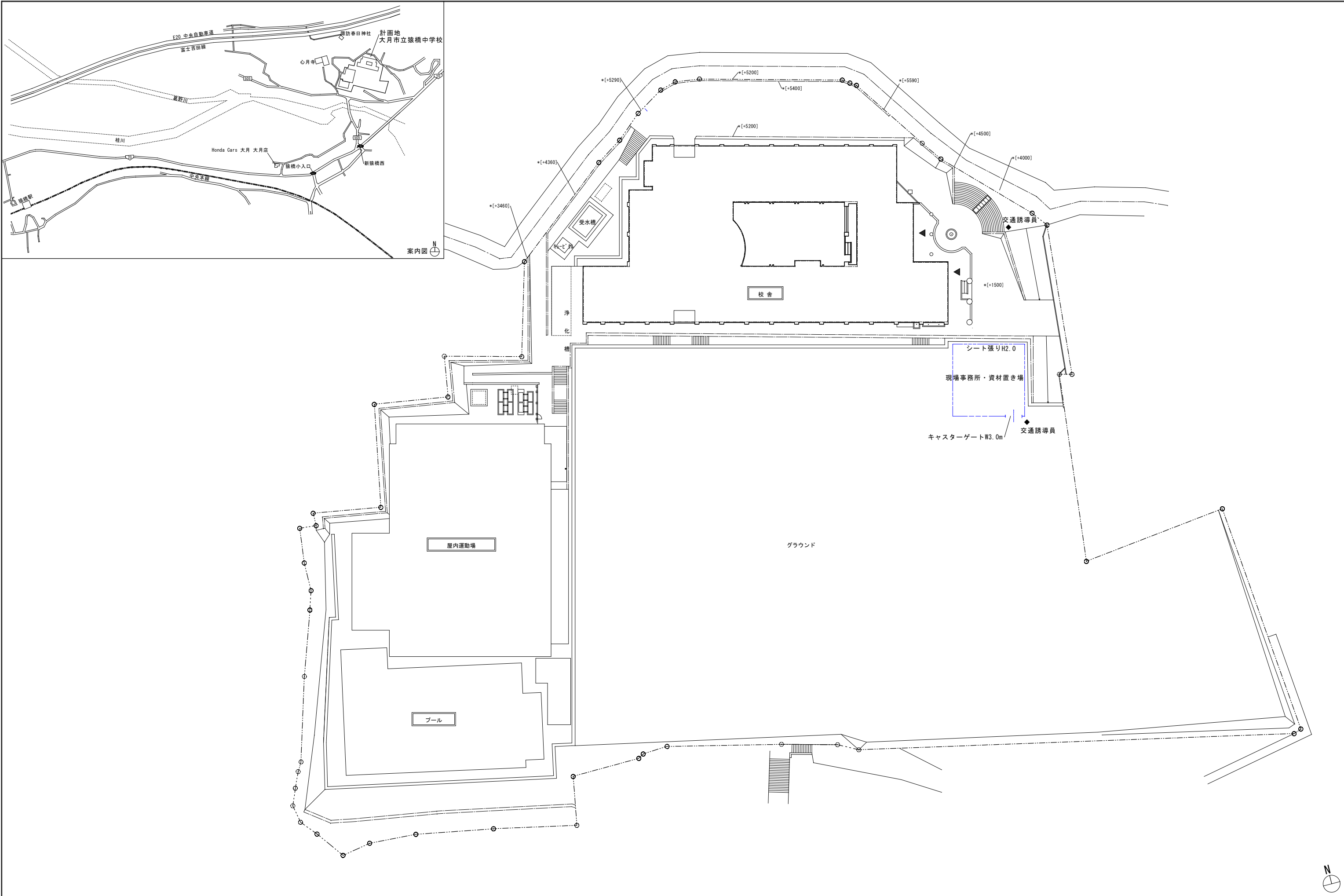
25 止水板
(6.5.2) [6.13.2]
材 質 ※塩ビ系 ・ゴム系
形式 ※センターバルブ形フラット ・センターバルブ形コルゲート ・アンカト形コルゲート
寸法 ※200×6 ・300×7

26 防鳥網
(6.5.2) [6.13.2]
※ステンレス製平織り金網(SUS304 線径1.5mm 網目15mm)

27 吊りフック
(6.5.2) [6.13.2]
材 質 ※鋼製(巻締めつき処理) ・ステンレス製(SUS304)
荷重kN(t) 釣り針型 U型 施工箇所
(10) ・(10箇所) ・(箇所) 校長室
20 ・(箇所) ・(箇所)
30 ・(箇所) ・(箇所)
50 ・(箇所) ・(箇所)

※見やすい箇所に荷重表示板を設け、許容荷重(kN)を表示する。





株式会社 天野建築設計事務所  
 1級建築士 第338457号 天野美

承認	設計	担当

縮尺 A1:1/300  
 A3:1/600  
 設計年月日

工事名称 猿橋中学校校舎改修工事  
 図面名称 配置図・案内図

建築物概要					
工事名称	猿橋中学校校舎改修工事	用途地域	第一種住居地域	◇建築基準法第28条の2により規制を受ける材料は全てF☆☆☆☆とする。 ※指定建築材料においては建築基準法37条の規定に適合させる	
工事場所	山梨県大月市猿橋町猿橋567			◇天井高が1.5m以上となる場合は仕様書に基づき水平補強、斜め補強を行う。	
敷地面積	12787.59 m <sup>2</sup>	防火地域	指定なし		
建築用途	中学校	都市計画	区域内		
構造・規模	校舎棟・鉄筋コンクリート造 4階建+PH (耐火建築物)	その他	主要構造部は耐火構造とし、内装は準不燃材の仕上げとする	◇その他： 建築基準法の規制対象となるアスベスト吹付材の使用なし。 その他アスベスト含有材においては労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物処理法、建設リサイクル法に準じて作業及び処理を行う	
	建築面積： 1716.03 m <sup>2</sup> 延面積： 5422.77 m <sup>2</sup>				
工事種別	改修 (用途変更無)				

外部仕上げ表		仕上げ		備考		仕上げ		備考	
屋根 (北側3階棟) (西側3階棟) (南側4階棟)	既存	防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出断熱工t1.5/コンクリート金ゴテ押へ 排水溝:防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出工法t1.5/コンクリート金ゴテ押へ 立上り:防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出工法t1.5 空調機外機置場基礎 (3F北):防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出断熱工t1.5/コンクリート金ゴテ押へ 配管小屋屋根 (3F北):ステンレス板t1.5折り曲げ加工取付 (取合部コーキング充填)	ルーフトレン: 鋼鉄製φ100 横引きドレン: 鋼鉄製φ100 笠木: アルミ製w175 立上り部: アルミ製水切押へ金物取付 コーキング充填 PC製雨受板450×300×150・90	スラブ裏	既存 改修	アクリル系リシン吹付/石綿スレート板t5目透し 中庭・音楽室(バルコニー) 北側・南側(ポーチ)			
	改修	既存シート防水存置 ウレタン塗膜防水 (X-1H)/自着シート/水洗い 排水溝: 既存シート防水撤去のち ウレタン塗膜防水 (X-2H)/下地調整 (C-1)/ケレン ※補修: 塩ビ鋼板80×50押え 立上り: 既存シート防水撤去のち ウレタン塗膜防水 (X-2H)/下地調整 (C-1)/ケレン	ルーフトレン: 改修用ルーフトレン更新 横引きドレン: 改修用横引きドレン更新 笠木取り外し再設置 立上り部: 防水押え金物更新 PC製雨受板450×300×150・90更新 西側太陽光パネル支柱60φ・平場500x500: ウレタン塗膜防水 (X-2)	庇 (昇降口)	既存 改修	フッ素樹脂塗料鋼板平置きt0.5折曲加工/スカイモルタルt40/コンクリートスラブ 底裏:アクリルリシン吹付/コンクリート打整シ 既存仕上げ存置 外装薄塗材E (吹付) /水洗い			
屋根 (4階一部東面シート・断熱材剥がれ部)	既存	防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出断熱工t1.5/コンクリート金ゴテ押へ 排水溝:防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出工法t1.5/コンクリート金ゴテ押へ 立上り:防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出工法t1.5	ルーフトレン: 鋼鉄製φ100 笠木: アルミ製w175 立上り部: アルミ製水切押へ金物取付 コーキング充填	庇 (トラスポーチ庇)	既存 改修	フッ素樹脂塗料鋼板t0.4たてはせ葺/アスファルトルーフィング22kg品/片面着色耐火野地板t20/ 軒先 投物フッ素樹脂塗料鋼板t0.5折曲加工 既存屋根存置 DP (1級C種)塗装/下地調整 (RB種)		箱種:耐酸被覆鋼板t0.4折曲取付t250 港仕口:SUS防塵網付φ100 箱種 (耐酸被覆鋼板w300t0.4折曲): ウレタン塗膜防水 (X-2H)/下地調整 (RB種) トラス部材: DP (1級C種)塗装	
	改修	既存シート防水・断熱材撤去のち ウレタン塗膜防水 (X-1H)/自着シート/硬質ウレタンフォームt25/ケレン ※排水溝・立上りは上記仕上げに準ずる	ルーフトレン: 改修用ルーフトレン更新 笠木取り外し再設置 立上り部: 防水押え金物更新	バルコニー	既存 改修	床: 防水モルタル金ゴテ押へ (伸縮目地切断工#10コーキング充填) 排水溝: 防水モルタル塗w100 立上り (H250まで): 防水モルタル金ゴテ押へ (目地分レ コーキング充填) 外面立上り: 弾性吹付タイル/合板型枠コンクリート打放シ 平すり壁天端: 弾性吹付タイル仕上/コンクリート表面金ゴテ仕上 ステンレス製手すりH250		ドレン: 鋼鉄製バルコニー用ドレンφ75型 ステンレス製巾根t900	
屋根 (高架水槽置場)	既存	コンクリート表面金ゴテ押へ仕上/押へコンクリートt100 (ワイヤーメッシュu100×100 φ3.2敷込) /ゴム質系シート防水層t1.5/コンクリートスラブ表面金ゴテ押へ 立上り部取合部及び平場目地: 剛性樹脂発砲目地w25挿入 (2000内外) 柱及び梁型天端: 弾性吹付タイル/コンクリート打放シ 天端: ステンレス板t1.0折曲加工取付 (目地コーキング施工) 立上り壁: パラペットガード (600高金同等品) 取付 立上り壁一部: 防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出工法t1.5	横引きドレン: 鋼鉄製φ100 PC製雨受板450×300×150・90 高架水槽基礎600×600×450 4か所 笠木: アルミ製w175	外壁 (吹付部)	既存 改修	弾性吹付タイル仕上 (100%アクリルエマルジョン)/合板型枠コンクリート打放シ 打継ぎ及び電線誘導目地: コーキング充填 裏側壁: 磁器質50角モザイクタイル貼 柱及び梁型: 弾性吹付タイル仕上 (100%アクリルエマルジョン)/合板型枠コンクリート打放シ 既存仕上げ水洗いのち、可とう形改修塗材RE (吹付) /C-1下地調整 既存塗膜剥離部: 既存塗膜除去のち、可とう形改修塗材RE (吹付) /C-1下地調整 汚き部: アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 /湿式吸引機ドリル5φによる既存塗膜除去 クラック<1mm: 弾力性エポキシ樹脂注入工法 (OG工法同等) /水循環吸引機付研磨機による既存塗膜除去 ※0.3mm未満は対象外		整礎: スチール管 φ120 整礎: SUS製 φ100	
	改修	既存剛性樹脂発砲目地w25撤去のち PU-2シーリング ウレタン塗膜防水 (X-1H)/自着シート/下地調整 (C-1)/水洗い 柱及び梁型天端: ウレタン塗膜防水 (X-2H)/下地調整 (C-1)/水洗い 立上り壁: パラペットガード及び立上りシート撤去のち ウレタン塗膜防水 (X-2H)/下地調整 (C-1)/ケレン	横引きドレン: 改修用横引きドレン更新 PC製雨受板450×300×150・90更新 高架水槽基礎天端: ウレタン塗膜防水 (X-2) 笠木取り外し再設置				目地・建具周囲地: PU-2・MS-2シーリング打替え 整礎 (スチール管 φ120): DP (1級C種)塗装		
屋根 (多目的教室1)	既存	フッ素樹脂塗料鋼板平置きt0.5折曲加工/スカイモルタルt40/コンクリートスラブ 軒先投物: フッ素樹脂塗料鋼板t0.4平葺	箱種: 耐酸被覆鋼板w300t0.4折曲 港仕口: SUS防塵網付φ100	外壁 (打ち放し部)	既存 改修	フッ素樹脂クリアー仕上/シリコン系撥水材及び濡れ色防止塗料下地 /合板型枠コンクリート打放シ 既存ケレン・目荒らしのち、可とう形改修塗材RE (吹付) ※他劣化部補修方法については外壁 (吹付部) に準ずる		目地: PU-2シーリング打ち	
	改修	既存屋根存置 DP (1級C種)塗装/下地調整 (RB種)	箱種 (耐酸被覆鋼板w300t0.4折曲): ウレタン塗膜防水 (X-2)				外壁 (ポーチ丸柱)	既存 改修	石目調厚仕上げ塗装吹付/合板型枠コンクリート打放シ 既存仕上げ水洗いのち、可とう形改修塗材RE (吹付) ※他劣化部補修方法については外壁 (吹付部) に準ずる
屋根 (階段室)	既存	防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出断熱工t1.5 (立上り共)/コンクリートスラブ金ゴテ押へ オイルポンプ室上部: 防火塗料仕上/ゴム質系シート防水/コンクリートスラブ金ゴテ押へ 柱天端: ステンレス板t1.5折り曲げ加工取付 (取合部コーキング充填)	ステンレス製自在丸端 φ19 L=320取付 鋼鉄製網引用ドレンφ100 笠木: アルミ製w175一部w275 笠木 (円部立上り壁天端): アルミ製w175 (平面R加工)	外壁 (ポーチ丸柱)	既存 改修	石目調厚仕上げ塗装吹付/合板型枠コンクリート打放シ 既存仕上げ水洗いのち、可とう形改修塗材RE (吹付) ※他劣化部補修方法については外壁 (吹付部) に準ずる			
	改修	既存シート防水存置 ウレタン塗膜防水 (X-1H)/自着シート/水洗い 立上り: 既存シート防水撤去のち ウレタン塗膜防水 (X-2H)/下地調整 (C-1)/ケレン オイルポンプ室上部: 既存シート防水撤去のち ウレタン塗膜防水 (X-2H)/下地調整 (C-1)/ケレン	横引きドレン: 改修用横引きドレン更新 笠木取り外し再設置 立上り部: 防水押え金物更新						
庇 (窓庇)	既存	天端面: 防水モルタル金ゴテ仕上 (立上りH100迄)、取合部コーキング充填		外壁 (中庭円形部分)	既存 改修	磁器質50角モザイクタイル貼 既存仕上げ水洗い 破損部: 陶片汚き部: タイル張替え 汚き部: アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 クラック<1mm: 内圧充填接合補強 (IPH工法同等) ※0.3mm未満は対象外 クラック≧1mm: 内圧充填接合補強 (IPH工法同等) 鉄筋露出欠損部: 浸透拡散型亜硝酸リチウム (55kg/m <sup>2</sup> 配合) 併用断面防錆処理		目地・建具周囲地: MS-2シーリング打替え	
	改修	既存モルタル防水存置 ウレタン塗膜防水 (X-2H)/水洗い					基礎巾木	既存 改修	モルタル金ゴテ押へ仕上 目地分レコーキング充填 改修なし
軒天井 (ピロティ)	既存	アルミサドルドレン張り		共通		建具周囲、打ち継ぎ、取り合い部等既存シールについては、全て打ち換え 壁・梁型天端等: ウレタン塗膜防水 (X-2H)/下地調整			
改修	破損部分 (2m程度) 張替え								
スラブ裏 (共通)	既存	アクリル系リシン吹付/コンクリート素地							
	改修	既存仕上げ水洗いのち、外装薄塗材E (吹付) 既存塗膜剥離部: 既存塗膜除去のち、外装薄塗材E (吹付)/下地調整 (C-1) ※他劣化部補修方法については外壁 (吹付部) に準ずる							

耐火構造等仕様材料等一覧表 不燃・準不燃材料一覧表 (同等性能を有することとする)

建築物の部分	耐火性能	構造	建築物の部分	耐火性能	構造	部位	品種	規格寸法	認定番号等	部位	品種	規格寸法	認定番号等
壁・柱・梁・床・昇盤	2時間	鉄筋コンクリート造	告示1399号	1時間	耐火石膏ボード12.5+硬質石膏ボード9.5	壁・柱	鉄筋コンクリート		告示 第1400号	内壁	石膏ボード (GB-R)	t12.5 - t15	不燃: NM-8619
屋根・階段	2時間	鉄筋コンクリート造	告示1399号	1時間	耐火石膏ボード12.5+耐火石膏ボード12.5	壁・梁			告示 第1400号	内壁	耐火石膏ボード (GB-S)	t12.5	不燃: NM-9639
外壁	1時間	ALC	告示1399号	1時間	コンクリートブロック	屋根・階段			告示 第1365号	内壁	強化石膏ボード (GB-F)	t12.5 - t25	不燃: NM-8615
軒裏	1時間	ALC	GF06GRS-9104	45分	石膏ボード15	屋根	シート防水	t1.5 鉄筋コンクリート下地	告示 第1365号	内壁	硬質石膏ボード (GB-R-H)	t9.5 - t15	不燃: NM-9645
延焼の恐れのある部分	20分	アルミサッシ	EB-9101			既設アルミ庇	アルミ	t5.0	告示 第1400号	天井	石膏ボード (GB-R)	t9.5	準不燃: OM-9828
		網入りガラス	EB-9107			木板	不燃集材材	t15	不燃: NM-1716	天井	岩綿吸音板 (RF-F)	t9.0	不燃: NM-8599
		スチールドア	告示1360号							軒天 内壁	化粧珪酸カルシウム板	t5.0以上	不燃: NM-8579
			告示1369号										

共通事項  
 略号 (仕様については公共建築工事標準仕様書/公共建築改修工事標準仕様書に準じる)  
 【ボード類】GB-R: 普通石膏ボード GB-RH: 普通硬質石膏ボード GB-S: 耐火石膏ボード GB-D: 化粧石膏ボード GB-F: 強化石膏ボード RW-F: ロックウール化粧吸音板 (フラット)  
 【塗料】EP: 合成樹脂エマルジョンペイント EP-G: つやあり合成樹脂エマルジョンペイント SOP: 合成樹脂塗料ペイント OS: オイルステイン UC: ウレタン樹脂ワニス塗り DP: 耐水性塗料塗り WP: 木材保護塗料塗り

株式会社 天野建築設計事務所 1級建築士 第338457号 天野実	承認	設計	担当	縮尺	A1:N A3:N	工事名称	猿橋中学校校舎改修工事
				設計年月日		図面名称	仕上げ表-1

内部仕上げ表

棟別	階	室名	天井高	床高 FL+	床		巾木・腰		壁・腰		天井		その他						備考	
					下地	仕上げ	仕上げ	H	下地	仕上げ・塗装	下地	仕上げ・塗装	縦継	横継	カーテン BOX	ビク+ レール	室名札	点検口 天井		床
遮 断 部 位	共通	男・女子便所2, 3, 4A 男・女子便所1, 2, 3B 男・女子便所1A	2650 一部 2600	-50 +0	コンクリートスラブ	磁器質50角タイル貼/モルタル金ゴテ押へ 踏入部分床:長尺塩ビシートt2.5貼/モルタル金ゴテ押へ下地 /押へ用コンクリート打設t100・150 +ワイヤーメッシュφ3.2・150敷 /アスファルト防水層E-2工法(立上りHG50) /均しモルタル金ゴテ押へt15(水勾配施工)	壁間材		コンクリート	陶器質100角タイル貼/モルタル金ゴテ押へ 配管架台C:陶器質100角タイル貼/モルタル金ゴテ押へ/B積t100 配管架台甲板:御影石t25(壁小口面共) 防水層立上面:メタルラス張補強	LGS	VP塗 /ケイ酸カルシウム板 t5 910×910目選し張	アルミ	塩ビ				○	○ Fの 床	床見切ステンレス製角型鋼(SUS304 ロ-61×32×1 5脚付 HL仕上) スチール製トイレブース アルミ製カーテンBOX サッシ方立即見切ステンレスt1.2折曲加工取付 衛生陶器及化粧鏡(設備工事) 天井付電動換気扇(設備工事)
		一男・女子便所1A・4A・1B 女子便所2A・3A 男子便所2B・3B	2600	+0	乾式2重床H50 乾式2重床H50	既存仕上げ・下地撤去 長尺塩ビシート t 2.5 (防滑・抗菌) /耐水合板t12 既存仕上げ・下地(押えコンクリートt50)撤去 長尺塩ビシート t 2.5 (防滑・抗菌) /耐水合板t12 ※小便器下:汚蓋石	ソフト巾木	100	GL工法 LGS65 LGS90	既存下地・仕上げ(塗装部分除く)撤去のち EPG塗/ケイ酸カルシウム板t6.0/GB-St12.5(GL工法) 間仕切り:EPG塗/ケイ酸カルシウム板t6.0/GB-St12.5 ※新設間仕切り:グラスウールt50(24k)充填 ライニング:EPG塗/ケイ酸カルシウム板t6.0/GB-St12.5 ライニング天端:メラミン化粧板t20	LGS19	既存仕上げ・下地撤去 GB-D19.5 ※男・女子便所1A・4A・1B:グラスウールt50(24k)敷込み	アルミ 更新	塩ビ	アルミ 更新			○ 更新	○ Fの 床	上記既存機器等撤去 トイレブース 新設 床下点検口450×450 新設 アルミ製縁線 更新 機械設備工事:小便器・大便器・壁掛け式手洗い器・化粧鏡 新設 換気扇 新設 電気設備工事:LED照明器具 新設
		掃除具庫(1・4F)		+0	コンクリートスラブ	長尺塩ビシートt2.5貼(ノンスリップ仕様)/セルフレベリング材下地	VP塗 /モルタル金ゴテ押へ目地分レ 塩ビ製目地ジョイナー使用	100	コンクリート	モルタル金ゴテ押へ仕上		コンクリートスラブ下面素地								ステンレス製フック
		一掃除具庫(1・4F)		+0	ケレン・モルタル下地調整	既存仕上げ撤去 長尺塩ビシート t 2.5 (防滑・抗菌)	ソフト巾木 /モルタル下地調整	100	既存塗装面	既存仕上げ存置 内装薄塗材E		既存仕上げ存置		塩ビ						既存建具更新
		身体障害者用便所 掃除具置場	2700 2400	+0	コンクリートスラブ	長尺塩ビシートt2.5貼(ノンスリップ仕様)/セルフレベリング材下地	VP塗 /モルタル金ゴテ押へ目地分レ	100	コンクリート	ソフトタイプ吹付/モルタル金ゴテ押へ 配管架台C:陶器質100角タイル貼/モルタル金ゴテ押へ/B積t100	LGS	VP塗/ケイ酸カルシウム板 t5 910×910目選し張		塩ビ				○		ステンレス製洗面器具手摺 ステンレス製多用用途手摺 ステンレス製可動手摺 衛生陶器及化粧鏡(設備工事) 天井付電動換気扇(設備工事)
		一バリアフリートイレ 掃除具置場	2700 2400		ケレン・モルタル下地調整	既存仕上げ撤去 長尺塩ビシート t 2.5 (防滑・抗菌)	ソフト巾木 /モルタル下地調整	100	既存塗装面 LGS90	既存下地・仕上げ(塗装部分除く)撤去のち EPG塗 ライニング:EPG塗/ケイ酸カルシウム板t6.0/GB-St12.5 ライニング天端:メラミン化粧板t20 ※建具:SOP塗	LGS19	既存仕上げ・下地撤去 GB-D19.5		塩ビ				○ 更新		上記既存機器等撤去 機械設備工事:衛生機器・化粧鏡・手摺 新設 電気設備工事:LED照明器具・呼出し表示 新設
		廊下(踏入部分)	2600 廊下 2700	+0	コンクリートスラブ	長尺塩ビシートt2.5貼/セルフレベリング材	VP塗 /モルタル金ゴテ押へ目地分レ 塩ビ製目地ジョイナー仕様	100	モルタル	ソフトタイプ吹付/モルタル金ゴテ押へ	LGS	化粧石膏ボード t9.5張 455×910		塩ビ						
		一廊下(踏入部分)	2600	+0	ケレン・モルタル下地調整	既存仕上げ撤去 長尺塩ビシート t 2.5	ソフト巾木 /モルタル下地調整	100	既存塗装面 GL工法 LGS65	既存下地・仕上げ(塗装部分除く)撤去のち 内装薄塗材E 内装薄塗材E/GB-Rt12.5(GL工法) 内装薄塗材E/GB-Rt12.5	LGS19	既存仕上げ・下地撤去 GB-D19.5		塩ビ				○ 更新		
		掃除具庫(2・3F)		+0	コンクリートスラブ	長尺塩ビシートt2.5貼(ノンスリップ仕様)/セルフレベリング材下地	VP塗 /モルタル金ゴテ押へ目地分レ 塩ビ製目地ジョイナー使用	100	コンクリート	モルタル金ゴテ押へ仕上		コンクリートスラブ下面素地								ステンレス製フック
		一掃除具庫-2(2・3F)	2600	+0	ケレン・モルタル下地調整	既存仕上げ撤去 長尺塩ビシート t 2.5	ソフト巾木 /モルタル下地調整	100	既存塗装面 GL工法 LGS65	既存仕上げ存置 内装薄塗材E 内装薄塗材E/GB-Rt12.5(GL工法) 内装薄塗材E/GB-Rt12.5	LGS19	既存仕上げ存置 GB-D19.5		塩ビ				○ 更新		既存建具撤去
	一掃除具庫(2・3F)			ケレン・モルタル下地調整	既存仕上げ撤去 長尺塩ビシート t 2.5	ソフト巾木 /モルタル下地調整	100	既存塗装面	既存仕上げ存置 内装薄塗材E	LGS19	既存仕上げ存置 GB-D19.5		塩ビ						既存建具更新	

共通事項  
 略号(仕様については公共建築工事標準仕様書/公共建築改修工事標準仕様書に準じる)  
 【ボード類】GB-R:普通石膏ボード GB-RH:普通硬質石膏ボード GB-S:耐水石膏ボード GB-D:化粧石膏ボード GB-F:強化石膏ボード RW-F:ロックウール化粧吸音板(フラット)  
 【塗装】EP:合成樹脂エマルジョンペイント EP-G:つやあり合成樹脂エマルジョンペイント SOP:合成樹脂調合ペイント OS:オイルステイン UC:ウレタン樹脂ワニス塗り DP:耐候性塗料塗り WP:木材保護塗料塗り

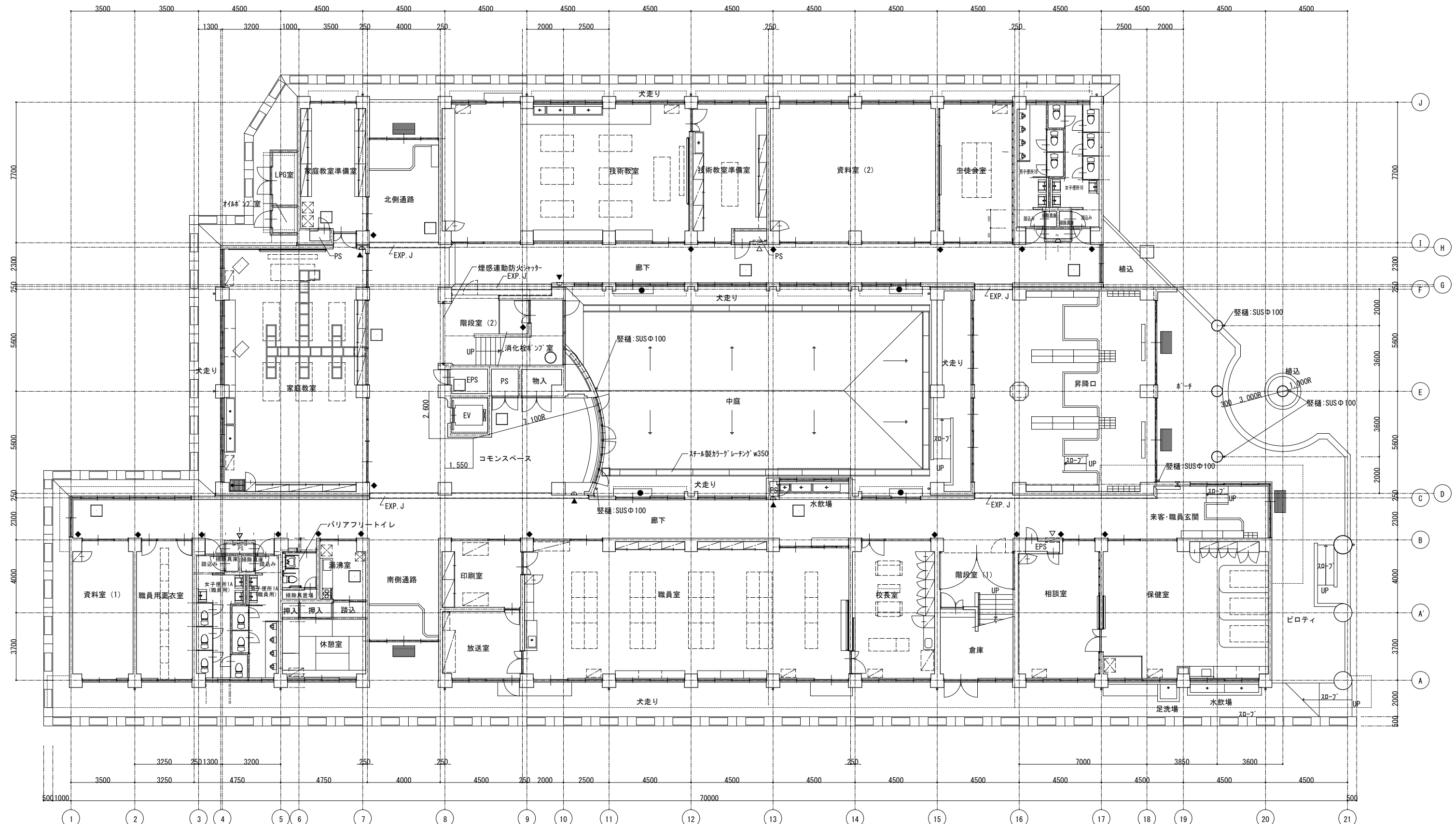
株式会社 天野建築設計事務所  
 1級建築士 第338457号 天野実

承認 設計 担当

縮尺 A1:N  
 A3:N  
 設計年月日

工事名称 猿橋中学校校舎改修工事

図面名称 仕上表-2



凡例 ●

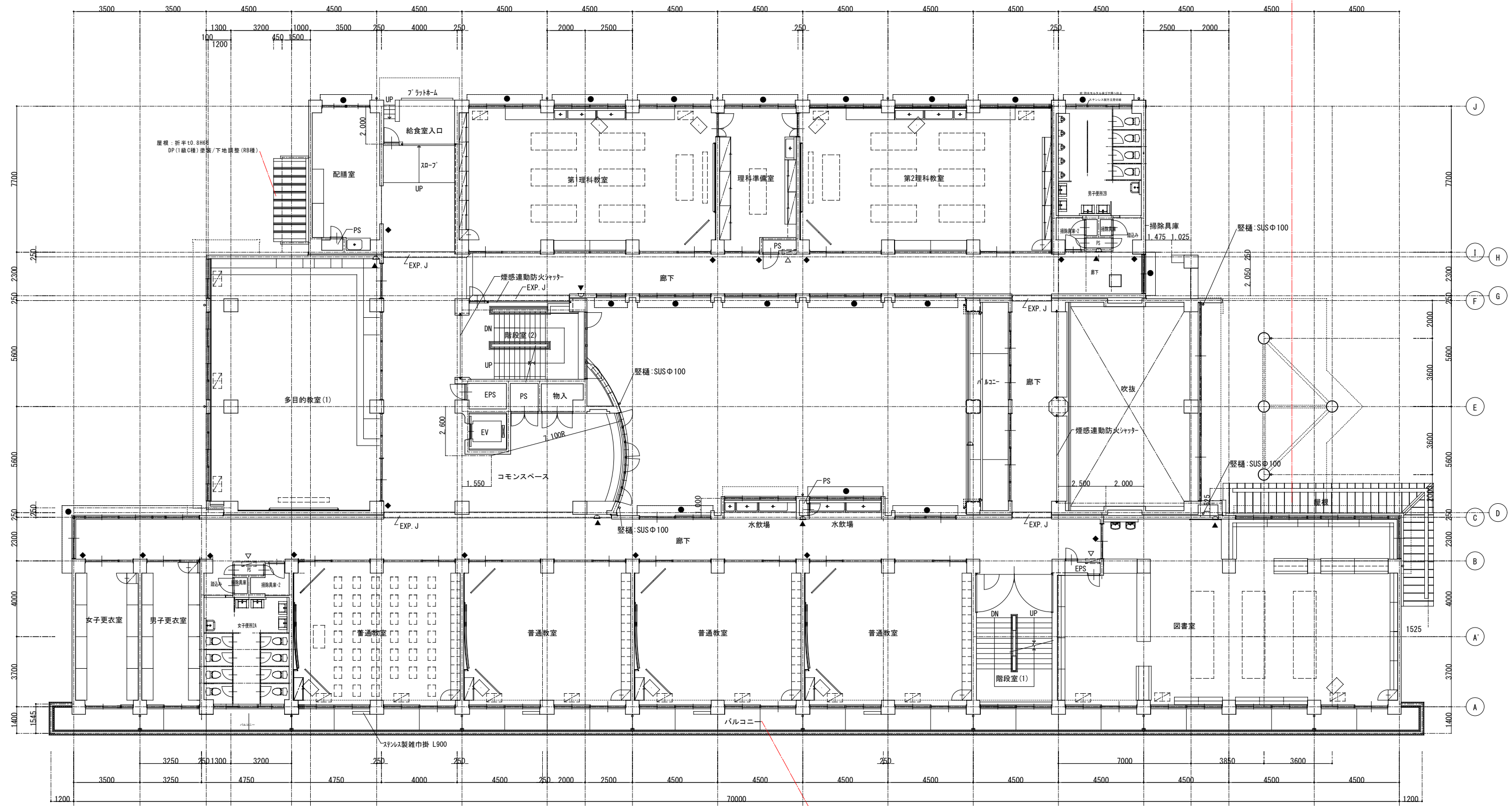
天端面：防水モルタル金ゴテ仕上(立上りH100迄)、取合部コーキング充填 軒天：既存仕上げ水洗いのち、外装薄塗材E(吹付)/下地調整 軒天：既存仕上げ水洗いのち、外装薄塗材E(吹付)/下地調整 既存塗装剥れ部：既存塗装除去のち、外装薄塗材E(吹付) ※他劣化部補修方法については外装(吹付部)に準ずる	既存モルタル防水層 ウレタン塗膜防水(X-2H)/水洗い 軒天：既存仕上げ水洗いのち、外装薄塗材E(吹付)/下地調整 既存塗装剥れ部：既存塗装除去のち、外装薄塗材E(吹付) ※他劣化部補修方法については外装(吹付部)に準ずる
--	--

特記なき柱はスチール縦柱φ120とする

株式会社 天野建築設計事務所 1級建築士 第338457号 天野実	承認 設計 担当	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 設計年月日	工事名称 猿橋中学校校舎改修工事 図面名称 平面図1F(改修)	No. A11
--------------------------------------	----------	----------------------------------	------------------------------------	---------

底(トラスボーチ底)

仕上げ  
 フッ素樹脂塗料鋼板t0.4にてはげ蓋/アスファルトルーフィング22kg品  
 /片面着色耐火地板t20/  
 野先 役物フッ素樹脂塗料鋼板t0.5折曲加工  
 仕上げ(改修)  
 ↓  
 既存層維持  
 DP(1級C種)塗装/下地調整(RB種)  
 箱縫(耐酸被覆鋼板w300t0.4折曲)ウレタン塗膜防水(X-2H)  
 /下地調整(RB種)  
 ↓  
 トラス部材: DP(1級C種)塗装



凡例 ●

仕上げ  
 天端面: 防水モルタル金ゴテ仕上(立上りH100迄)、取合部コーキング充填  
 軒天面: アクリル系リシン吹付/コンクリート素地  
 仕上げ(改修)  
 ↓  
 既存モルタル防水存置  
 ウレタン塗膜防水(X-2H)/水洗い  
 軒天面: 既存仕上げ水洗いのち、外装薄塗材E(吹付)/下地調整  
 既存塗装剥れ部: 既存塗膜除去のち、外装薄塗材E(吹付)  
 /C-1下地調整  
 ※他劣化部補修方法については外装(吹付部)に準ずる

バルコニー  
 床: 防水モルタル金ゴテ押へ(伸縮目地切離工W10コーキング充填)  
 排水溝: 防水モルタル塗W100  
 立上り(H250まで): 防水モルタル金ゴテ押へ(目地分レコーキング充填)  
 外面立上り: 弾性吹付タイル/合板型枠コンクリート打放シ  
 手すり壁天端: 弾性吹付タイル仕上/コンクリート表面金ゴテ仕上  
 ステンレス製手すりH250

排水  
 ドレン: 鋳鉄製バルコニー用ドレンφ75型  
 ステンレス製縦巾掛L900

既存モルタル防水存置  
 ウレタン塗膜防水(X-2H)/水洗い  
 立上り(H250まで): ウレタン塗膜防水(X-2H)/水洗い  
 外面立上り: 補修及び仕上げは外装に準ずる

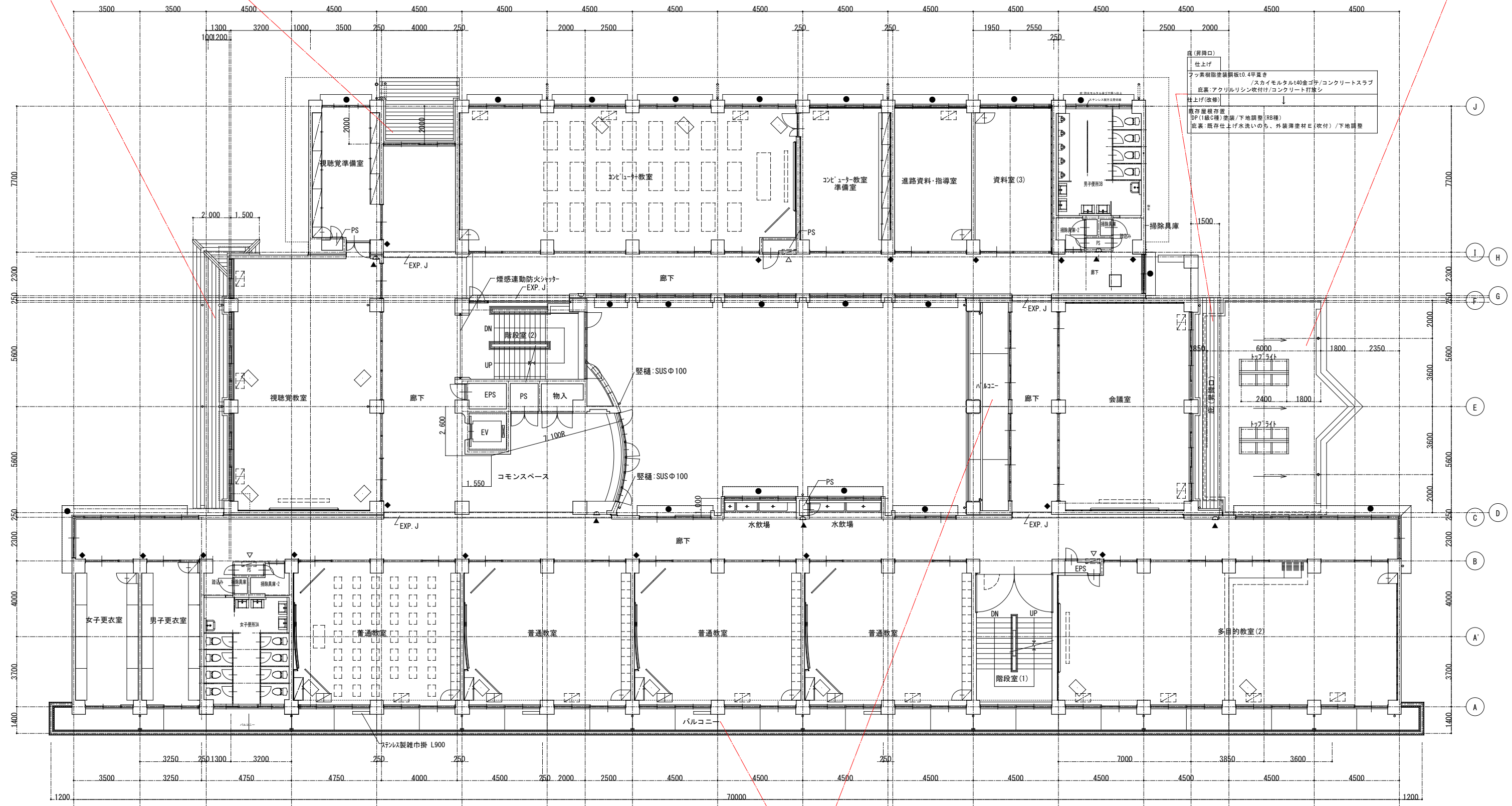
ルーフドレン: 改修用ルーフドレン更新

特記なき樋はスチール樋φ120とする

屋根 (多目的教室) 屋根 (給食室入口) フッ素樹脂塗料鋼板厚さ10.5折曲加工/スカイモルタル140/コンクリートスラブ 軒先 役物: フッ素樹脂塗料鋼板厚さ10.4平葺 仕様: 耐酸被覆鋼板φ300x10.4折曲 落仕口: SUS防塵網付φ100	既存屋根存置 DP (1級C種) 塗装/下地調整 (R8種)
仕様: 耐酸被覆鋼板φ300x10.4折曲 落仕口: SUS防塵網付φ100	仕様: 耐酸被覆鋼板φ300x10.4折曲 : ウレタン塗膜防水 (X-2H) 落仕口: SUS防塵網付φ100

庇 (トラスポーチ庇) フッ素樹脂塗料鋼板厚さ10.4たてはせ葺/アスファルトルーフィング22kg品/片面着色耐火野地板t20/ 軒先 役物: フッ素樹脂塗料鋼板厚さ10.5折曲加工 仕様: 耐酸被覆鋼板厚さ10.4折曲取付W250 落仕口: SUS防塵網付φ100	既存屋根存置 DP (1級C種) 塗装/下地調整 (R8種)
仕様: 耐酸被覆鋼板厚さ10.4折曲取付W250 落仕口: SUS防塵網付φ100	仕様: 耐酸被覆鋼板φ300x10.4折曲 : ウレタン塗膜防水 (X-2H) 下地調整 (R8種) トラサ材: DP (1級C種) 塗装

庇 (昇降口) 仕様: フッ素樹脂塗料鋼板厚さ10.4平葺 /スカイモルタル140金ゴテ/コンクリートスラブ 応裏: アクリルリシン吹付け/コンクリート打散シ 仕様: 耐酸被覆鋼板厚さ10.4折曲取付W250 落仕口: SUS防塵網付φ100	既存屋根存置 DP (1級C種) 塗装/下地調整 (R8種) 仕様: 既存仕上げ水洗いのち、外装薄塗材 E (吹付) /下地調整
--	--



<b>凡例</b> ● 仕上げ 天端面: 防水モルタル金ゴテ仕上 (立上りH100迄)、取合部コーキング充填 軒天: アクリルリシン吹付け/コンクリート素地 仕様: 耐酸被覆鋼板厚さ10.4折曲取付W250 落仕口: SUS防塵網付φ100	↓ 既存モルタル防水存置 ウレタン塗膜防水 (X-2H) / 水洗い 軒天: 既存仕上げ水洗いのち、外装薄塗材 E (吹付) / 下地調整 既存塗膜剥離部: 既存塗膜除去のち、外装薄塗材 E (吹付) / C-1下地調整 ※他劣化部補修方法については外装 (吹付部) に準ずる
---	---

バルコニー 床: 防水モルタル金ゴテ押へ (伸縮目地施工H100コーキング充填) 排水溝: 防水モルタル塗H100 立上り (H250まで): 防水モルタル金ゴテ押へ (目地分レ コーキング充填) 外面立上り: 弾性吹付タイル/合板型枠コンクリート打散シ 手すり壁天端: 弾性吹付タイル仕上/コンクリート表面金ゴテ仕上 ステンレス製手すりH250	既存モルタル防水存置 ウレタン塗膜防水 (X-2H) / 水洗い 立上り (H250まで): ウレタン塗膜防水 (X-2H) / 水洗い 外面立上り: 補修及び仕上げは外壁に準ずる
---	---

既存モルタル防水存置 ウレタン塗膜防水 (X-2H) / 水洗い 立上り (H250まで): ウレタン塗膜防水 (X-2H) / 水洗い 外面立上り: 補修及び仕上げは外壁に準ずる	ルーフドレン: 改修用ルーフドレン更新 ステンレス製縦巾掛L900
---	--------------------------------------

特記なき樫はスチール縦樫φ120とする

株式会社 天野建築設計事務所  
1級建築士 第338457号 天野実

承認	設計	担当
縮尺 A1:1/100 A1:1/200		
設計年月日		

工事名称	猿橋中学校校舎改修工事
図面名称	平面図3F (改修)
No.	A13

屋根 (北側3階棟) 屋根 (西側3階棟)

仕上り  
 防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出断熱工法t1.5/コンクリート金ゴテ押へ  
 排水溝: 防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出工法t1.5/コンクリート金ゴテ押へ  
 立上り: 防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出工法t1.5  
 空調屋外機置場基礎 (3F北): 防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出断熱工法t1.5/コンクリート金ゴテ押へ  
 配管小屋屋根 (3F北): ステンレス板t1.5折り曲げ加工取付 (取合部コーキング充填)

備考  
 ルーフドレン: 鉄線製φ100  
 横引きドレン: 鉄線製φ100  
 笠木: アルミ製w175  
 立上り部: アルミ製水切押へ金物取付 コーキング充填  
 PC製雨受板450×300×150・90

仕上り (改修)  
 既存シート防水存置  
 ウレタン塗膜防水 (X-1H)/自着シート/水洗い  
 排水溝: 既存シート防水撤去のち ウレタン塗膜防水 (X-2H)/下地調整 (0-1)/ケレン  
 ※端部 (---): 増設幅長80×50挿入  
 立上り: 既存シート防水撤去のちウレタン塗膜防水 (X-2H)/下地調整 (0-1)/ケレン

備考 (改修)  
 ルーフドレン: 改修用ルーフドレン更新  
 横引きドレン: 改修用横引きドレン更新  
 笠木取り外し再設置  
 立上り部: 防水押え金物更新  
 PC製雨受板450×300×150・90更新

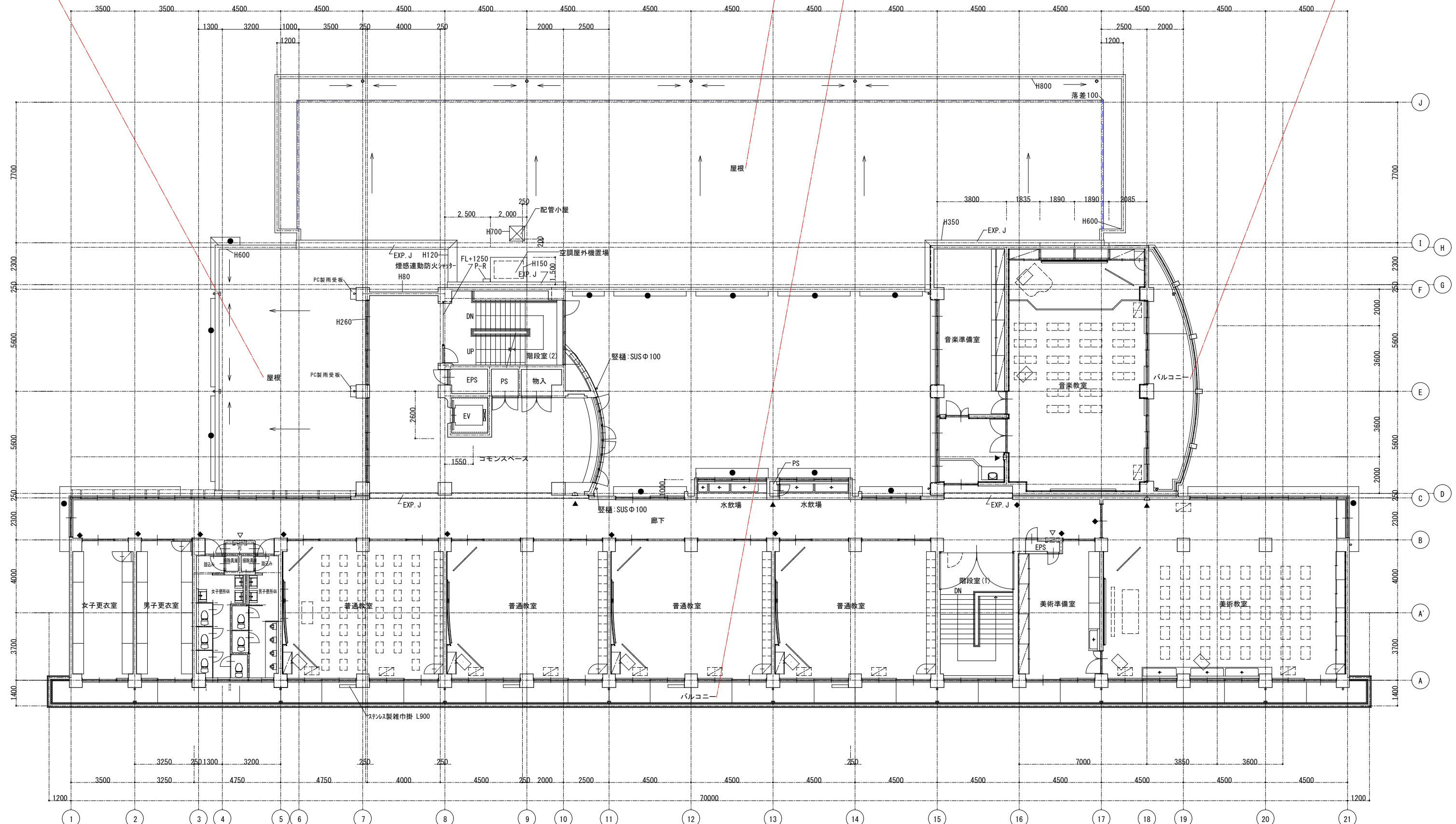
バルコニー

仕上り  
 床: 防水モルタル金ゴテ押へ (伸縮目地切施工W10コーキング充填)  
 排水溝: 防水モルタル金ゴテ押へ  
 立上り (H250まで): 防水モルタル金ゴテ押へ (目地分レ コーキング充填)  
 外面立上り: 弾性吹付タイル/合板型枠コンクリート打放シ  
 手すり壁天端: 弾性吹付タイル仕上/コンクリート表面金ゴテ仕上  
 ステンレス製手すりH250

備考  
 ドレン: 鉄線製バルコニー用ドレンφ75型  
 ステンレス製雑巾掛L900

仕上り (改修)  
 既存モルタル防水存置  
 ウレタン塗膜防水 (X-2H)/水洗い  
 立上り (H250まで): ウレタン塗膜防水 (X-2H)/水洗い  
 外面立上り: 補修及び仕上げは外壁に準ずる

備考 (改修)  
 ルーフドレン: 改修用ルーフドレン更新



凡例 ●

仕上り (改修)  
 天端面: 防水モルタル金ゴテ仕上 (立上りH100迄)、取合部コーキング充填  
 軒天井: アクリル系リシン吹付/コンクリート素地

仕上り (改修)  
 既存モルタル防水存置  
 ウレタン塗膜防水 (X-2H)/水洗い  
 軒天井: 既存仕上げ水洗いのち、外装薄塗材E (吹付)/下地調整  
 既存塗膜剥離部: 既存塗膜除去のち、外装薄塗材E (吹付)  
 ※他劣化部補修方法については外壁 (吹付部) に準ずる

特記なき柱はスチール縦柱φ120とする

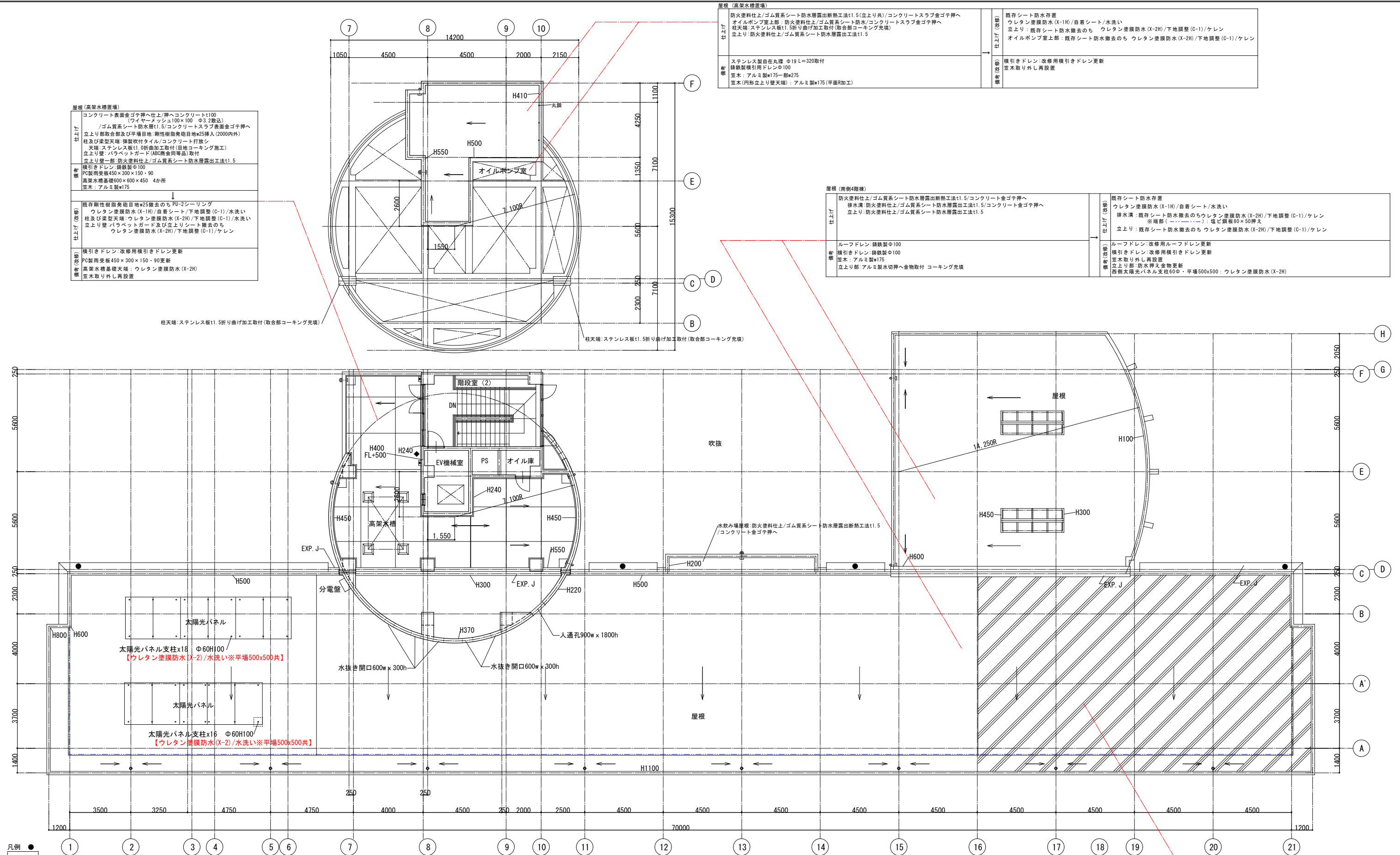
株式会社 天野建築設計事務所  
 1級建築士 第338457号 天野実

承認 設計 担当

縮尺 A1:1/100  
 A1:1/200  
 設計年月日

工事名称 猿橋中学校校舎改修工事  
 図面名称 平面図4F (改修)

No. A14



<b>屋根 (高架水槽置場)</b> 防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出断熱工法t1.5(立上り共)/コンクリートスラブ金ゴテ押へ オイルポンプ上部: 防火塗料仕上/ゴム質系シート防水/コンクリートスラブ金ゴテ押へ 柱天端: ステンレス板t1.5折り曲げ加工取付(取合部コーキング充填) 立上り: 防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出工法t1.5	既存シート防水存置 ウレタン塗膜防水(X-1H)/自着シート/水洗い 立上り: 既存シート防水撤去のち ウレタン塗膜防水(X-2H)/下地調整(C-1)/ケレン オイルポンプ上部: 既存シート防水撤去のち ウレタン塗膜防水(X-2H)/下地調整(C-1)/ケレン
<b>新築</b> ステンレス製自在丸鋼 φ19 L=320取付 鋼鉄製横引きドレンφ100 笠木: アルミ製w175一部w275 笠木(円形立上り壁天端): アルミ製w175(平面R加工)	<b>修繕(改修)</b> 横引きドレン: 改修用横引きドレン更新 笠木取り外し再設置

<b>屋根 (南側4階棟)</b> 防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出断熱工法t1.5/コンクリート金ゴテ押へ 排水溝: 防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出工法t1.5/コンクリート金ゴテ押へ 立上り: 防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出工法t1.5	既存シート防水存置 ウレタン塗膜防水(X-1H)/自着シート/水洗い 排水溝: 既存シート防水撤去のちウレタン塗膜防水(X-2H)/下地調整(C-1)/ケレン ※補修(---): 壁凸部取付φ50挿入 立上り: 既存シート防水撤去のち ウレタン塗膜防水(X-2H)/下地調整(C-1)/ケレン
<b>新築</b> ルーフドレン: 鋼鉄製φ100 横引きドレン: 鋼鉄製φ100 笠木: アルミ製w175 立上り部: アルミ製水切押へ金物取付 コーキング充填	<b>修繕(改修)</b> ルーフドレン: 改修用ルーフドレン更新 横引きドレン: 改修用横引きドレン更新 笠木取り外し再設置 立上り部: 防水押え金物更新 西側太陽光パネル支柱60φ・平場500x500: ウレタン塗膜防水(X-2H)

<b>凡例</b> ● 仕上げ 天端面: 防水モルタル金ゴテ仕上(立上りH100迄)、取合部コーキング充填 軒天井: アクリル系リシン吹付/コンクリート素地 仕上げ(改修) ↓ 既存モルタル防水存置 ウレタン塗膜防水(X-2H)/水洗い 軒天井: 既存仕上げ水洗いのち、外装薄塗材E(吹付)/下地調整 既存塗膜剥れ部: 既存塗膜除去のち、外装薄塗材E(吹付) /C-1下地調整 ※他劣化部補修方法については外装(吹付部)に準ずる
---

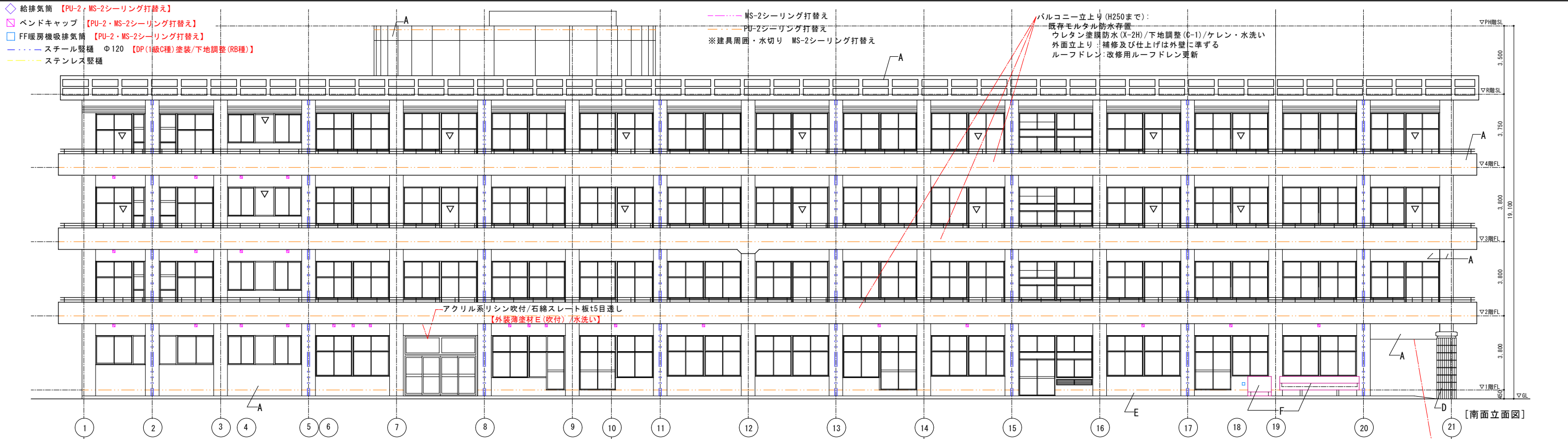
<b>屋根 (4階一部東面シート・断熱材剥がれ部)</b> 防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出断熱工法t1.5/コンクリート金ゴテ押へ 排水溝: 防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出工法t1.5/コンクリート金ゴテ押へ 立上り: 防火塗料仕上/ゴム質系シート防水層露出工法t1.5	既存シート防水・断熱材撤去のち ウレタン塗膜防水(X-1H)/自着シート/緩質ウレタンフォームt25/ケレン 立上り: 既存シート防水撤去のち ウレタン塗膜防水(X-2H)/下地調整(C-1)/ケレン
<b>新築</b> ルーフドレン: 鋼鉄製φ100 笠木: アルミ製w175 立上り部: アルミ製水切押へ金物取付 コーキング充填	<b>修繕(改修)</b> ルーフドレン: 改修用ルーフドレン更新 笠木取り外し再設置 立上り部: 防水押え金物更新

特記なき樫はスチール管φ120とする  
ハッチ部分は、既存シート断熱剥がれ部分を示す

株式会社 天野建築設計事務所  
1級建築士 第338457号 天野実

承認 設計 担当  
縮尺 A1:1/100  
A1:1/200  
設計年月日

工事名称 猿橋中学校校舎改修工事  
図面名称 平面図RF(改修)



【南面立面図】



【北面立面図】

仕上げ	既存	コンクリート打放シの上 弾性吹付タイル仕上
	改修 (仕上げ)	既存仕上げ水洗いのち、可とう形改修塗材RE (吹付) 既存塗膜剥離部: 既存塗膜除去のち、可とう形改修塗材RE (吹付)/C-1下地調整 浮き部: アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 /吹付材付与後、真空吸引機「リルB」による既存塗膜除去 クラック<1mm: 弾力性エポキシ樹脂注入工法 (OGS工法同等) /水循環吸引機付研磨機による既存塗膜除去 ※0.3mm未満は対象外 クラック<1mm: ノンカットフィルム工法 /水循環吸引機付研磨機による既存塗膜除去 鉄筋露出欠損部: 浸透拡散型亜硝酸リチウム (55kg/m2配合) 併用断面防錆処理 ※庇・梁型も外壁に準ずる 改修 (備考) 目地・建具周囲他: PU-2・MS-2シーリング打替え

B ハッチ部 目地	既存	コンクリート打放シの上 シリコン系撥水材 及び濡れ防止材下地 フッ素クリアー下地
	改修 (仕上げ)	既存ケレン・目荒らしのち、可とう形改修塗材RE (吹付) ※他劣化部補修方法については外壁 (吹付部) に準ずる 目地: PU-2シーリング打ち

C ハッチ部 目地	既存	磁器質50角モザイクタイル貼
	改修 (仕上げ)	既存仕上げ水洗い 破損部・開片浮き部: タイル張替え 浮き部: アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 クラック<1mm: 内圧充填補修 (IPH工法同等) ※0.3mm未満は対象外 クラック<1mm: 内圧充填補修 (IPH工法同等) 鉄筋露出欠損部: 浸透拡散型亜硝酸リチウム (55kg/m2配合) 併用断面防錆処理 改修 (備考) 目地・建具周囲他: MS-2シーリング打替え

D ハッチ部 目地	既存	コンクリート打放シの上 右目調厚付仕上塗料吹付
	改修 (仕上げ)	既存仕上げ水洗い 既存仕上げ水洗いのち、可とう形改修塗材RE (吹付) ※他劣化部補修方法については外壁 (吹付部) に準ずる
E ハッチ部 目地	改修 (備考)	改修なし
	改修 (仕上げ)	既存 局部 モルタル金ゴテ押へ仕上 目地分レコーキング充填
F ハッチ部 目地	改修 (備考)	改修なし
	改修 (仕上げ)	改修なし

F ハッチ部 目地	既存	水飲み場 及び足洗場 磁器質50角タイル貼
	改修 (仕上げ)	水飲み場 及び足洗場 既存仕上げ水洗い 破損部: タイル張替え ※他劣化部補修方法については外壁 (吹付部) に準ずる
改修 (備考)	改修 (備考)	改修なし
	改修 (備考)	改修なし

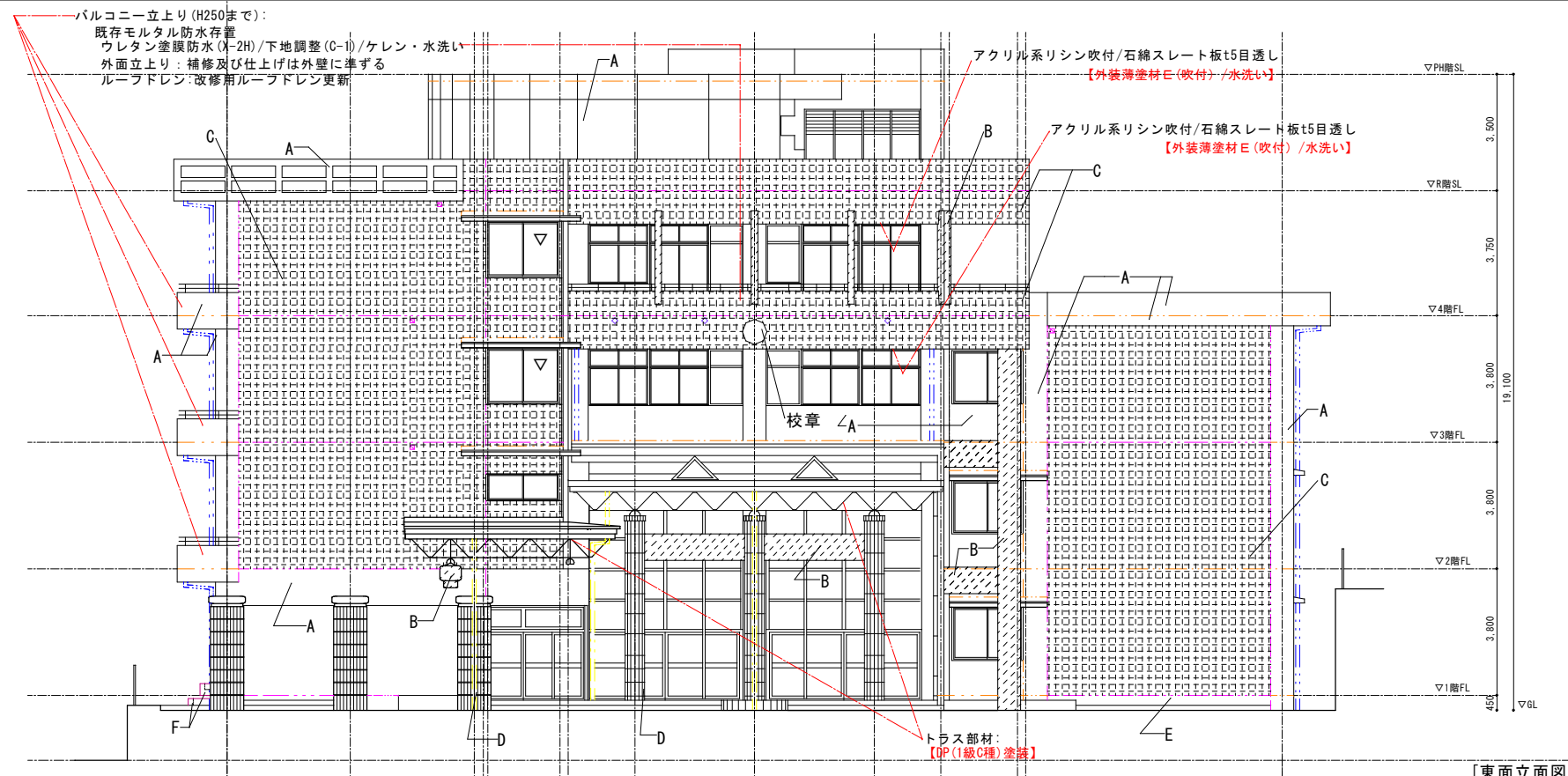
図中▽印は、消防隊進入口マークを示す

仕上げ	既存 改修 (仕上げ)	コンクリート打放シの上 弾性吹付タイル仕上 既存仕上げ水洗いのち、可とう形改修塗材RE(吹付) 既存塗膜除去のち、可とう形改修塗材RE(吹付)/C-1下地調整 既存塗膜除去のち、可とう形改修塗材RE(吹付)注入工法 /湿式吸引機ドリル5φによる既存塗膜除去 クラック<1mm:弾力性エポキシ樹脂注入工法(OGS工法同等) /水循環吸引機付研磨機による既存塗膜除去 ※0.3mm未満は対象外 クラック≥1mm:ノンカットフィルム工法 /水循環吸引機付研磨機による既存塗膜除去 鉄筋露出欠損部 深透拡散型重積酸リチウム(55kg/m2配合)併用断面防錆処理 ※症・変型も外壁に準ずる
A	改修 (備考)	目地・建具周囲他: PU-2・MS-2シーリング打替え
B バルコニー	既存 改修 (仕上げ)	コンクリート打放シの上 シリコン系撥水材 及び濡れ色防止材下地 フッ素クリアー下地
B	改修 (備考)	既存ケレン・目荒らしのち、可とう形改修塗材RE(吹付) ※他劣化部補修方法については外壁(吹付部)に準ずる
B	改修 (備考)	目地: PU-2シーリング打ち
B	改修 (備考)	磁器質50角モザイクタイル貼
C 4階以上	既存 改修 (仕上げ)	既存仕上げ水洗い 破損部・胸片浮き部:タイル張替え 浮き部:アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 クラック<1mm:内圧充填接合補強(IPH工法同等) ※0.3mm未満は対象外 クラック≥1mm:内圧充填接合補強(IPH工法同等) 鉄筋露出欠損部 深透拡散型重積酸リチウム(55kg/m2配合)併用断面防錆処理
C	改修 (備考)	目地・建具周囲他: MS-2シーリング打替え
D	既存 改修 (仕上げ)	コンクリート打放シの上 石目調厚付仕上塗料吹付
D	改修 (備考)	既存仕上げ水洗い 既存仕上げ水洗いのち、可とう形改修塗材RE(吹付) ※他劣化部補修方法については外壁(吹付部)に準ずる
D	改修 (備考)	改修なし
D	改修 (備考)	脚部 モルタル金ゴテ押へ仕上 目地分レコーキング充填
E	既存 改修 (仕上げ)	改修なし
E	改修 (備考)	改修なし
F	既存 改修 (仕上げ)	水飲み場 及び足洗場 磁器質50角タイル貼
F	改修 (備考)	水飲み場 及び足洗場 既存仕上げ水洗い 破損部:タイル張替え ※他劣化部補修方法については外壁(吹付部)に準ずる

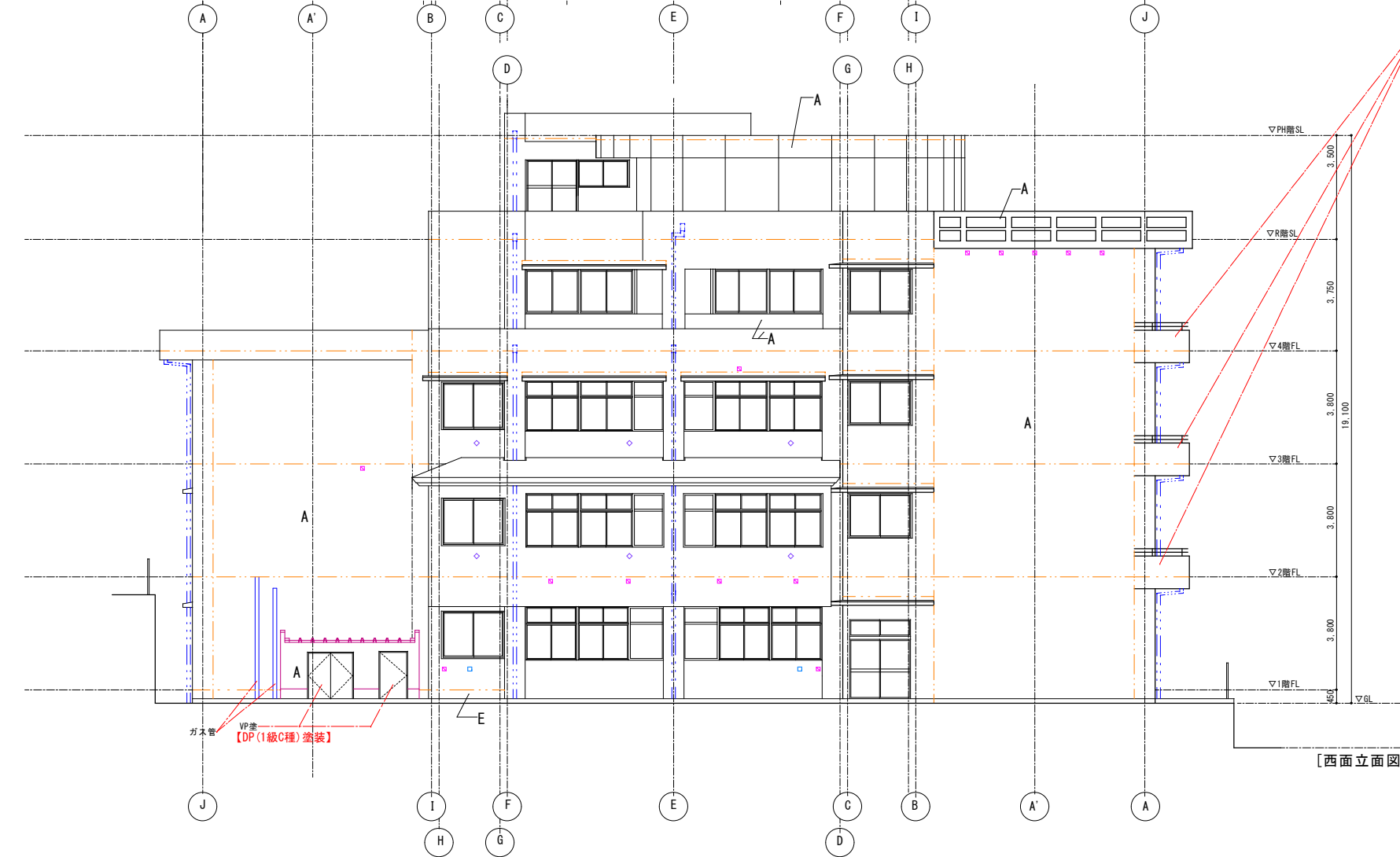
図中▽印は、消防隊進入口マークを示す

図中▽印は、消防隊進入口マークを示す

- ◇ 給排気筒 【PU-2・MS-2シーリング打替え】
- ベンドキャップ 【PU-2・MS-2シーリング打替え】
- FF暖房機吸排気筒 【PU-2・MS-2シーリング打替え】
- ステンレス 縦樋
- スチール 縦樋 φ120 【DP(1級C種)塗装/下地調整(RB種)】
- MS-2シーリング打替え
- PU-2シーリング打替え
- ※建具周囲・水切り MS-2シーリング打替え



【東側立面図】

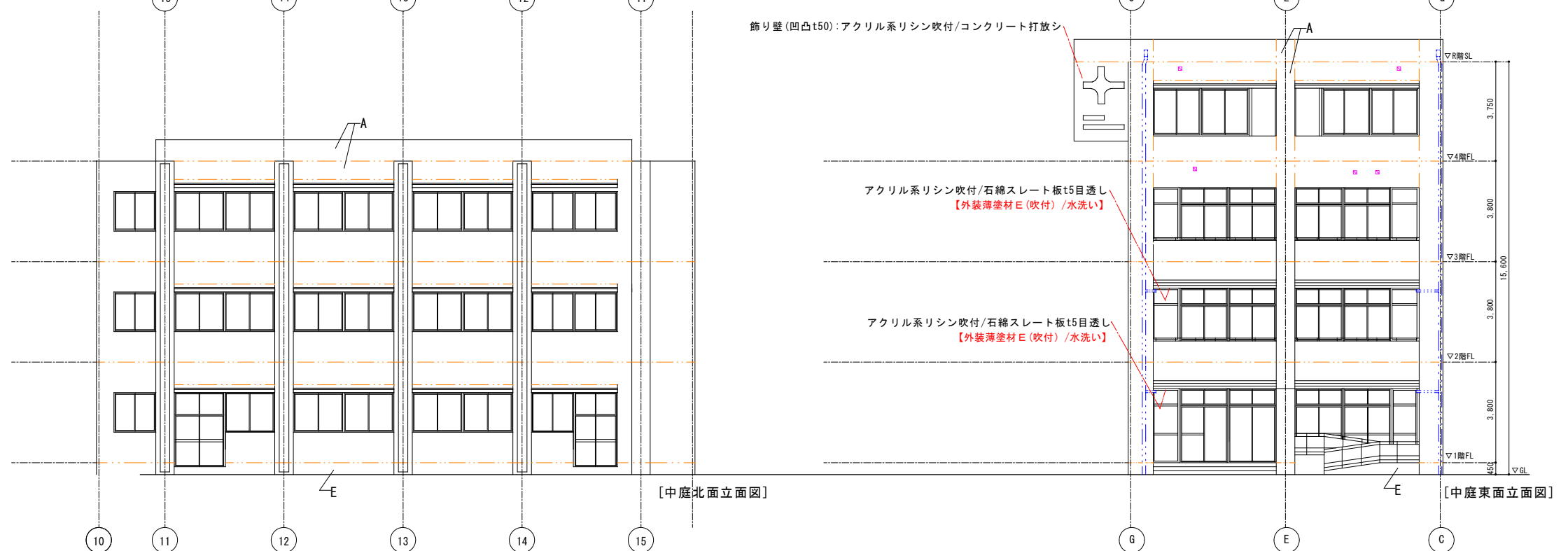


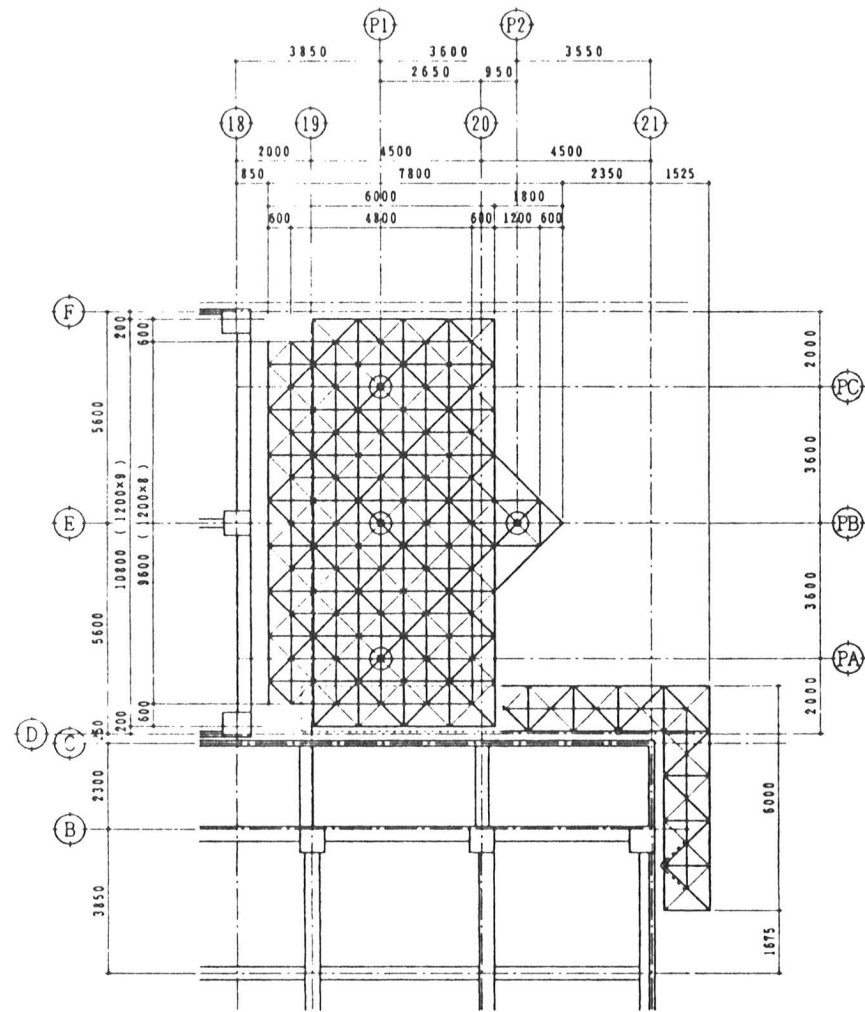
【西側立面図】

仕上げ	既存	コンクリート打放シの上 弾性吹付タイル仕上
	改修 (仕上げ)	既存仕上げ水洗いのち、可とう形改修塗材RE(吹付) 既存塗装剥れ部: 既存塗膜除去のち、可とう形改修塗材RE(吹付)/C-1下地調整 浮き部:アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 クラック<1mm:弾力性エポキシ樹脂注入工法(OGS工法同等) /水循環吸引機付研磨機による既存塗膜除去 ※0.3mm未満は対象外
A	改修 (備考)	目地・建具周囲他:PU-2・MS-2シーリング打替え
	既存	コンクリート打放シの上 シリコン系撥水材 及び濡れ色防止材下地 フッ素クリヤー下地
B ハッチ	改修 (仕上げ)	既存クレン・目荒らしのち、可とう形改修塗材RE(吹付) ※他劣化部補修方法については外壁(吹付部)に準ずる
	改修 (備考)	目地:PU-2シーリング打ち
C ハッチ H+E	既存	磁器質50角モザイクタイル貼
	改修 (仕上げ)	既存仕上げ水洗い 破損部・陶片浮き部:タイル張替え 浮き部:アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 クラック<1mm:内圧充填接合補強(IPH工法同等) ※0.3mm未満は対象外 クラック≥1mm:内圧充填接合補強(IPH工法同等) 鉄筋露出欠損部:浸透拡散型亜硝酸リチウム(55kg/m <sup>2</sup> 配合)併用断面防錆処理
D	改修 (備考)	目地・建具周囲他:MS-2シーリング打替え
	既存	コンクリート打放シの上 右目調厚付仕上塗料吹付
E	改修 (仕上げ)	既存仕上げ水洗い 既存仕上げ水洗いのち、可とう形改修塗材RE(吹付) ※他劣化部補修方法については外壁(吹付部)に準ずる
	改修 (備考)	改修なし
F	既存	脚部 モルタル金ゴテ押へ仕上 目地分レコーキング充填
	改修 (備考)	改修なし
F	既存	水飲み場 及び足洗場 磁器質50角タイル貼
	改修 (仕上げ)	水飲み場 及び足洗場 既存仕上げ水洗い 破損部:タイル張替え ※他劣化部補修方法については外壁(吹付部)に準ずる
F	改修 (備考)	改修なし

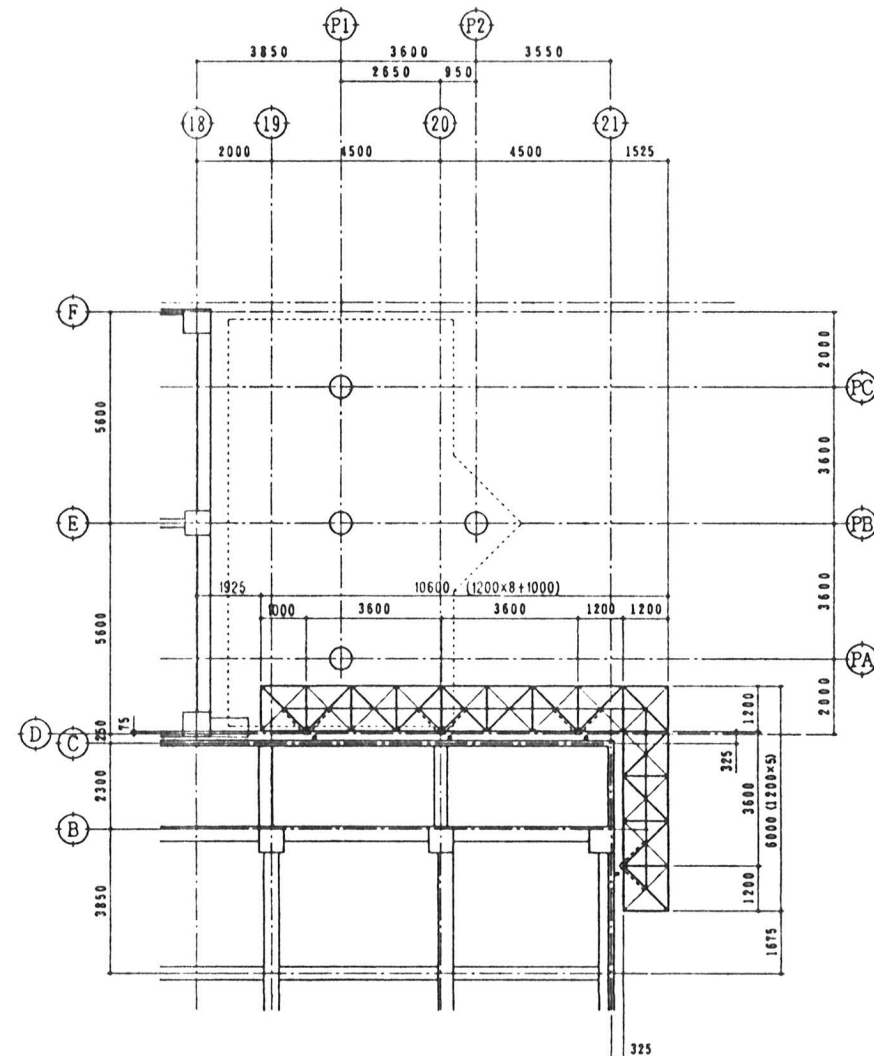
図中▽印は、消防隊進入口マークを示す

- ベンドキャップ 【DP(1級C種)塗装/下地調整(RB種)】
- ステンレス縦樋
- スチール縦樋 Φ120 【DP(1級C種)塗装/下地調整(RB種)】
- MS-2シーリング打替え
- PU-2シーリング打替え
- ※建具周囲・水切り MS-2シーリング打替え



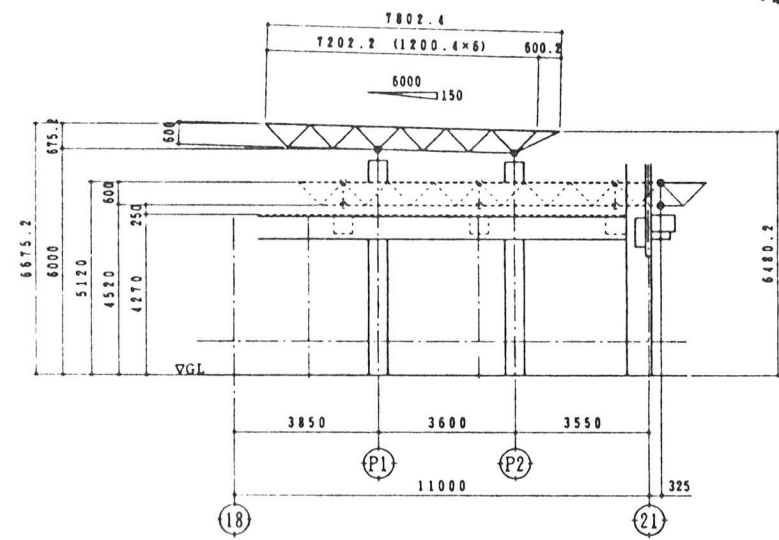


トラス伏図 1:100  
(大トラス)

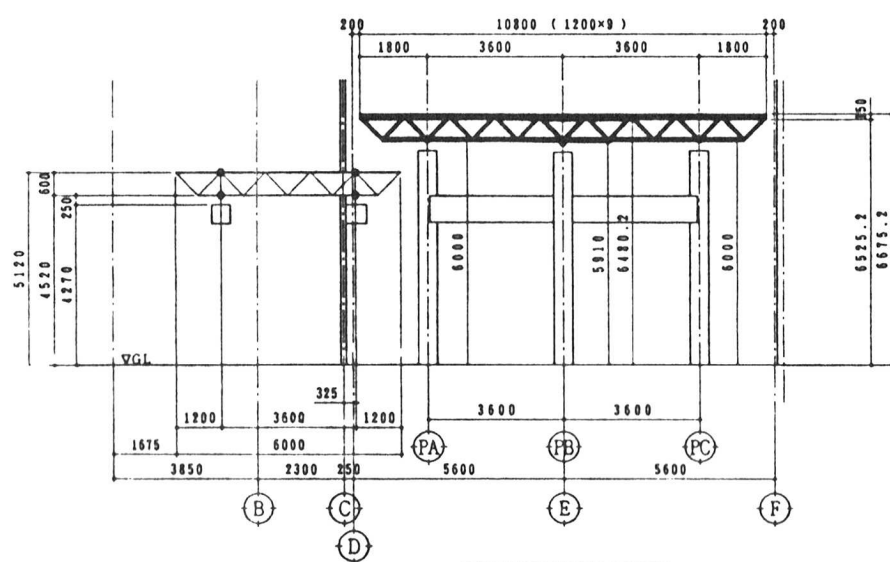


トラス伏図 1:100  
(小トラス)

特記  
 全てのトラスの寸法はパイプ寸法とする。  
 ○印は支保脚を示す。  
 \*印は組立材を示す。



立面図 1:100



立面図 1:100

部材リスト

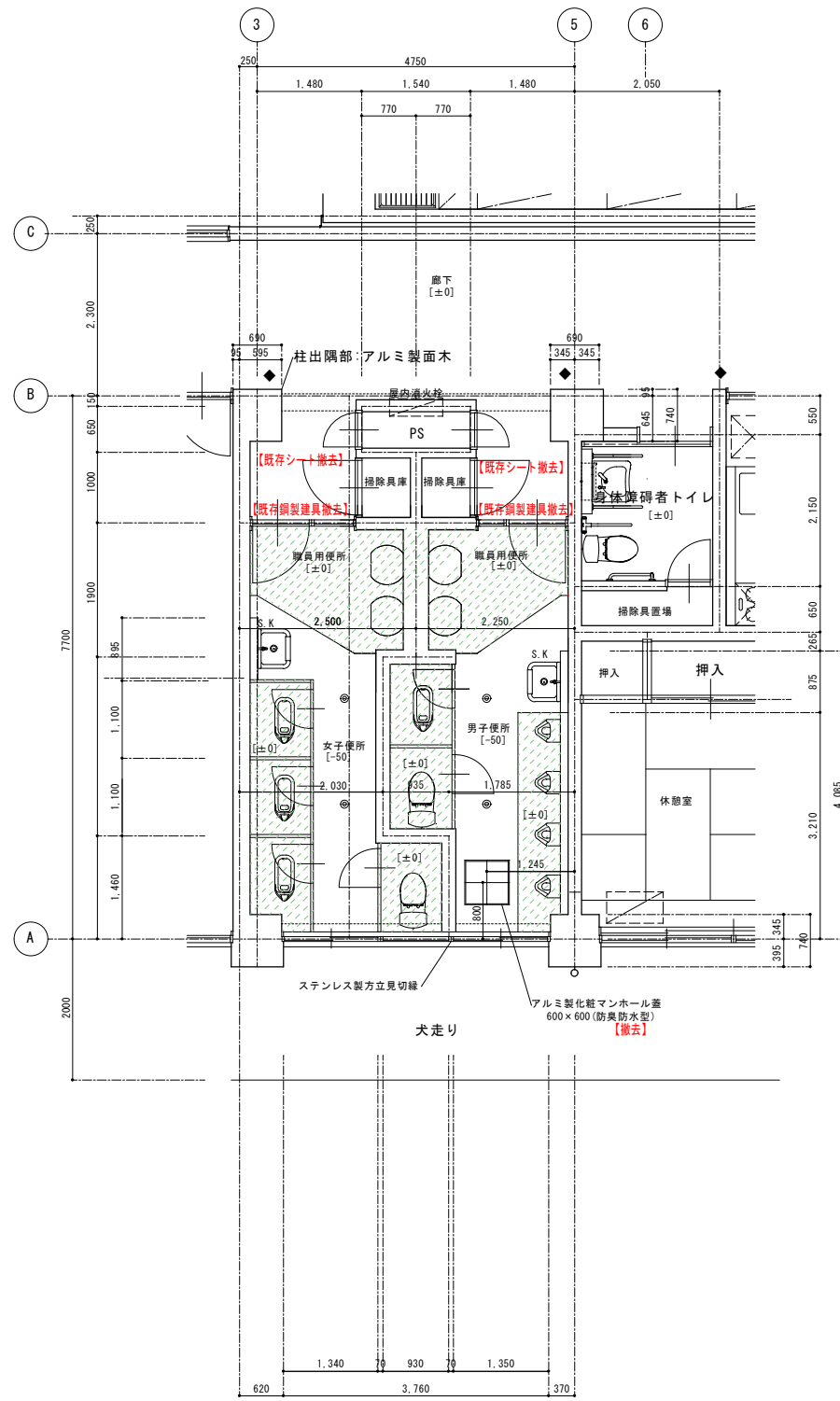
パイプ

部材	パイプ	ボルト	備考
桁材	φ42.7×2.3	M16	
上弦材・下弦材	φ48.6×3.2	M16	

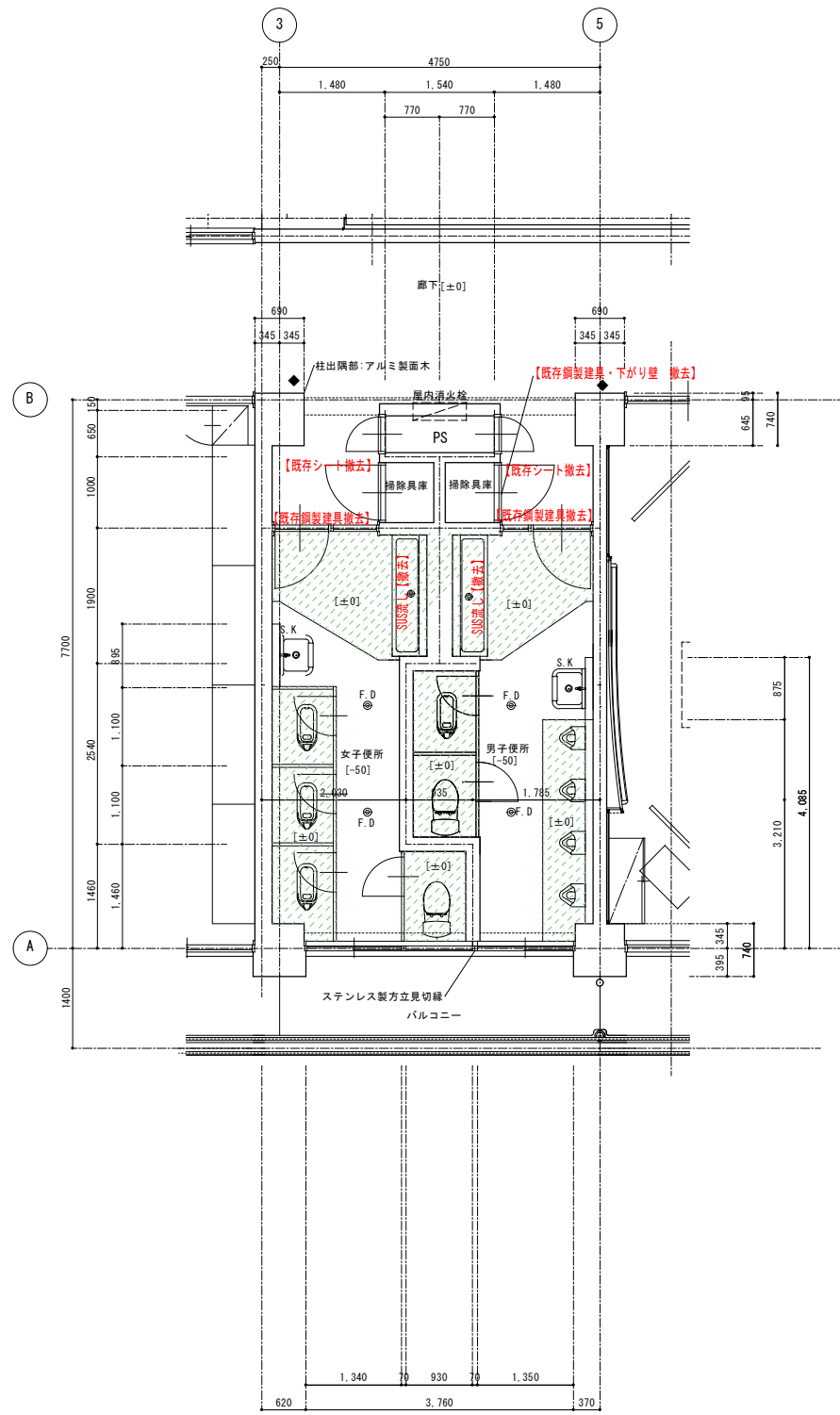
グローブ

記号	グローブ	備考
—	φ85/18	
—	φ110/103	
◆	φ110/103	球状変形グローブ

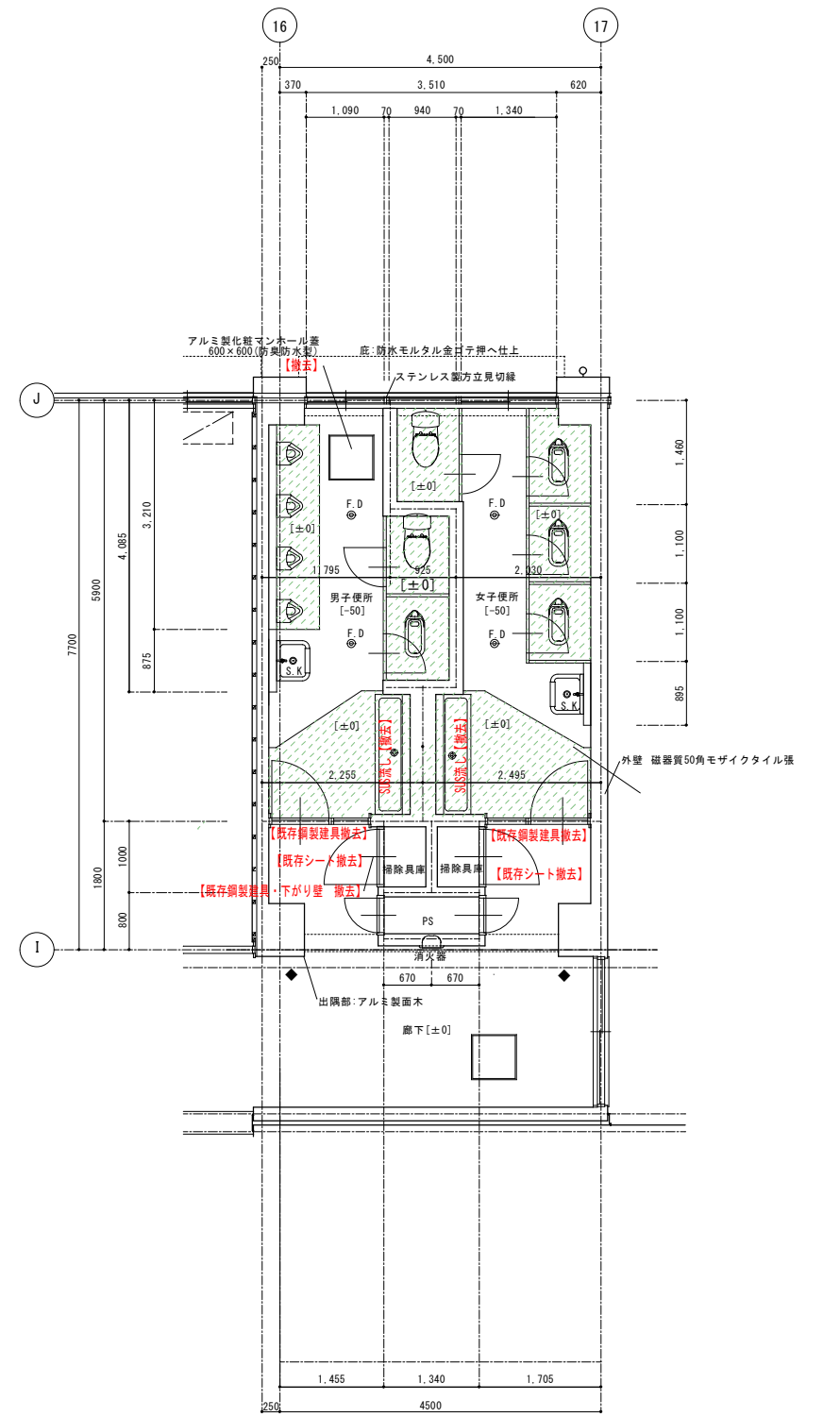
トラスパイプ・グローブ: 【DP(1級C種)塗装】



男・女子便所1A平面詳細図



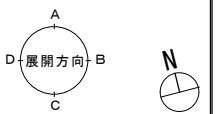
男・女子便所2, 3, 4A平面詳細図



男・女子便所1, 2, 3B平面詳細図

ハッチ部: 【床増打ちコンクリートt100撤去】

※特記無き内部造作材、仕上げ(塗装除去除く)、下地は撤去とする  
 ※既存撤去、再使用等は既存図及び現場調査による。

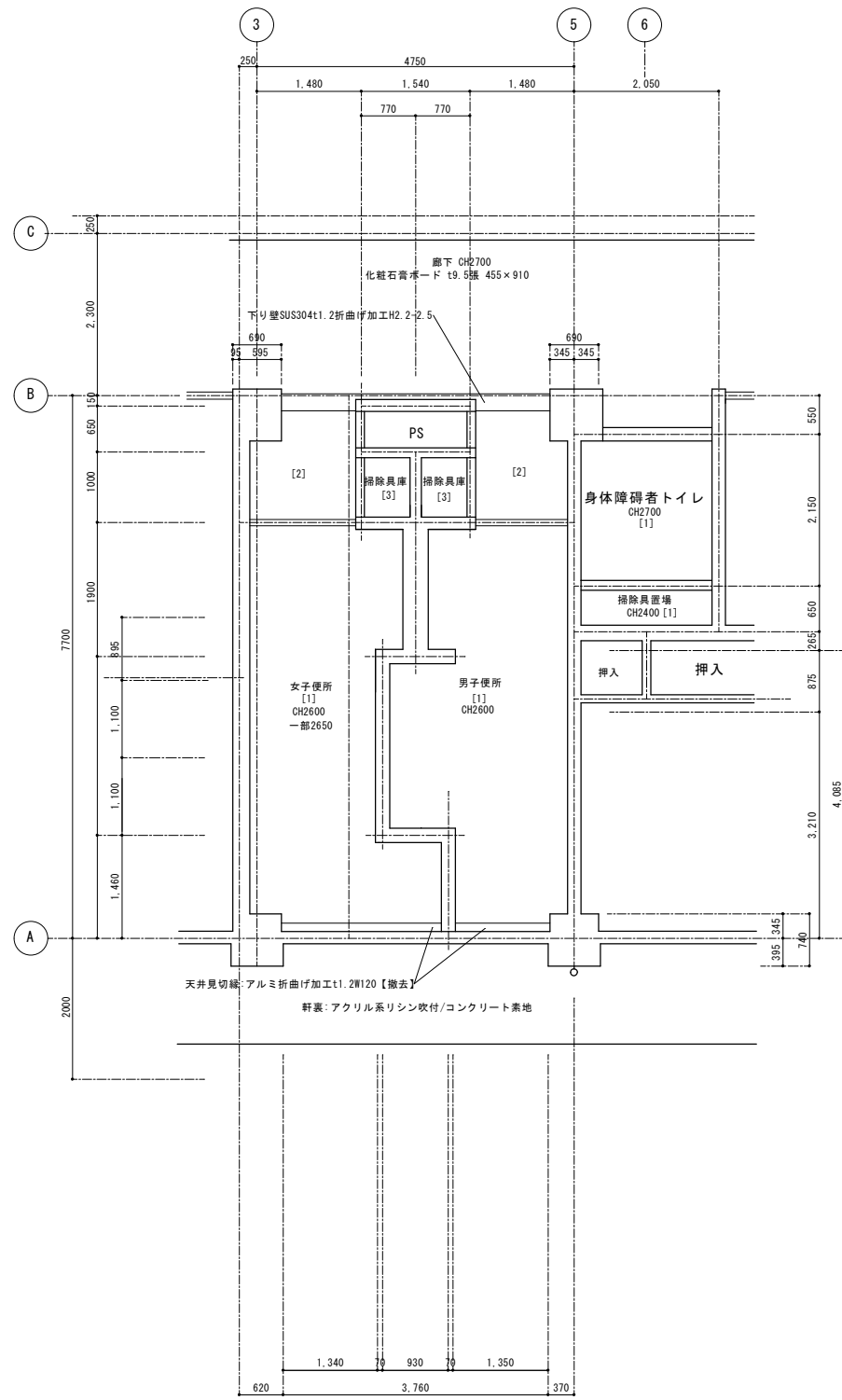


株式会社 天野建築設計事務所  
 1級建築士 第338457号 天野実

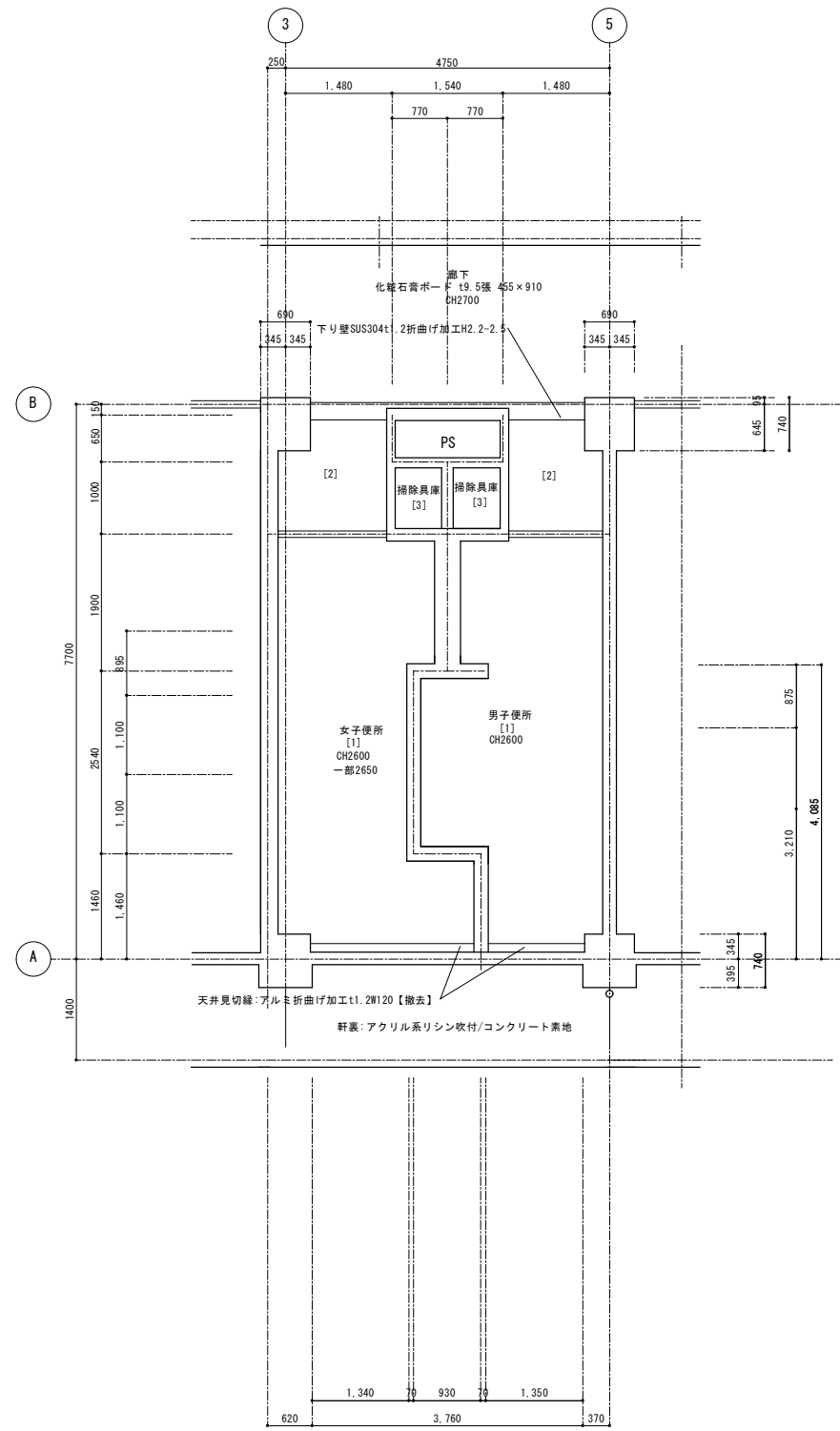
承認 設計 担当  
 縮尺 A1:1/50  
 A3:1/100  
 設計年月日

工事名称 猿橋中学校校舎改修工事  
 図面名称 便所 平面詳細図(既存)

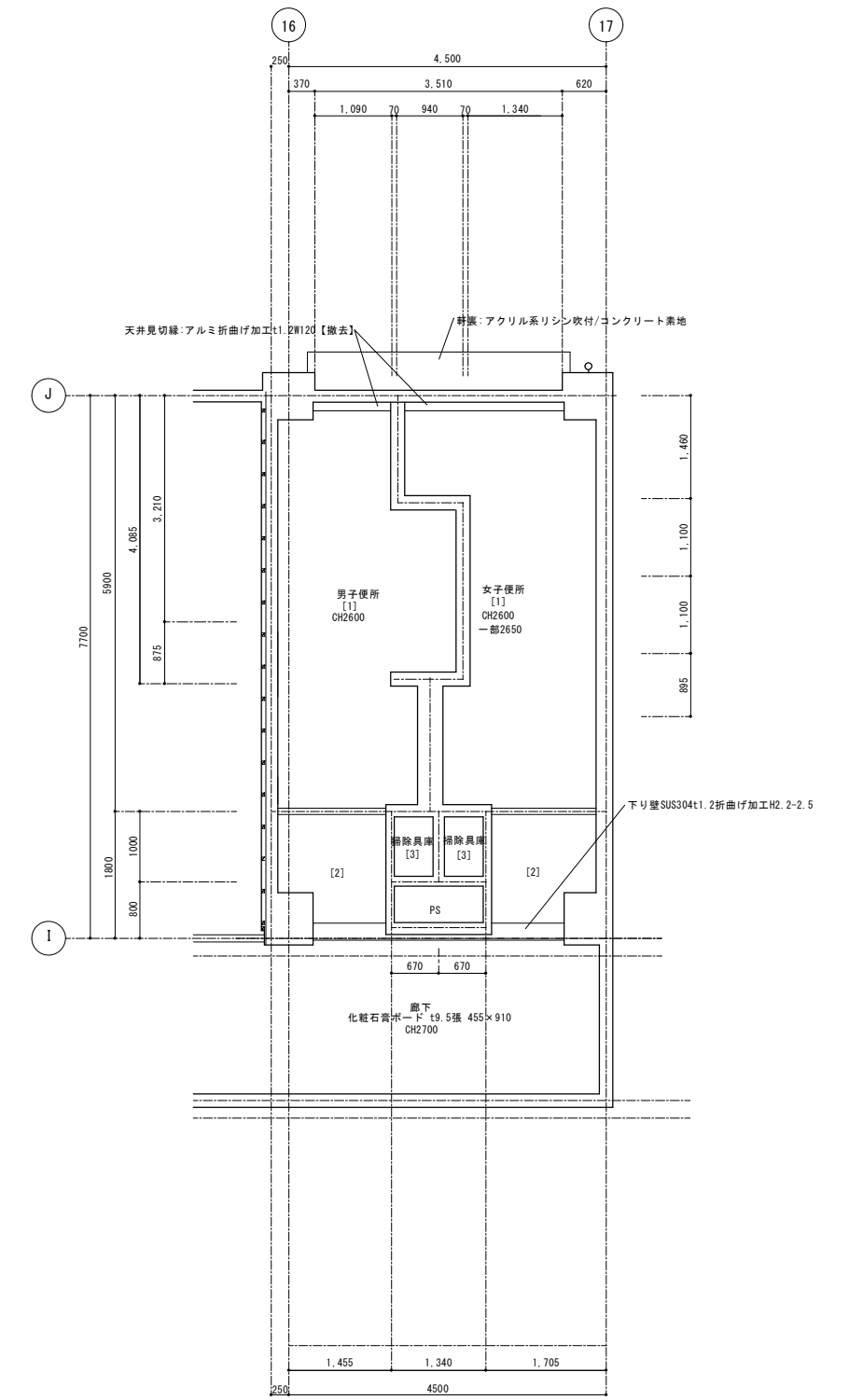
凡例		
[1]	VP塗 / ケイ酸カルシウム板 t5 910×910目隠し張 【仕上げ・下地撤去】	
[2]	化粧石膏ボード t9.5張 455×910 【仕上げ・下地撤去】	
[3]	コンクリートスラブ下面素地	



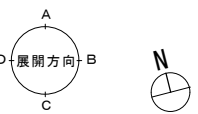
男・女子便所1A天井伏図



男・女子便所2,3,4A天井伏図



男・女子便所1,2,3B天井伏図



特記無き限り下記表の仕上げとする	
室名	男・女子便所1,2,3,4A
床	磁器質50角タイル貼
巾木	
壁	磁器質100角タイル貼 化粧下地仕上
天井	VP塗 /ケイ酸カルシウム板 t5 910×910目透し張
備考	※既存縦線撤去

特記無き限り下記表の仕上げとする	
室名	掃除具庫
床	長尺塩ビシート t2.5貼
巾木	モルタル金ゴテ押へ 目地分レ H=100
壁	モルタル金ゴテ押へ
天井	コンクリートスラブ下面露地
備考	

特記無き限り下記表の仕上げとする	
室名	男・女子便所1,2,3B
床	磁器質50角タイル貼
巾木	
壁	磁器質100角タイル貼 化粧下地仕上
天井	VP塗 /ケイ酸カルシウム板 t5 910×910目透し張
備考	※既存縦線撤去

特記無き限り下記表の仕上げとする	
室名	掃除具庫
床	長尺塩ビシート t2.5貼
巾木	モルタル金ゴテ押へ 目地分レ H=100
壁	モルタル金ゴテ押へ
天井	VP塗 /ケイ酸カルシウム板 t5 910×910目透し張
備考	

特記無き限り下記表の仕上げとする	
室名	身体障害者トイレ 掃除具置場
床	長尺塩ビシート t2.5貼
巾木	モルタル金ゴテ押へ 目地分レ H=100
壁	ソフトタイプ吹付 /モルタル金ゴテ押へ 配管架台C:陶器質100角タイル貼 /モルタル金ゴテ押へ/ B種t100
天井	VP塗 /ケイ酸カルシウム板 t5 910×910目透し張
備考	



株式会社 天野建築設計事務所  
1級建築士 第338457号 天野実

承認 設計 担当  
縮尺 A1:1/50  
A3:1/100  
設計年月日

工事名称 猿橋中学校校舎改修工事  
図面名称 便所 展開図(既存)

特記無き限り下記表の仕上げとする  
男・女子便所1A・4A

床	既存 磁器質50角タイル貼
改修	既存仕上げ・下地(押エコンクリートt50)撤去 長尺塩ビシート t 2.5(防滑・抗菌) / 耐水合板 t12 / 乾式2重床H50
巾木	既存 壁同材
改修	既存下地・仕上げ撤去のち ソフト巾木 H=100

掃除具庫

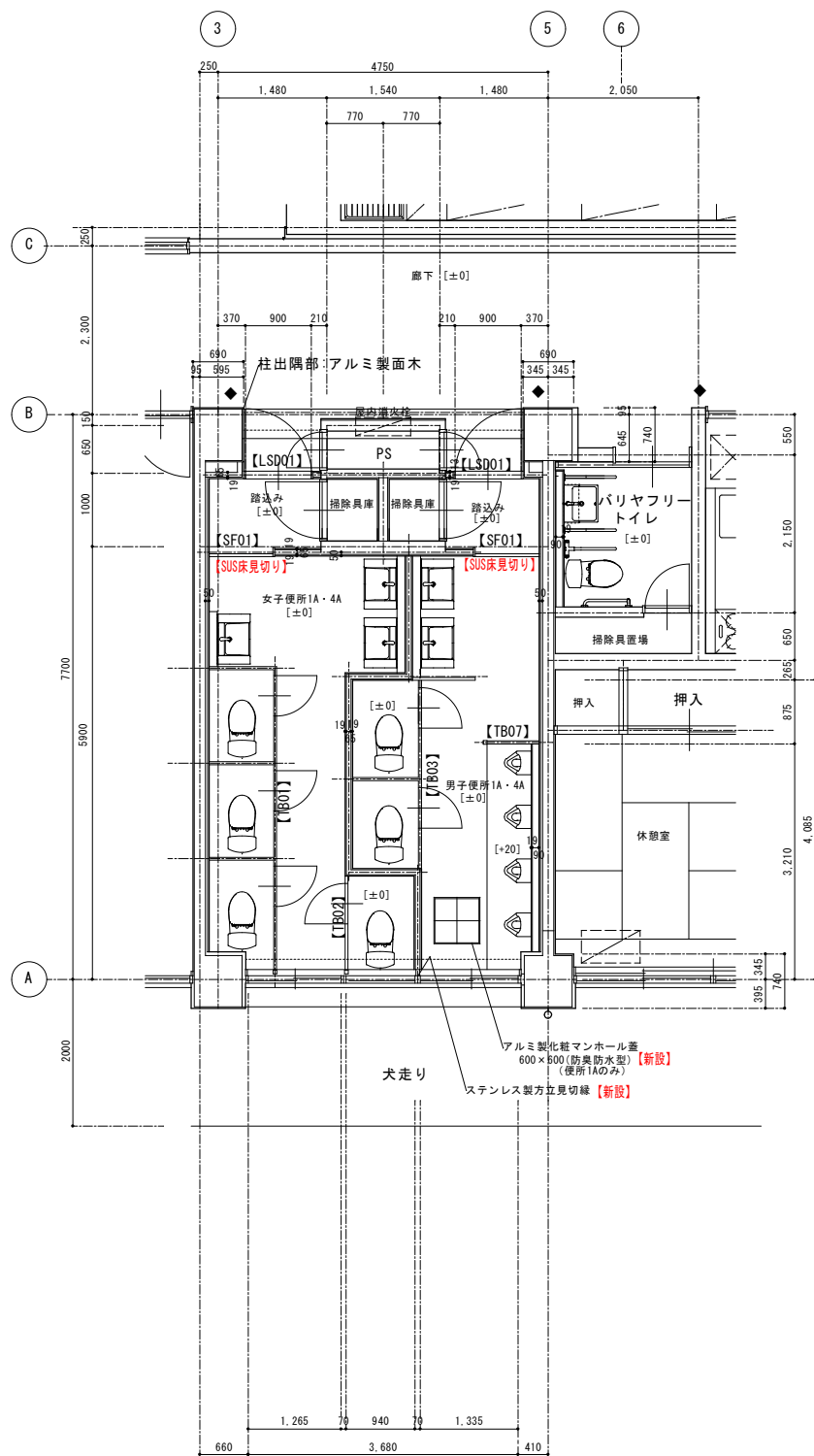
床	既存 長尺塩ビシート t 2.5貼
改修	既存仕上げ撤去のち 長尺塩ビシート t 2.5(防滑・抗菌) / ケレン・モルタル下地調整
巾木	既存 モルタル金ゴテ押へ 目地分レ H=100
改修	ソフト巾木H=100 / モルタル下地調整

掃除具庫-2

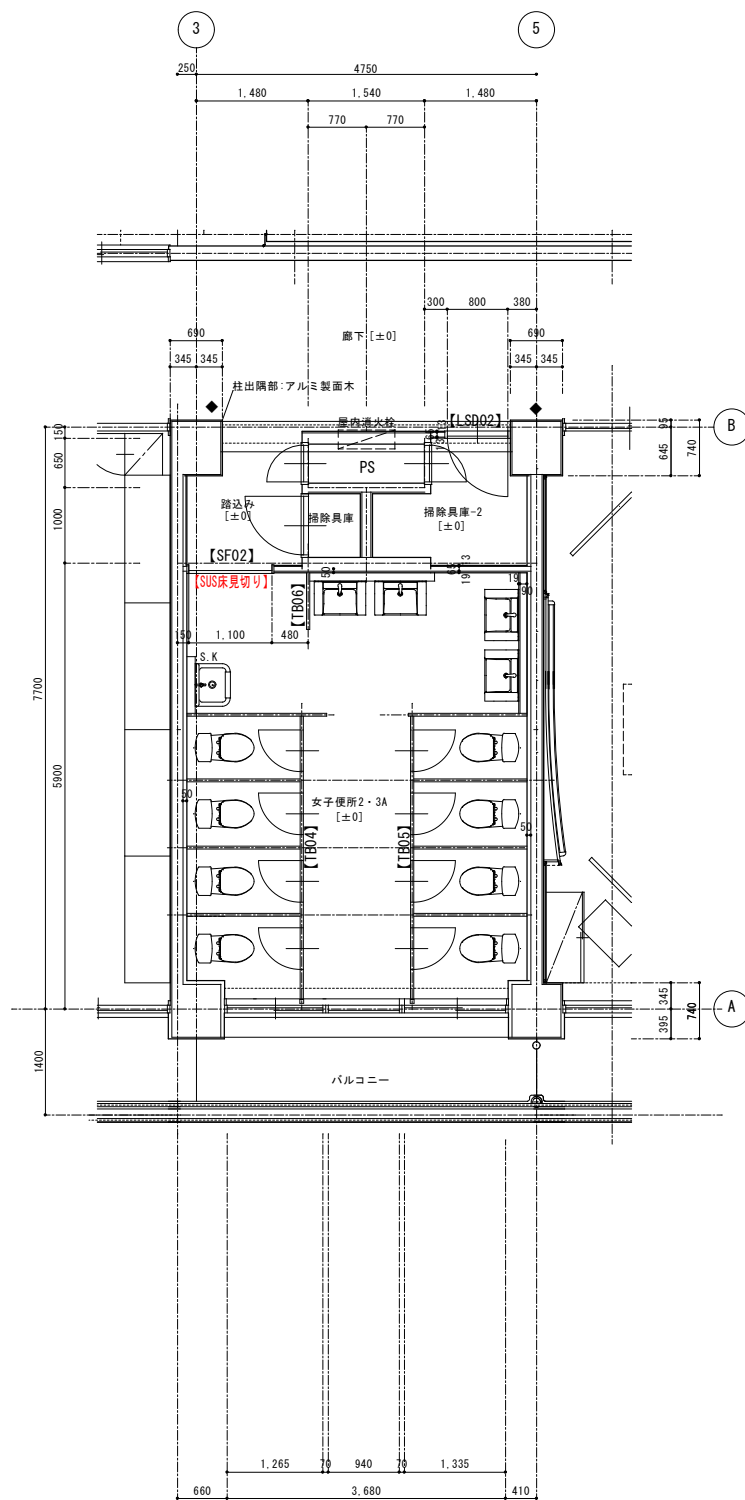
床	既存 長尺塩ビシート t 2.5貼
改修	長尺塩ビシート t 2.5(防滑・抗菌)
巾木	既存 モルタル金ゴテ押へ 目地分レ H=100
改修	ソフト巾木 / モルタル下地調整 H=100

バリアフリートイレ 掃除具置場

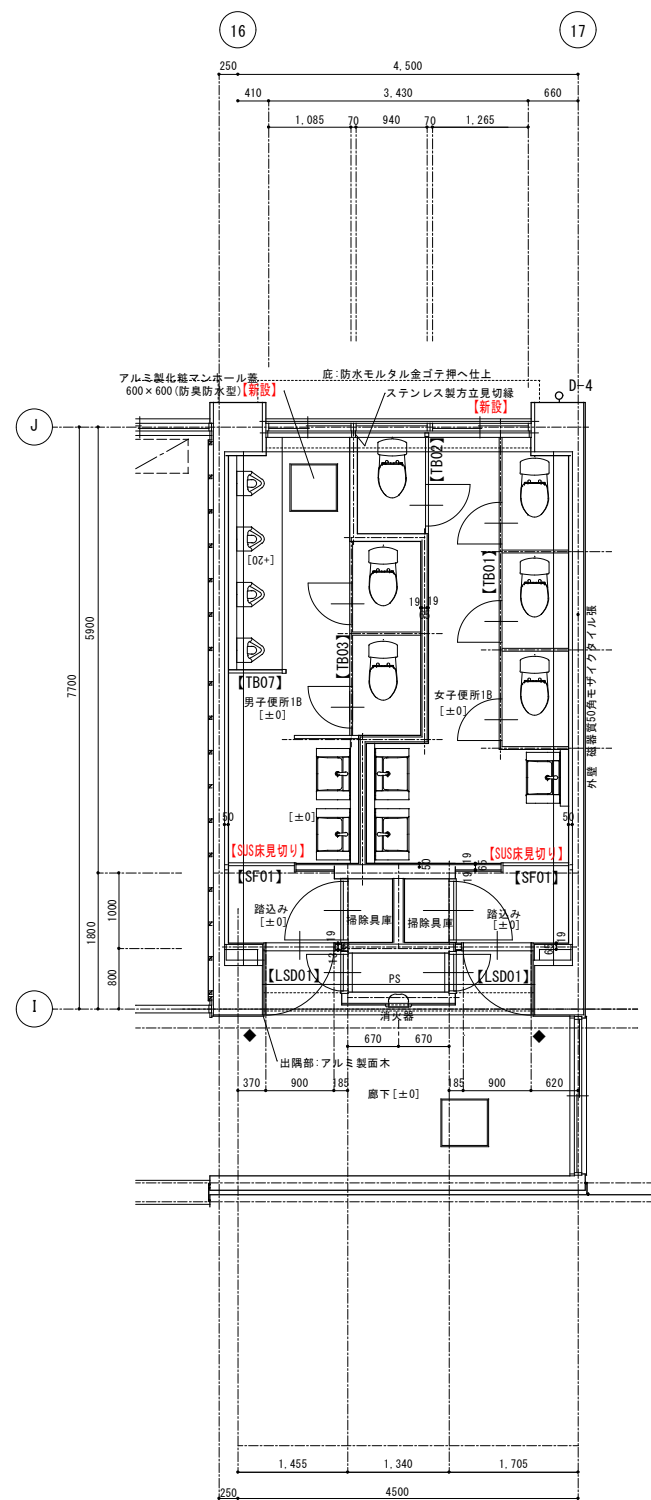
床	既存 長尺塩ビシート t 2.5貼
改修	既存仕上げ撤去のち 長尺塩ビシート t 2.5(防滑・抗菌) / ケレン・モルタル下地調整
巾木	既存 モルタル金ゴテ押へ 目地分レ H=100
改修	ソフト巾木H=100 / モルタル下地調整



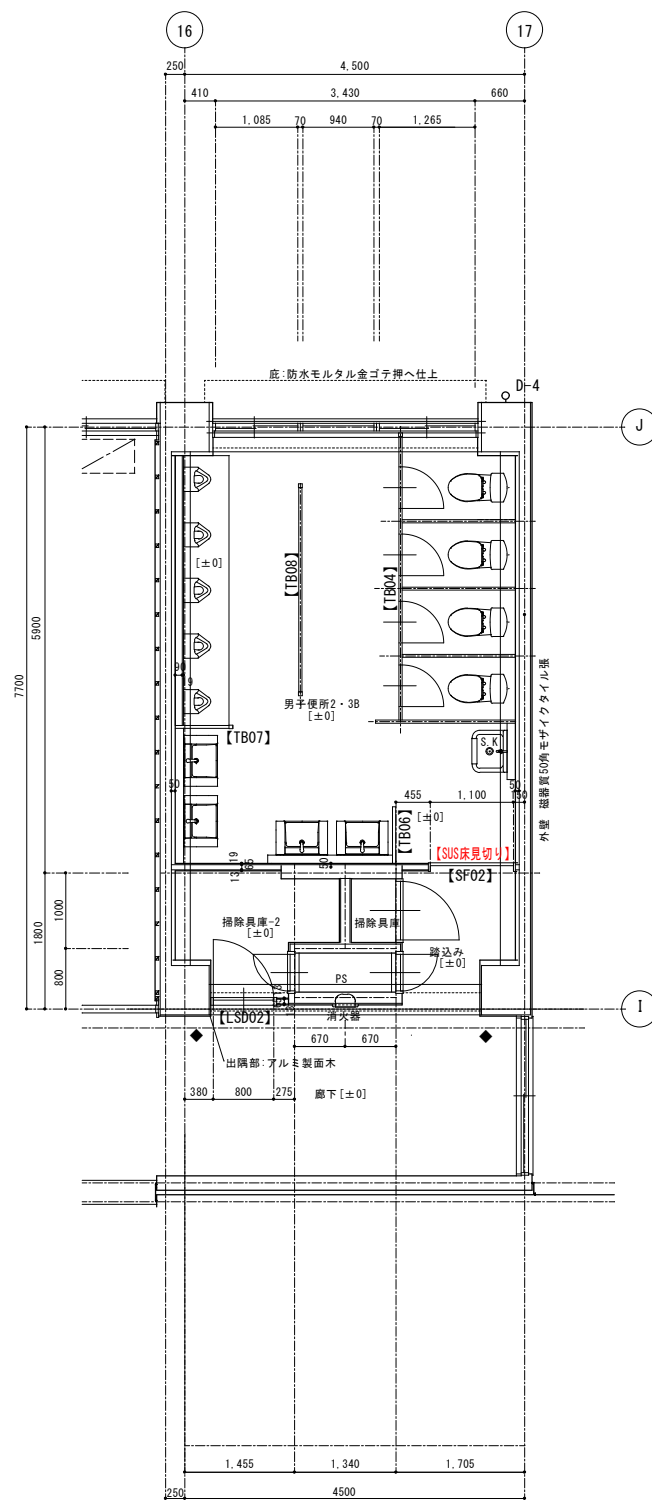
男・女子便所1A・4A平面詳細図



女子便所2・3A平面詳細図



男・女子便所1B平面詳細図



男子便所2・3B平面詳細図

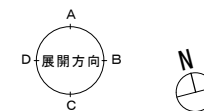
◆室名表示(突出し型300x80)【更新】

株式会社 天野建築設計事務所  
1級建築士 第338457号 天野実

承認	設計	担当

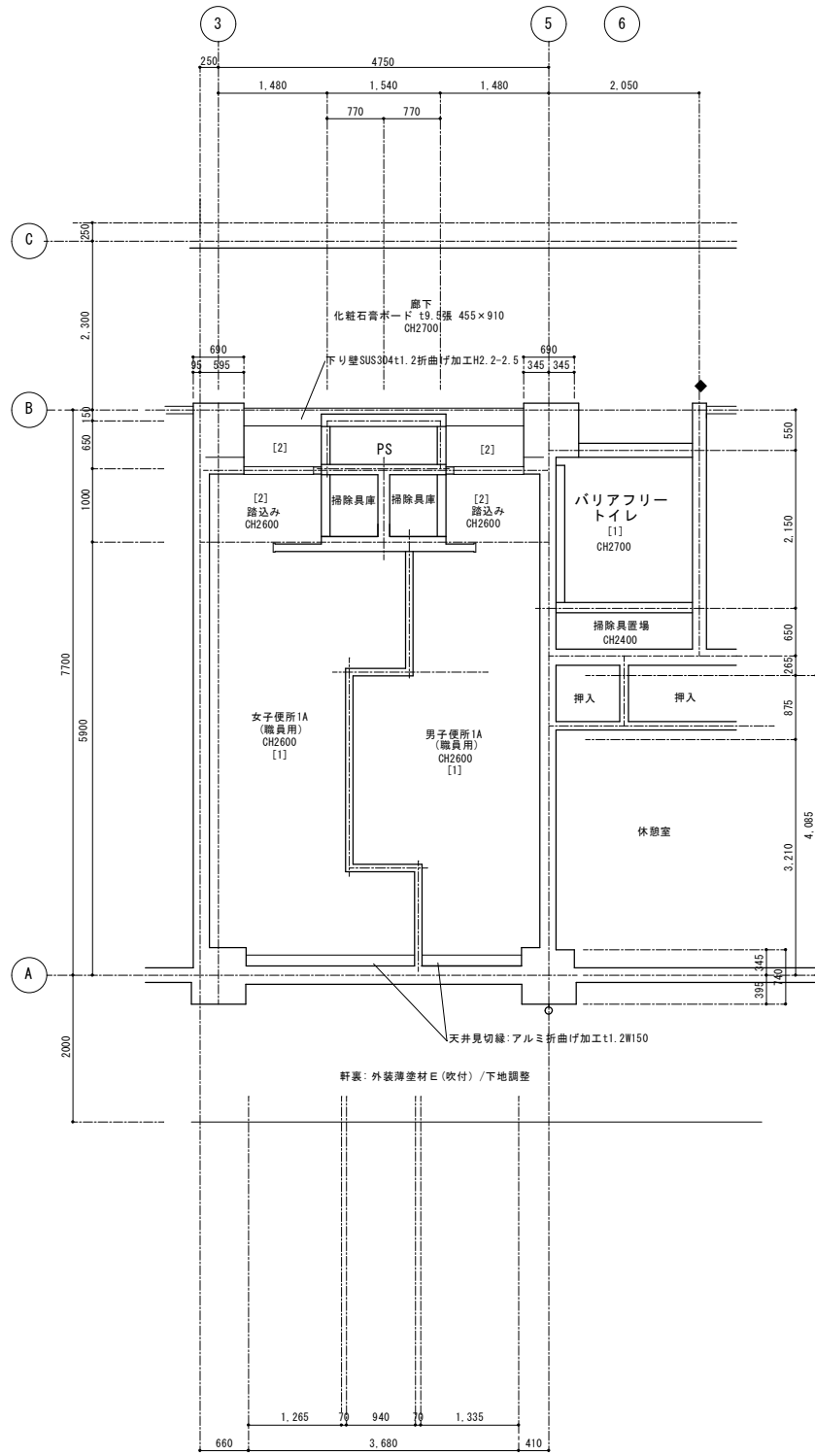
縮尺 A1:1/50  
A3:1/100  
設計年月日

工事名称 猿橋中学校校舎改修工事  
図面名称 便所 平面詳細図(改修)

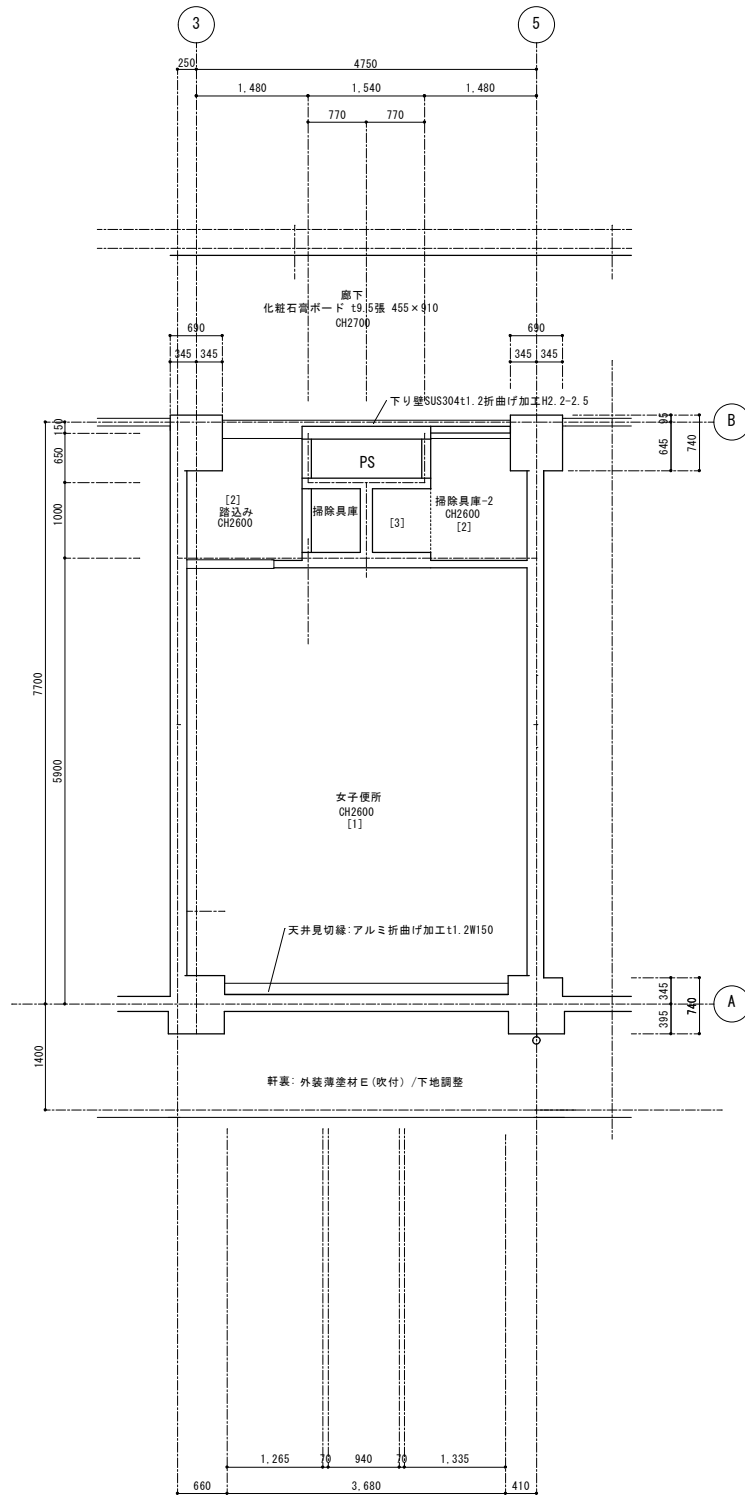


凡例	[1] 既存 VP塗 / ケイ酸カルシウム板 t5 910×910目選し張	[2] 既存 化粧石膏ボード t9.5張 455×910	[3] 既存 コンクリートスラブ下面地
改修	既存仕上げ・下地撤去のち GB-D19.5 / LGS19	既存仕上げ・下地撤去のち GB-D19.5 / LGS19	既存仕上げ・下地撤去のち GB-D19.5 / LGS19

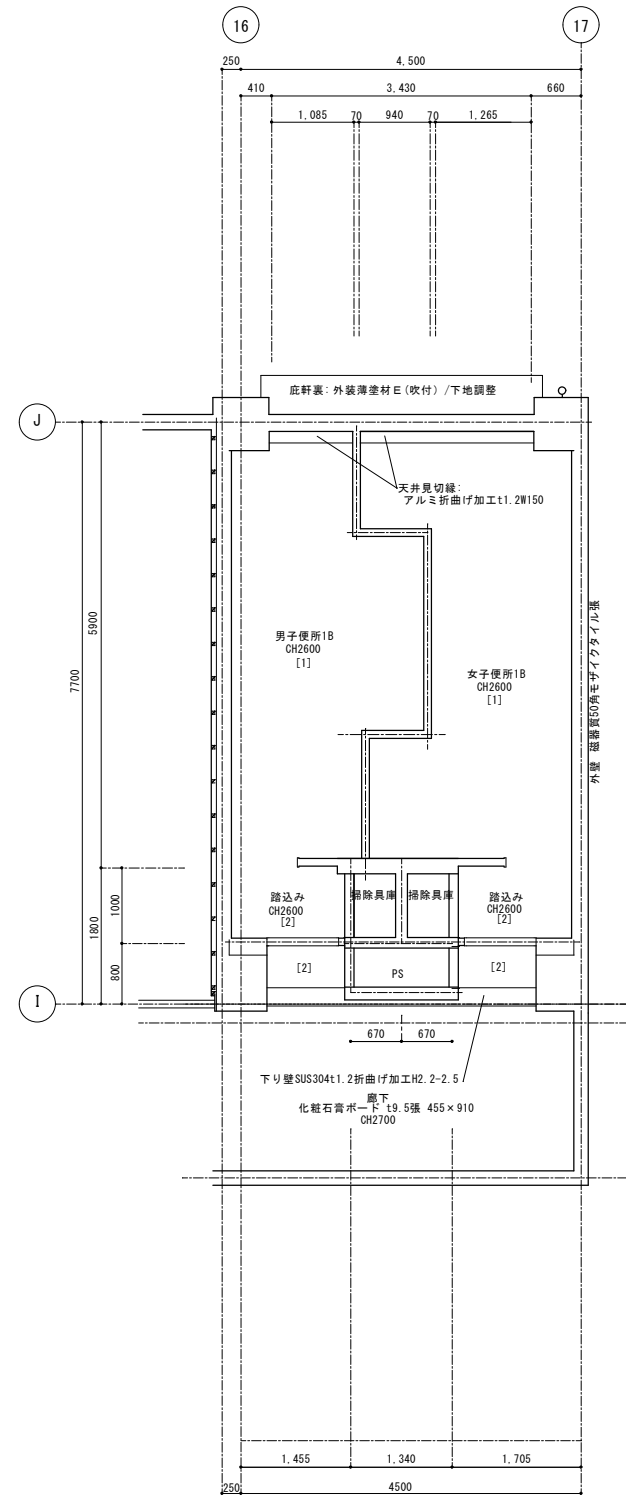
※男・女子便所1A・4A天井裏:グラスウール150(24k)充填



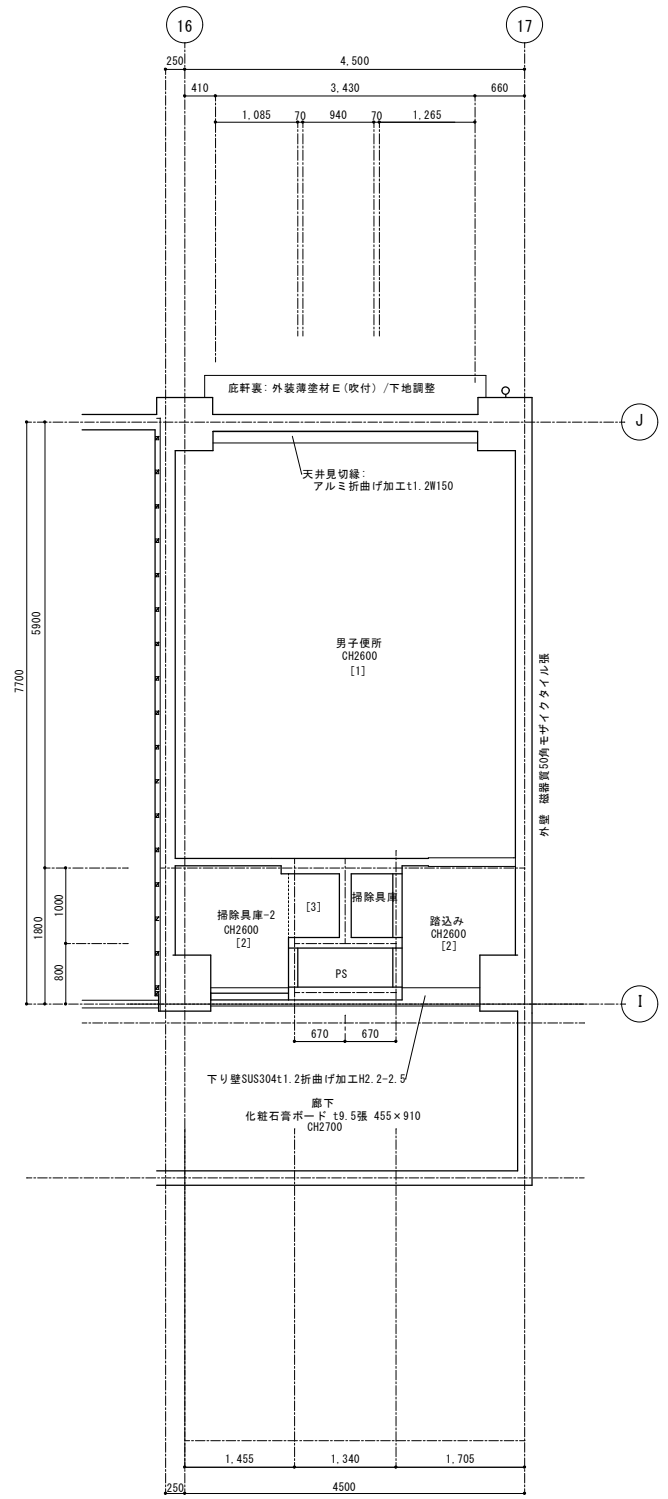
男・女子便所1A・4A天井伏図



女子便所2, 3A天井伏図



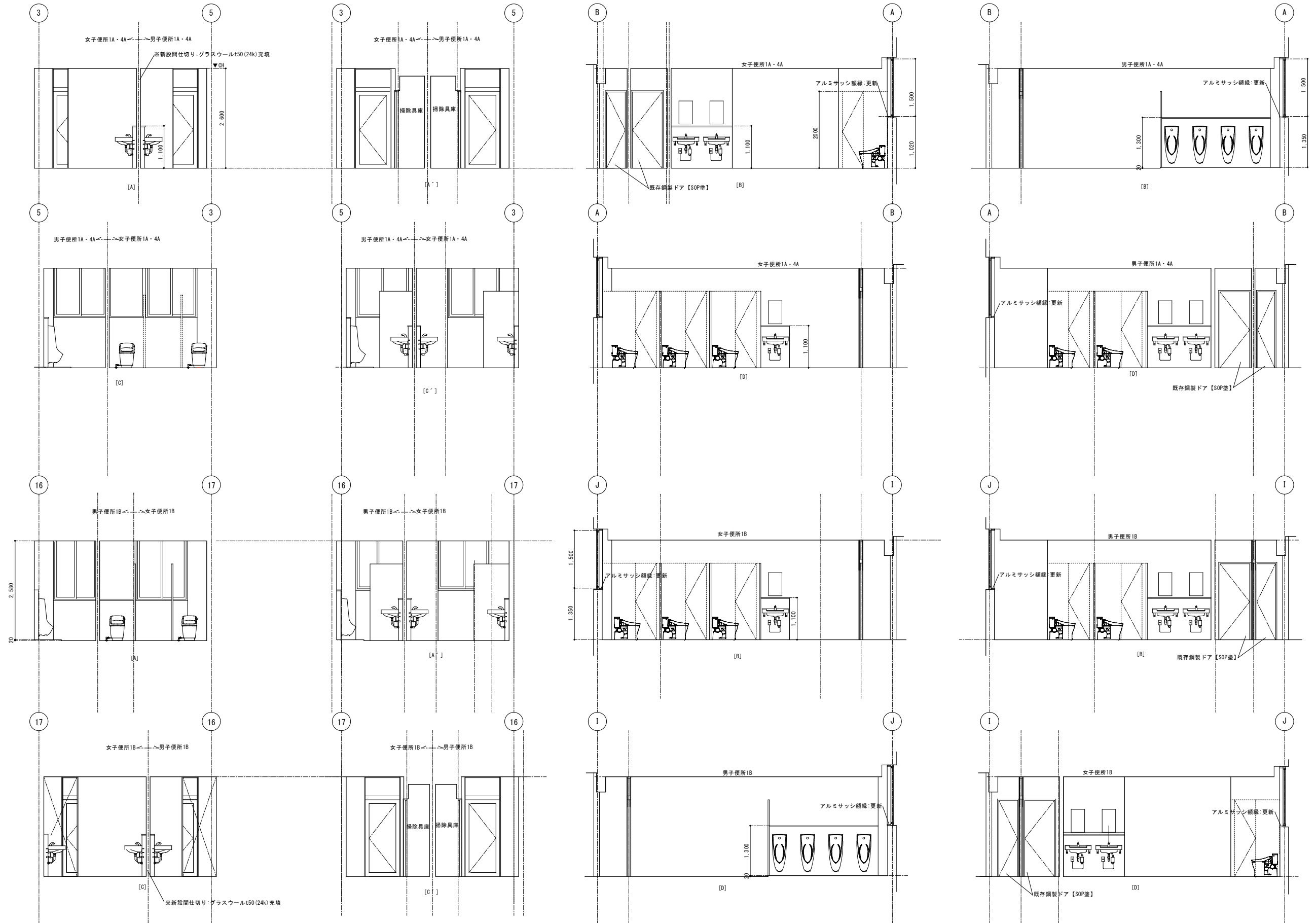
男・女子便所1B天井伏図



男子便所2, 3B天井伏図

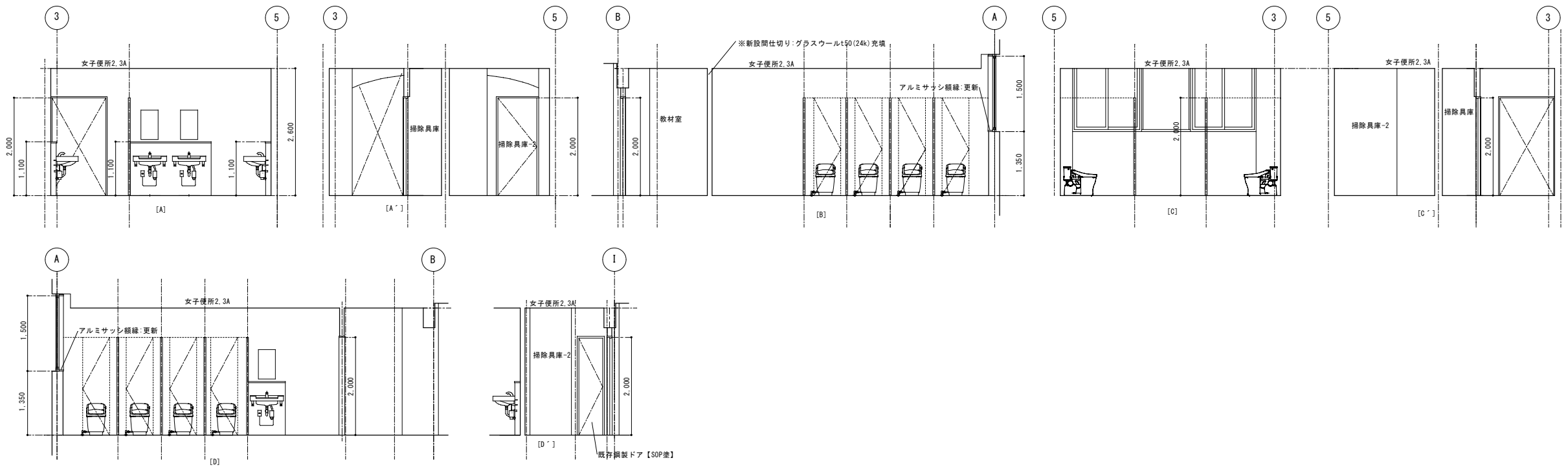
男・女子便所1A・4A	
※特記無き限り下記表の仕上げとする	
床	既存 磁器質50角タイル貼
改修	既存仕上げ・下地(押入コンクリートt50)撤去 長尺塩ビシート+2.5(防滑・抗菌)/耐水合板t12 ※小便器下:汚垂石
巾木	既存 壁間材
改修	既存下地・仕上げ撤去のち ソフト巾木 H=100
壁	既存 磁器質100角タイル貼 化粧下地仕上
改修	既存下地・仕上げ(塗装部分除く)撤去のち EPG塗/ケイ酸カルシウム板t6.0/GB-St12.5(GL工法) 間仕切り:EPG塗/ケイ酸カルシウム板t6.0 /GB-St12.5 /LGS65 ライニング:EPG塗/ケイ酸カルシウム板t6.0 /GB-St12.5 ライニング天端:メラミン化粧板t20 / LGS90
天井	既存 VP塗 /ケイ酸カルシウム板 t5 910×910目透し張
改修	既存仕上げ・下地撤去のち GB-Dt9.5/LGS19
備考	※新設間仕切り:ガラスウールt50(24k)充填 ※アルミサッシ額縁:更新 ※既存鋼製ドア(枠共・両面):SOP塗

掃除具庫	
※特記無き限り下記表の仕上げとする	
床	既存 長尺塩ビシート+2.5貼
改修	既存仕上げ撤去のち 長尺塩ビシート+2.5(防滑・抗菌) /ケレン・モルタル下地調整
巾木	既存 モルタル金ゴ子押へ 目地分レ H=100
改修	ソフト巾木H=100 /モルタル下地調整
壁	既存 モルタル金ゴ子押へ
改修	既存仕上げ存置 内装薄塗材E/既存塗装面
天井	既存 コンクリートスラブ下面素地
改修	
備考	※既存鋼製ドア(枠共・両面):SOP塗



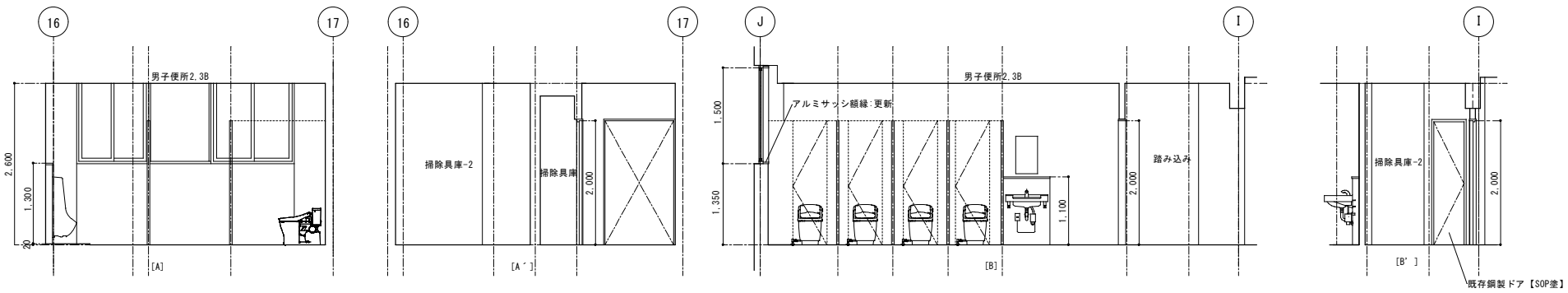
特記無き限り下記表の仕上げとする  
男便所2B・3B・女子便所2A・3A

床	既存 磁器質50角タイル貼
改修	長尺塩ビシート t2.5(防汚・抗菌) /耐水合板t12 ※小便器下:汚蓋石
巾木	既存
改修	ソフト巾木 /モルタル下地調整 H=100
壁	既存 磁器質100角タイル貼 化粧下地仕上
改修	EPG塗/ケイ酸カルシウム板t6.0/GB-St12.5(GL工法) 間仕切り:EPG塗/ケイ酸カルシウム板t6.0/GB-St12.5 ライニング:EPG塗/ケイ酸カルシウム板t6.0 /GB-St12.5 ライニング天端:メラミン化粧板t20
天井	既存 VP塗 /ケイ酸カルシウム板 t5 910×910目隠し張
改修	既存仕上げ・下地撤去 GB-Dt9.5
備考	※新設間仕切り:グラスウールt50(24k)充填 ※アルミサッシ額縁:更新 ※既存網製ドア(特共・両面): SOP塗



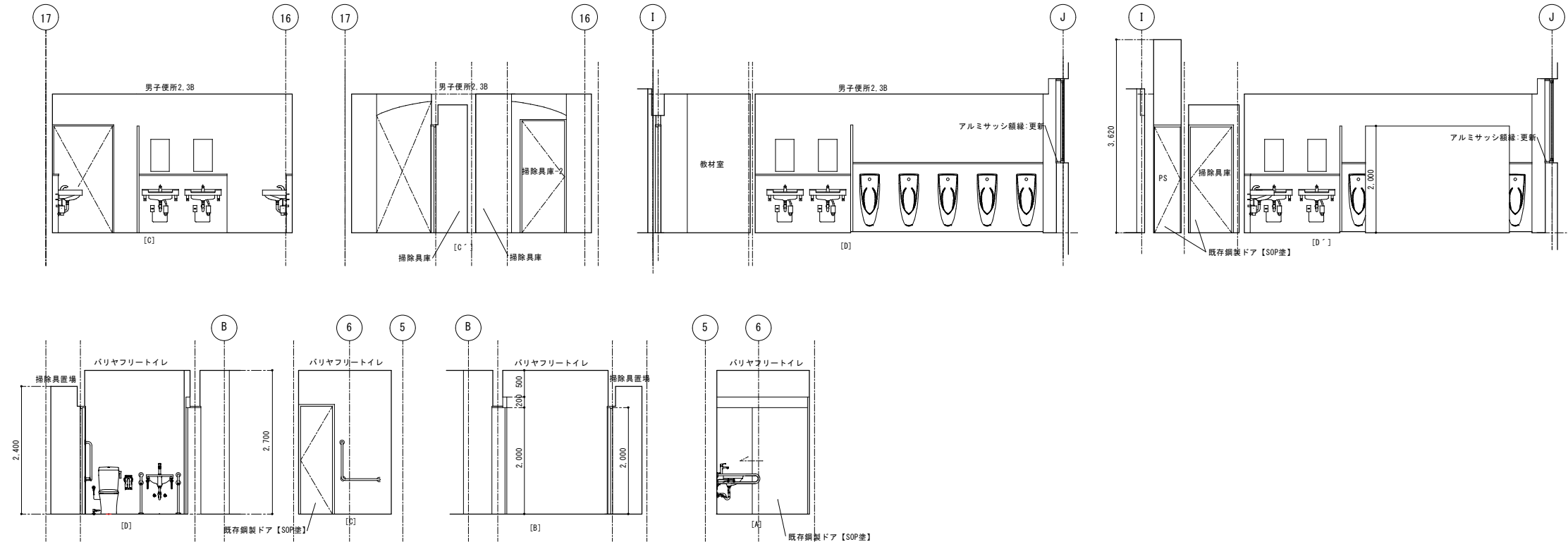
特記無き限り下記表の仕上げとする  
掃除員庫-2

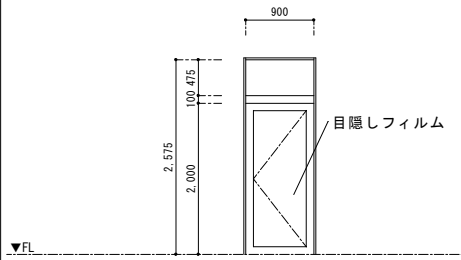
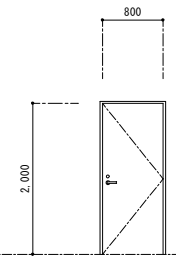
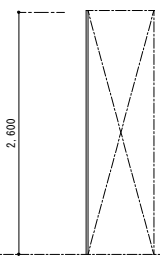
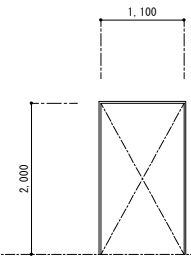
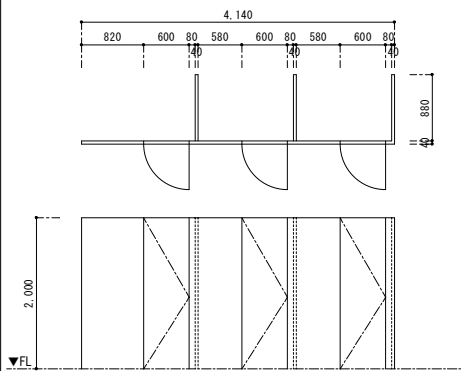
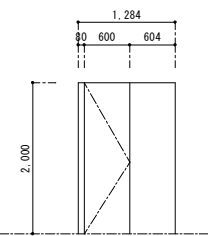
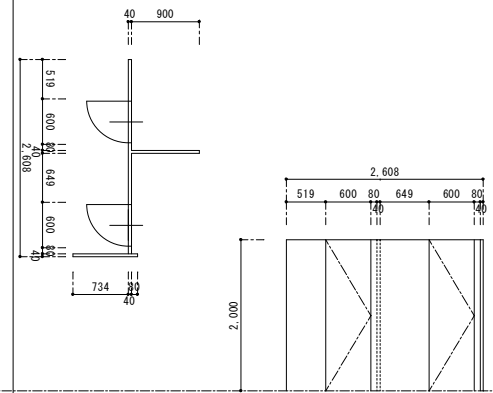
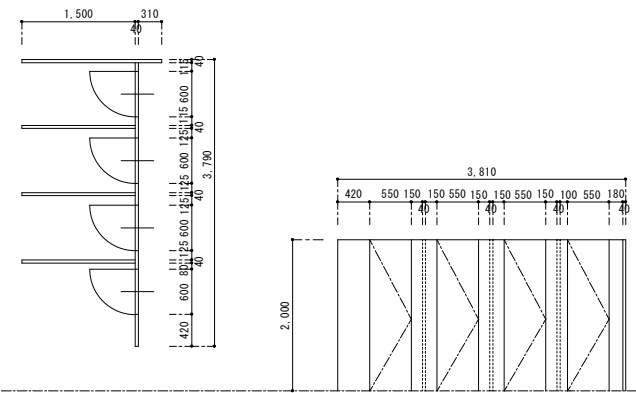
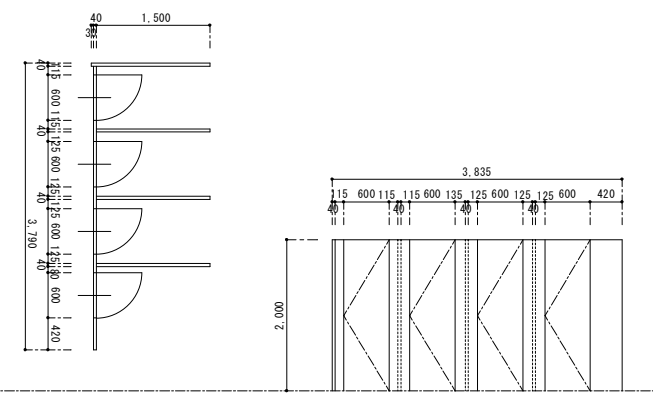
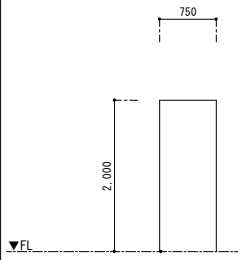
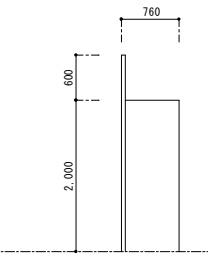
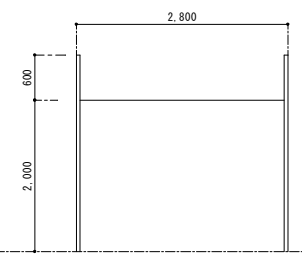
床	既存 長尺塩ビシート t2.5貼
改修	長尺塩ビシート t2.5(防汚・抗菌)
巾木	既存 モルタル金ゴテ押へ 目地分レ H=100
改修	ソフト巾木 /モルタル下地調整 H=100
壁	既存 モルタル金ゴテ押へ
改修	既存仕上げ(塗膜部分除く)撤去のち 内装薄塗材E塗 /GB-Rt12.5(GL工法) 内装薄塗材E /GB-Rt12.5/LGS65
天井	既存 VP塗 /ケイ酸カルシウム板 t5 910×910目隠し張 コンクリートスラブ下面素地
改修	既存仕上げ・下地撤去 GB-Dt9.5
備考	※既存網製ドア(特共・両面): SOP塗



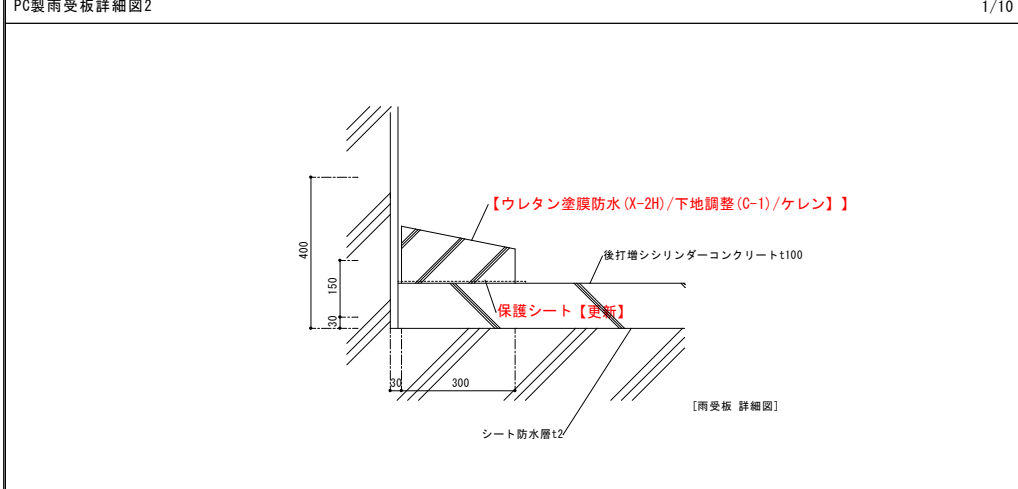
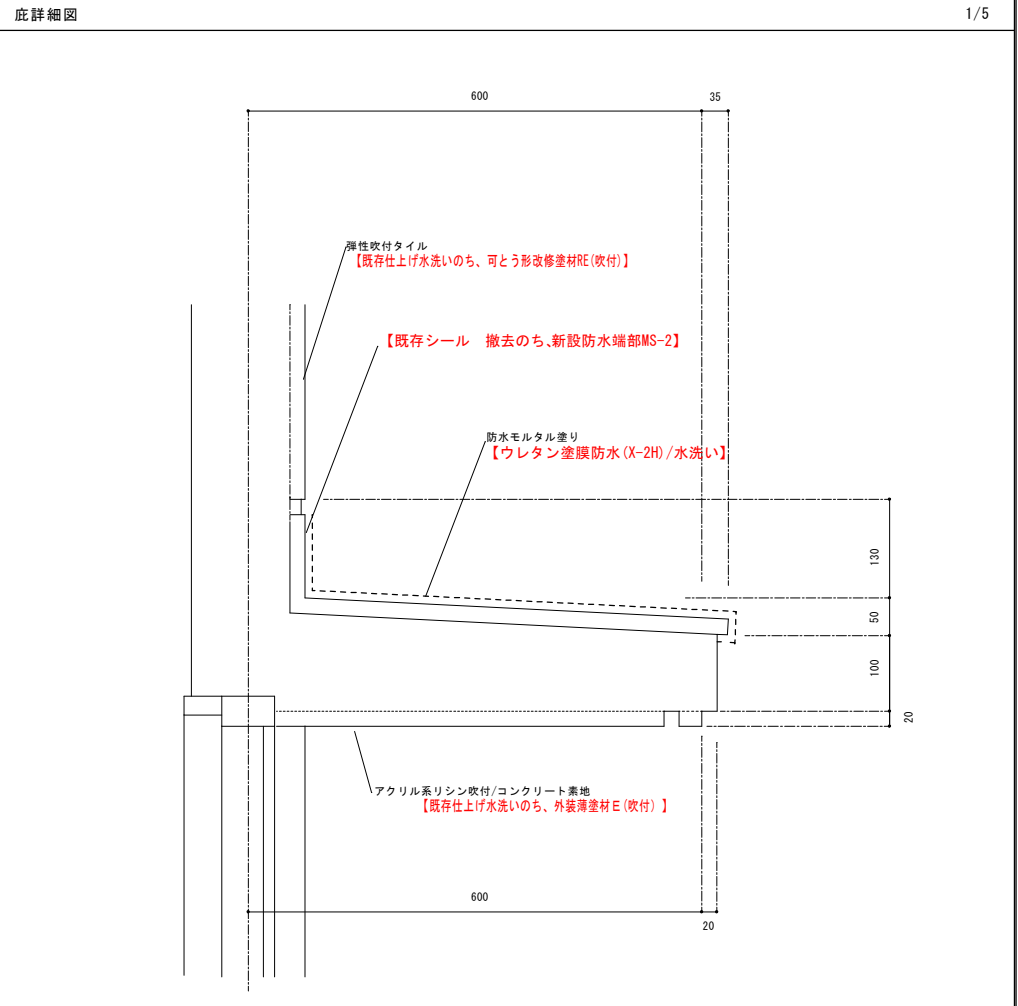
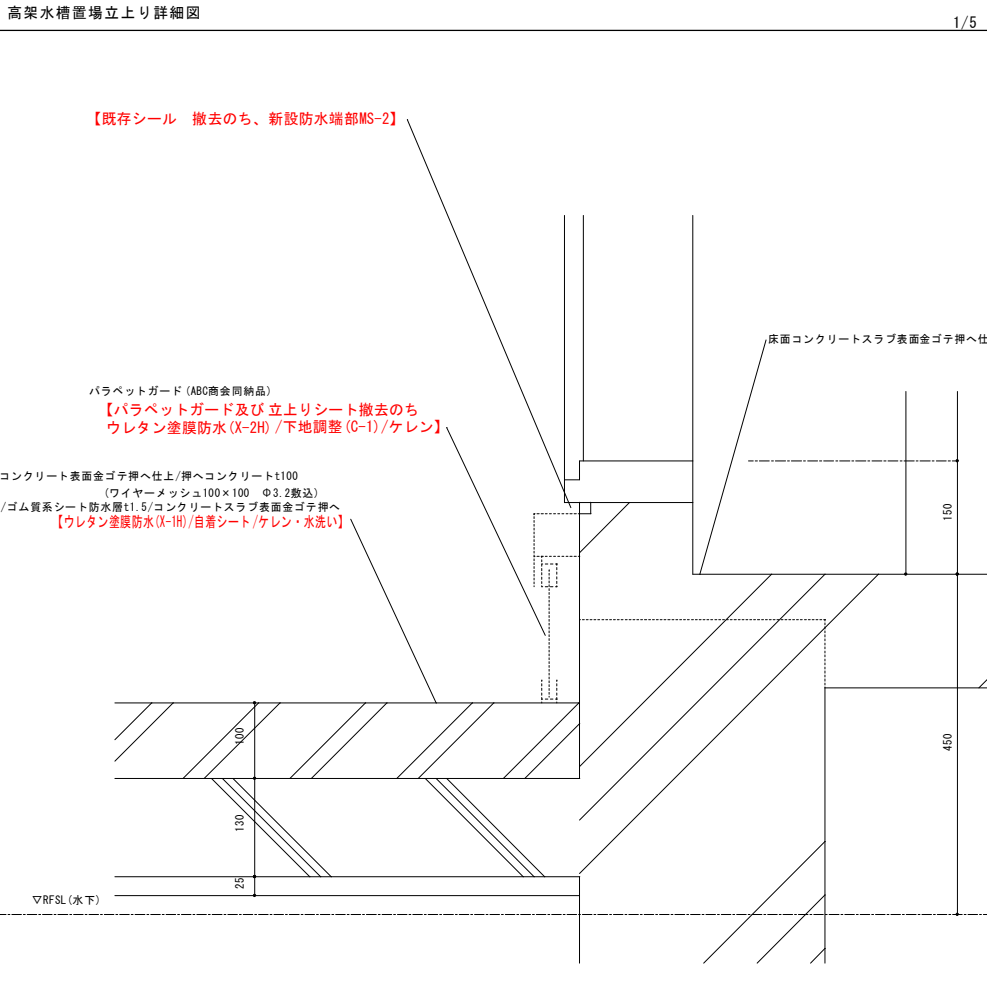
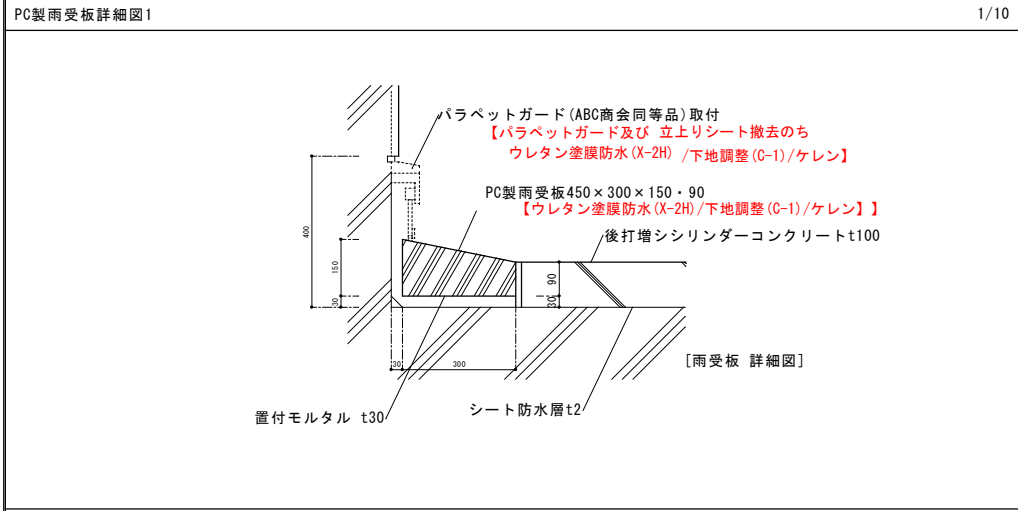
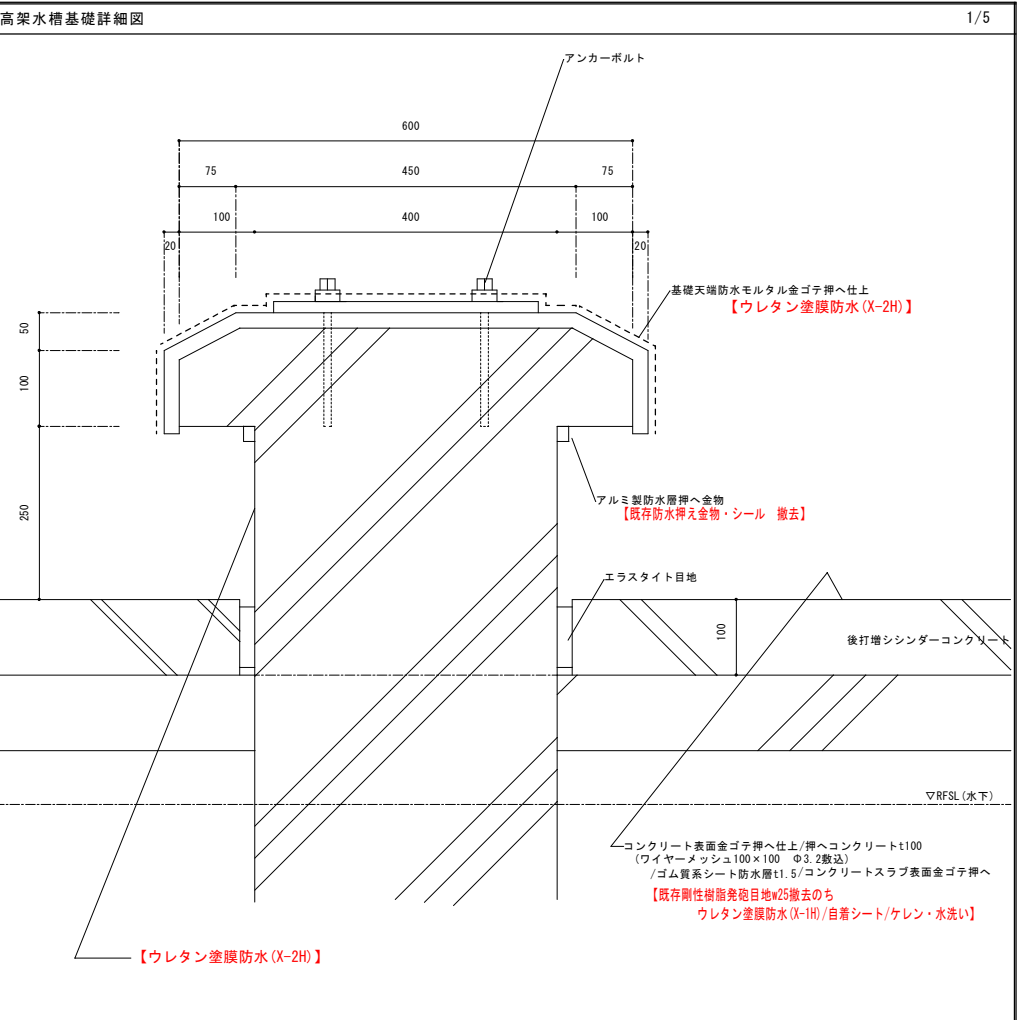
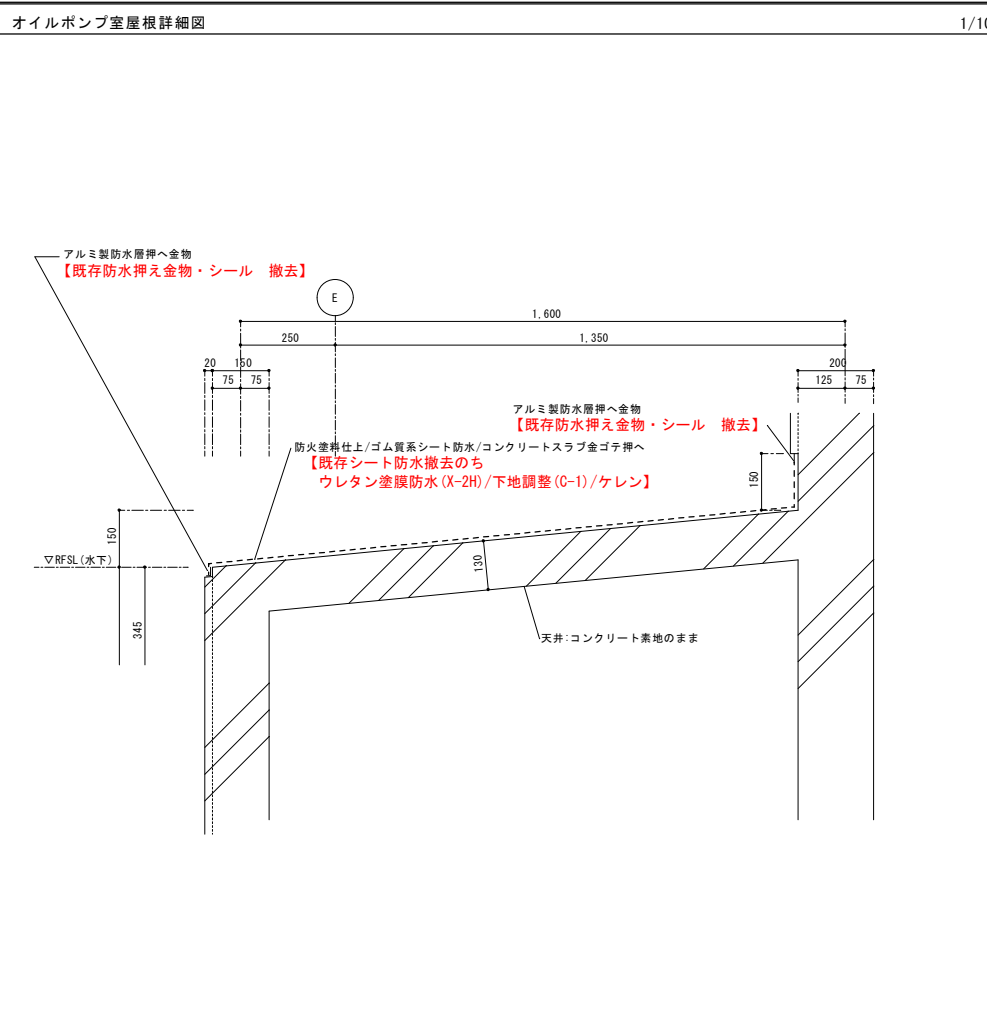
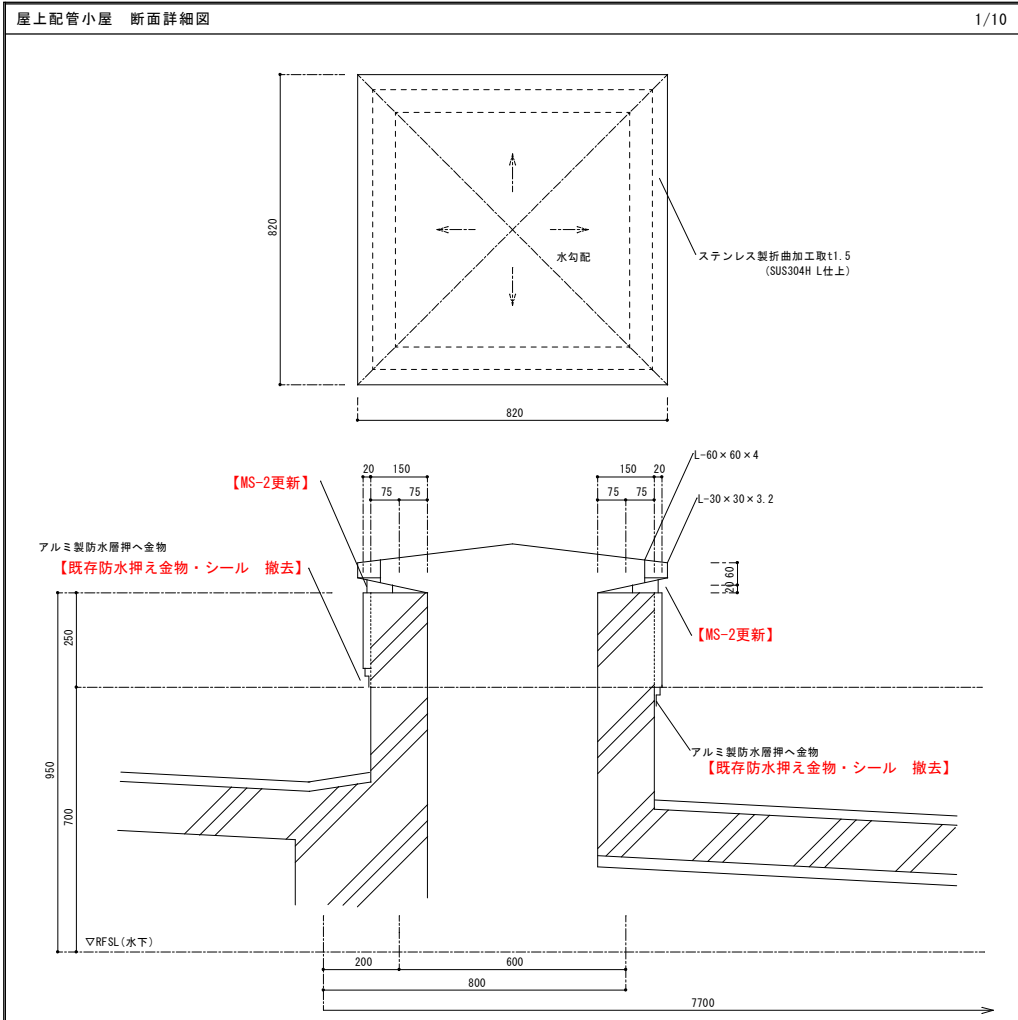
バリアフリートイレ 掃除員置場  
※特記無き限り下記表の仕上げとする

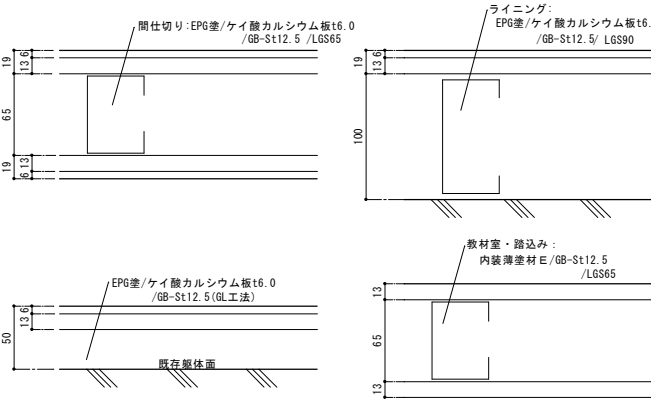
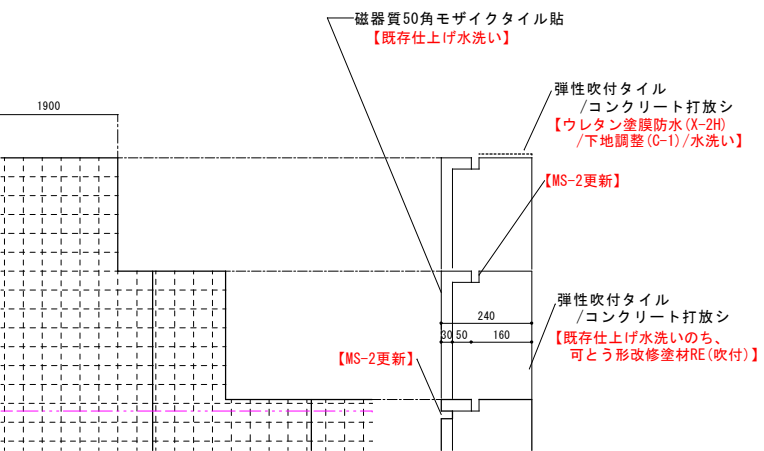
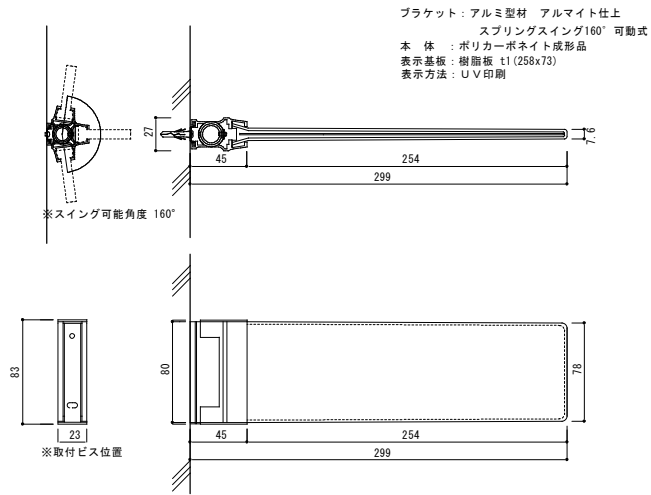
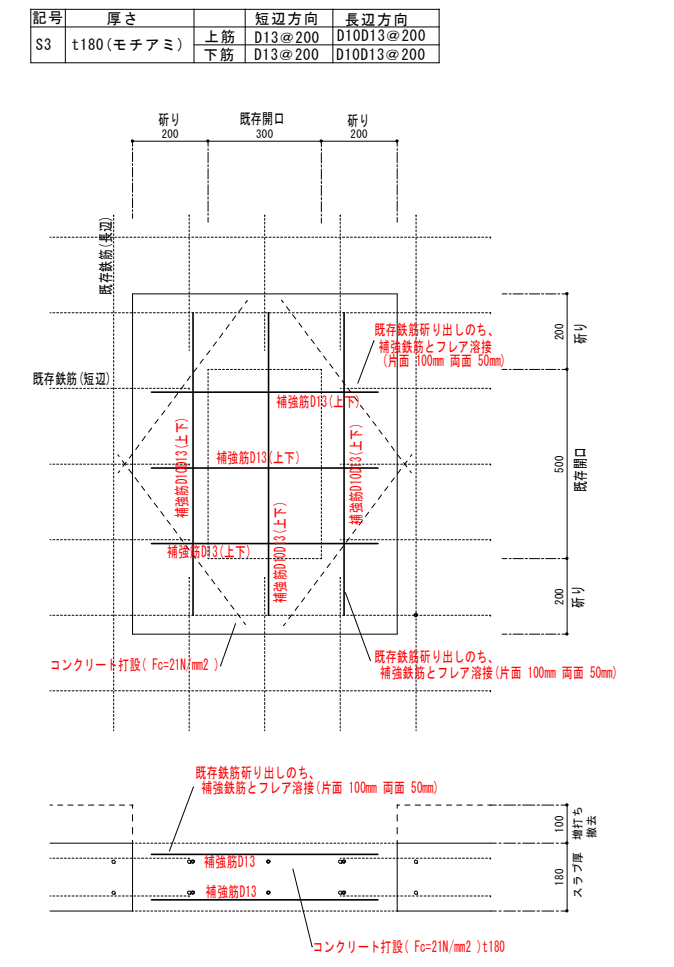
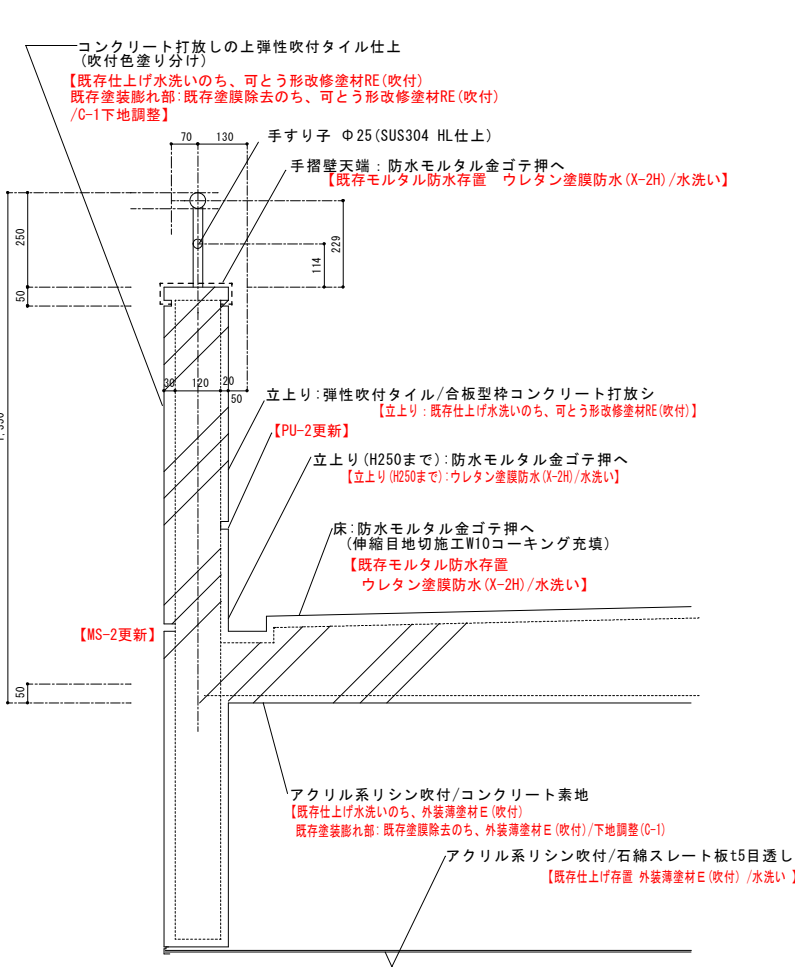
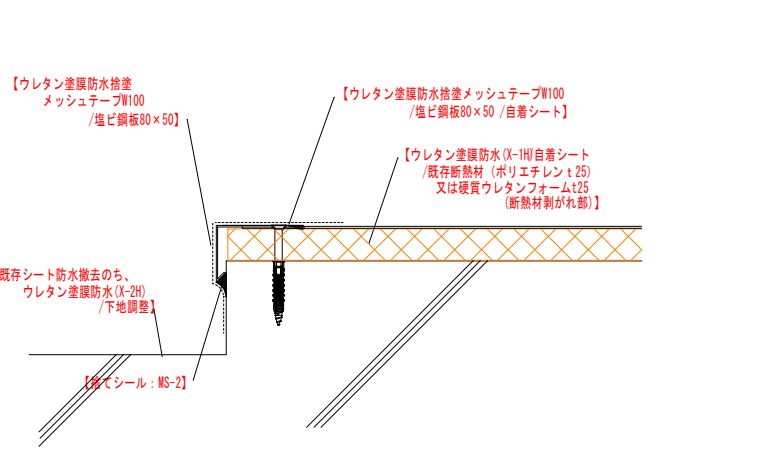
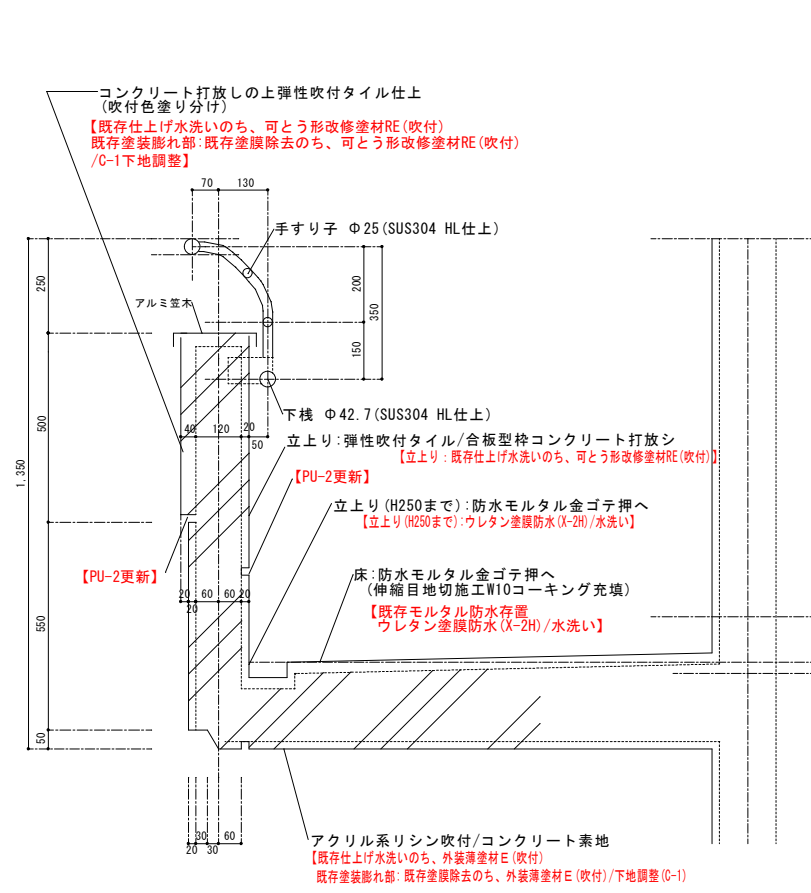
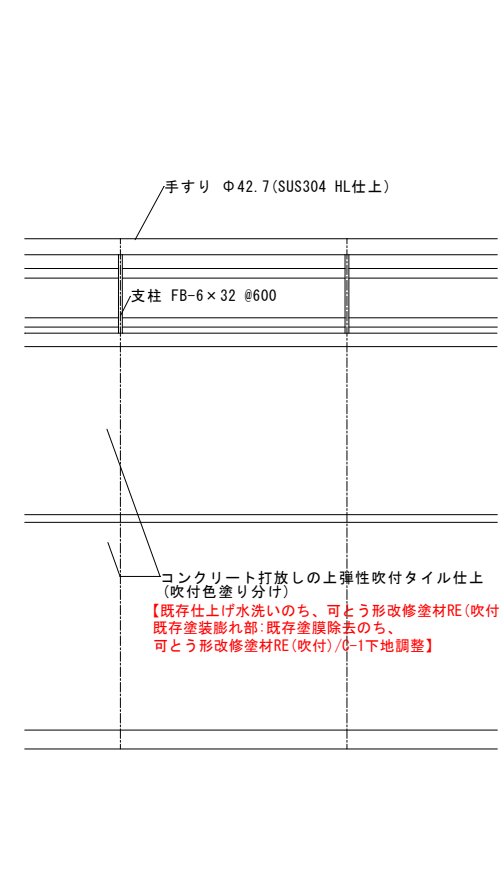
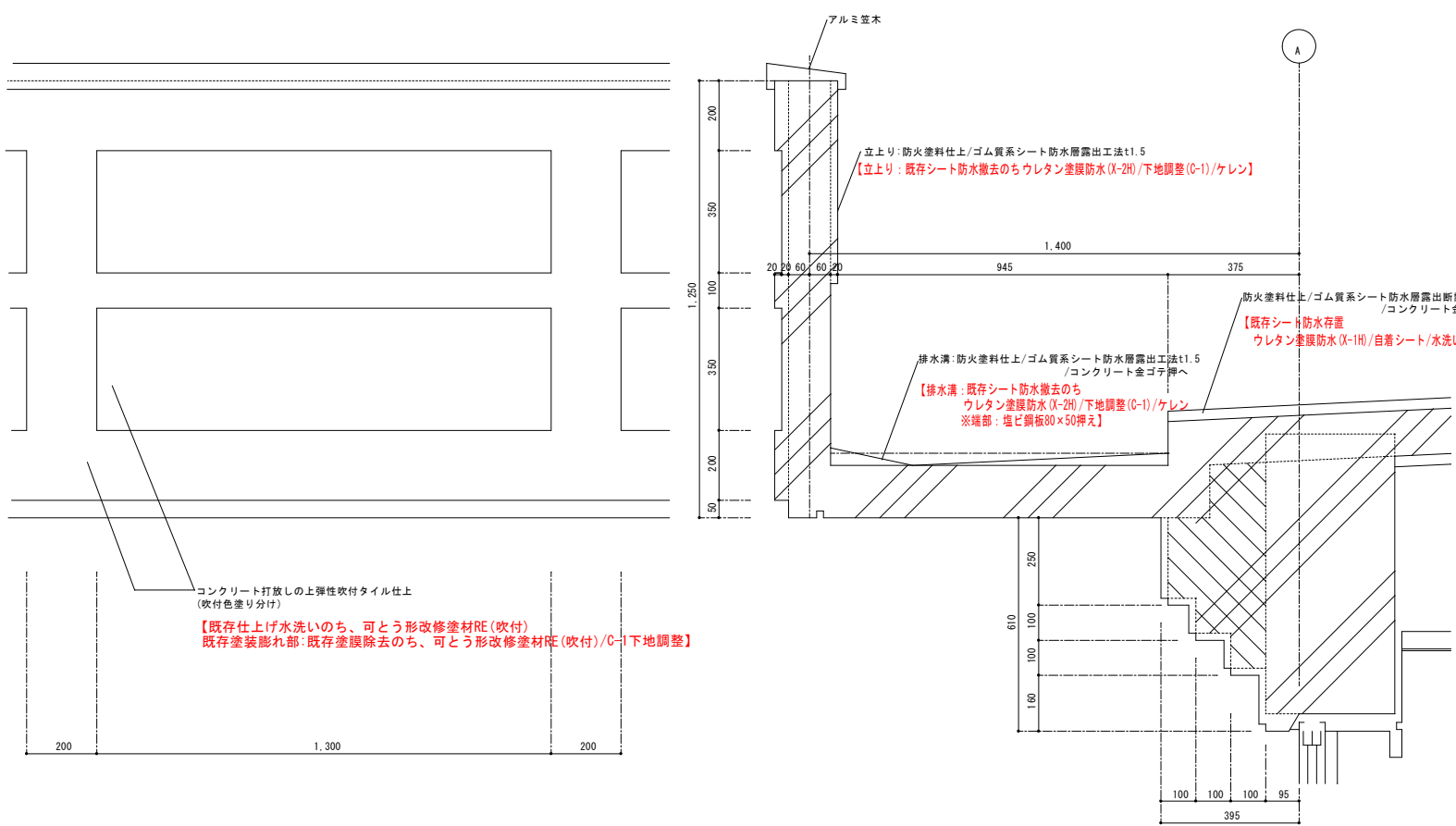
床	既存 長尺塩ビシート t2.5貼
改修	既存仕上げ撤去のち 長尺塩ビシート t2.5(防汚・抗菌) /ケレン・モルタル下地調整
巾木	既存 モルタル金ゴテ押へ 目地分レ H=100
改修	ソフト巾木H=100 /モルタル下地調整
壁	既存 ソフトタイプ吹付/モルタル金ゴテ押へ 配管架台C:陶器質100角タイル貼 /モルタル金ゴテ押へ/ B積t100
改修	既存下地・仕上げ(塗膜部分除く)撤去のち EPG塗 ライニング:EPG塗/ケイ酸カルシウム板t6.0/GB-St12.5 ライニング天端:メラミン化粧板t20 ※建具: SOP塗
天井	既存 VP塗 /ケイ酸カルシウム板 t5 910×910目隠し張
改修	既存仕上げ・下地撤去のち GB-Dt9.5 /LGS19
備考	※既存網製ドア(特共・両面): SOP塗



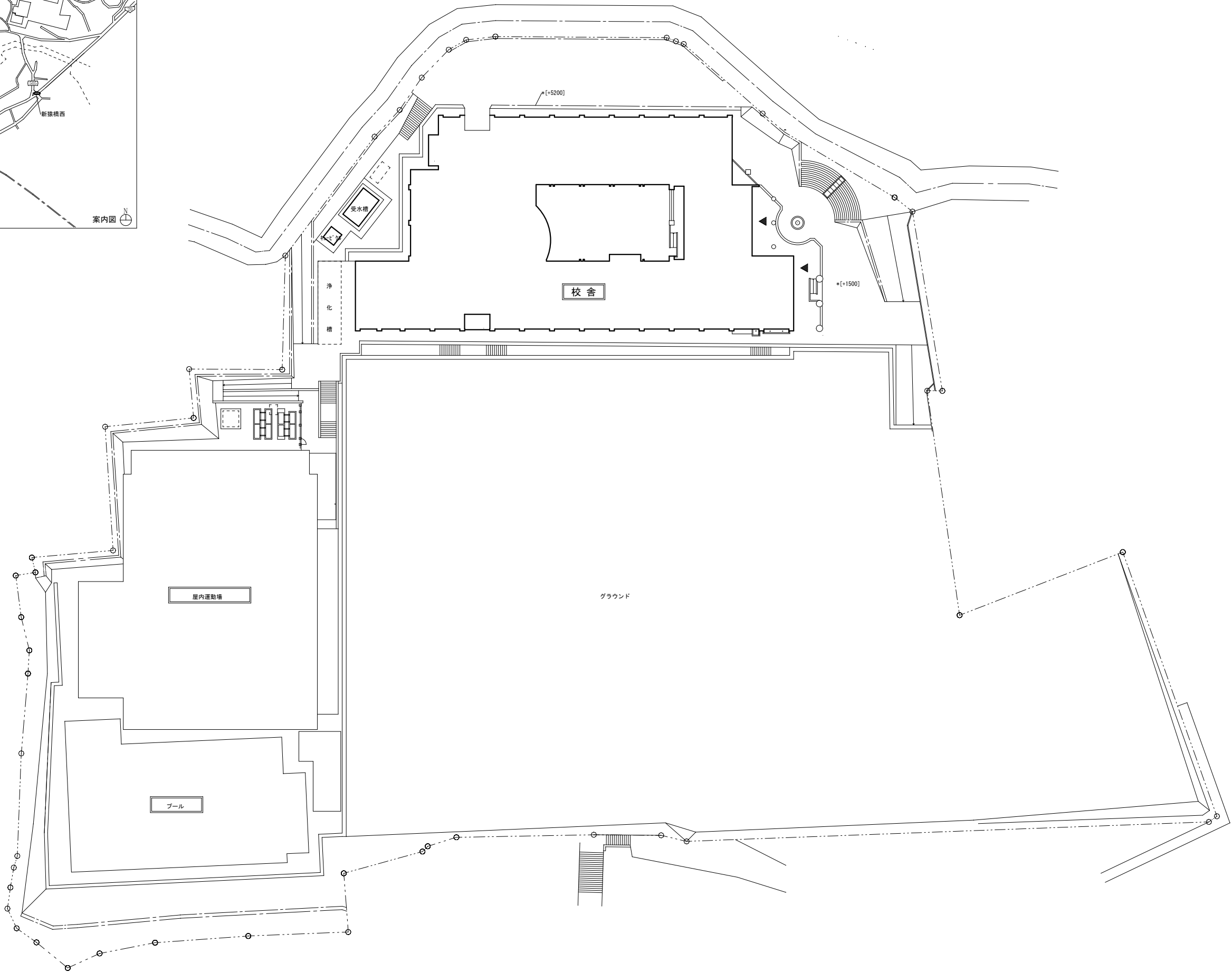
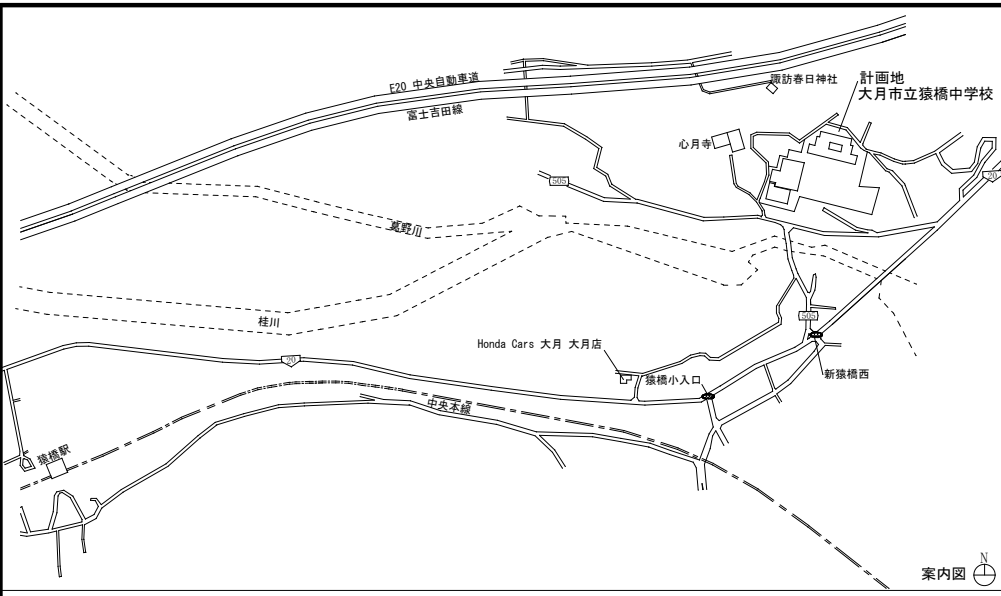
記号・数量	【LSD01】×6	【LSD02】×4	【SF01】×6	【SF02】×4	
					
場所	男・女子便所1A, 4A, 1B	掃除員庫-2	男・女子便所1A, 4A, 1B	男・女子便所2A, 2B, 3A, 3B	
形式	横開付き 片開き戸	片開き戸	1方枠	3方枠	
見込	枠120mm	枠100mm	枠130mm	枠120mm	
材質・仕上	鋼板t1.6 焼き付け塗装鋼板	鋼板t1.6 焼き付け塗装鋼板	SUS HL	SUS HL	
硝子	強化4	-	-	-	
金物	プッシュプルハンドル(室内側)、 丁番、D.C.、沓摺、戸当り他付属金物一式	レバーハンドル、丁番、D.C.、沓摺、戸当り、 シリンダサムターン錠、他付属金物一式	-	-	
備考	目隠しフィルム 左右勝手反転あり	-	左右勝手反転あり	-	
記号・数量	【TB01】×3	【TB02】×3	【TB03】×3	【TB04】×4	【TB05】×2
					
場所	男・女子便所1A, 4A, 1B	男・女子便所1A, 4A, 1B	男・女子便所1A, 4A, 1B	男・女子便所2A, 3A, 2B, 3B	女子便所2A, 3A
形式	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース
見込	枠40mm	枠40mm	枠40mm	枠40mm	枠40mm
材質・仕上	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板
硝子	-	-	-	-	-
金物	内掛け錠、空錠、戸当り、ラバトリーヒンジ 他付属金物一式	内掛け錠、空錠、戸当り、ラバトリーヒンジ 他付属金物一式	内掛け錠、空錠、戸当り、ラバトリーヒンジ 他付属金物一式	内掛け錠、空錠、戸当り、ラバトリーヒンジ 他付属金物一式	内掛け錠、空錠、戸当り、ラバトリーヒンジ 他付属金物一式
備考	アルミ方立50x50	アルミ方立50x50	アルミ方立50x50	ペーパーホルダー取付補強 アルミ方立50x50	ペーパーホルダー取付補強 アルミ方立50x50
記号・数量	【TB06】×4	【TB07】×5	【TB08】×2		
					
場所	男・女子便所2A, 3A, 2B, 2B	男・女子便所1B, 男子便所2B, 3B	男子便所2B, 3B		
形式	トイレブース	トイレブース	トイレブース		
見込	枠40mm	枠40mm	枠40mm		
材質・仕上	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板		
硝子	-	-	-		
金物	-	-	-		
備考	-	アルミ方立50x50	アルミ方立50x50		







D		〔 別 途 工 事 〕		F		〔 主 要 機 器 〕		H		〔 特 記 事 項 〕		I		〔 そ の 他 〕	
本工程は電気設備技術基準、内線規定、建築基準法及び消防法		〔 別 途 工 事 〕		F		〔 主 要 機 器 〕		H		〔 特 記 事 項 〕		I		〔 そ の 他 〕	
諸条、その他電気関係法規に準拠し、且つ本特記仕様書及び設計		1 機械管備用配管・ボックス取付工事（撤去・切り直し工事を含む）													
書に依る他、最新版建築工事標準仕様書（電気工事編）及び最新版		2				本工程に使用する主要資材は、下記の製作所より選定するものとし、使用資材表を係員に提出し承認を得た後発注する。		1		本工程に使用する電線管で、特記なきものは薄鋼電管					
建築改修工事標準仕様書（電気工事編）に依り施工する。但し本		3				但し記載なきものを使用する場合には、事前に係員の承認を必要とする。				（19mm以上）を用いる。					
工事に関係しない項目は適用しない。		4													
		5				1 制御盤、分電盤、端子盤 小林・新屋・泰和其他相当品		2		本工程に使用する特記なき電線は、600Vビニール					
A 〔 建 築 概 要 〕		6				2 電線管 パナソニック・東芝・古河・外山・日本パイプ・その他相当品				電線（強電1.6mm、弱電1.2mm以上）とし、色分					
工 事 名 称		猿橋中学校校舎改修（電気設備）工事				3 電線管付属品 パナソニック・東芝・古河・外山・日本パイプ・その他相当品				けて使用する。					
所 在 地		山梨県大月市猿橋町猿橋567				4 ボックス類 パナソニック・東芝・古河・外山・日本パイプ・未来・その他相当品									
敷 地 面 積		㎡（ 坪）		E 〔 工 事 区 分 〕		5 電線、ケーブル 矢崎・藤倉・昭和・日立・その他相当品		3		本工程に取り付ける特記なきスイッチの高さは、H＝					
建 築 面 積		㎡（ 坪）				6 照明器具 パナソニック・東芝・三菱その他相当品				1300mm、コンセントはH＝300mm（和室H＝1					
延 床 面 積		㎡（ 坪）		本工程に関する次の工事は○印の工事範囲に含まれる。		7 配線器具 パナソニック・東芝・神保・その他相当品				50mm）とし、建築壁仕上げに支障なき高さ及び曲					
構 造		RC造 地上4階				8 トイレ呼出表示設備機器 アイホン・パナソニック・ケコムその他相当品				り等の調整を確実に行う。又特記なき電話、テレビ等					
										の高さは、コンセントに準ずる。					
B 〔 一 般 事 項 〕															
				電気設備建築		備 考				4		本工程の照明器具取り付けに際し、蛍光灯又は白熱灯			
1 諸官公庁及び電力会社等への諸手続きは、本工程請負者の負担		1 電気室、発電機室、ホール等										の内シャンデリア等特に重い器具に関しては、インサ			
とする。		基礎コンクリート										ート等により直接スラブに重力を持たせたりつける。			
2 工事施工に際して、現場の収まり若しくは他との取り合い、		2 同上配線用ビット及び軽量コン				G 機 器 凡 例				5		本工程の通線なき配管に関しては、予備線として1.			
設備機器の位置又は取り付け工法の変更を必要とする場合は、		クリート、銅板蓋加工										6mmビニール電線又は、1.2mm以上のビニール被覆			
打ち合わせの上支障のないようにする。		3 エレベーター制御盤までの一次				電 灯 盤		☉		電話用		電線を挿入する。			
3 工事施工に際しては、施工計画書・施工図及び工程表を作成し、		4 エレベーター制御盤までの弱電				動力盤		①		情報用					
製作品は詳細製作図を提出し、係員の承諾を得た後に工事及び製		配管、配線				警 報 盤						6		防火区画貫通部分の耐火処理及び埋め戻しは、法規に	
作に着手する。		5 電動シャッター、自動ドアへの				開 閉 器 盤		②		テレビ		準じて処理を施す事。			
4 本工程竣工後直ちに、竣工図及び各種試験成績表を、必要部数		一次側配管、配線接続				手 元 開 閉 器		②R		テレビ（備用）					
作成し提出する。		6 設備工事に設置する電動機へ				ブルボックス		☒				7		本配管工事に当たり、コンクリート埋込みボックス内	
		の一次側配管、配線接続				蛍光灯（1灯用）		AMP		放送アンプ		には必ず絶縁塗装を行い、電線管とボックス類との接			
		7 液面リレー、電極の取り付け				蛍光灯（2灯用）		⊙		天井埋込型スピーカー		続箇所（弱電は除く）には必ずアースボンド等により			
		8 同上配管、配線接続				蛍光灯（角型）		⊙		天井埋込型レシーバ（ATT付）		電氣的接続を行う。			
		9 設備工事に設置する制御盤				がけ付、シーリング付		⊙		付着防止剤					
		への一次側配管、配線接続				ブラケット		○				8		外壁面に取り付けるボックス等には、結露防止に対す	
C 〔 工 事 項 目 〕		10 換気扇用コンセント、スイッチ		○		ブラケット		☐		H/W呼出表示装置		る処置を施すこと。			
		取り付け及びケーブル接続				ブラケット		☐		押しボタン					
本工程は、下記の項目を設備するものとし、見積作成に		11 埋込み型照明器具の天井開口補		○		スポットライト		☐		復帰ボタン		9		立上げ、立下げ部分は、必要に応じて配管にて保護す	
当たっては必ず下記項目別に記載する。		強				誘 導 灯		○		廊下灯		る事。			
		12 点検口取り付け		○		非 常 照 明		☉							
1 幹線設備改修工事		13 露出配管、プルボックス等の				コネクタ（2P15A × 1）		①				10		配線器具は、JIS大形連用とし、プレートは新金属製と	
2 電灯・コンセント設備改修工事（既設撤去工事含）		塗装				コネクタ（2P15A × 2）		① <sup>2</sup>				する。			
3 弱電設備工事（トイレ呼出し表示・自火報）		14 スリーブ及び躯体開口補強				コネクタ（2P15A + 1E）		① <sup>E</sup>				11		グリーン購入法に該当する品目は、その仕様とする。	
						コネクタ（2P15A + 2E）		① <sup>2E</sup>							
						コネクタ（2P15A + ET）		① <sup>ET</sup>							
						コネクタ（2P15A × 2 + ET）		① <sup>2ET</sup>				12		HF32W以上・インバータ形蛍光灯器具・放電灯器具	
						コネクタ（2P15A × 2E + ET）		① <sup>2EET</sup>				防水形器具等の金属部分及び、安定器別置の場合の安			
						コネクタ（15/20A兼用 + ET）		① <sup>ET(AC)</sup>				定器外箱には、D種接地工事を施す事。			
						防水コンセント（2P15A × 2）		① <sup>WP</sup>							
						防水コンセント（2P15A × 2E+ET）		① <sup>E-WP</sup>							
						アア-コンセント（2P15A × 2E）		① <sup>2E</sup>							
						コネクタ（3P20接地極付）		② <sup>E(20A)</sup>							
						コネクタ（3P30接地極付）		② <sup>E(30A)</sup>							
						スイッチ（1P15A）		●							
						スイッチ（1P15A）パワートランジスタ付		● <sup>L</sup>							
						スイッチ（1P15A）3路		● <sup>3</sup>							
						リモコンスイッチ（2線式）		⊕							



株式会社 天野建築設計事務所 天野 実  
 1級建築士 第338457号

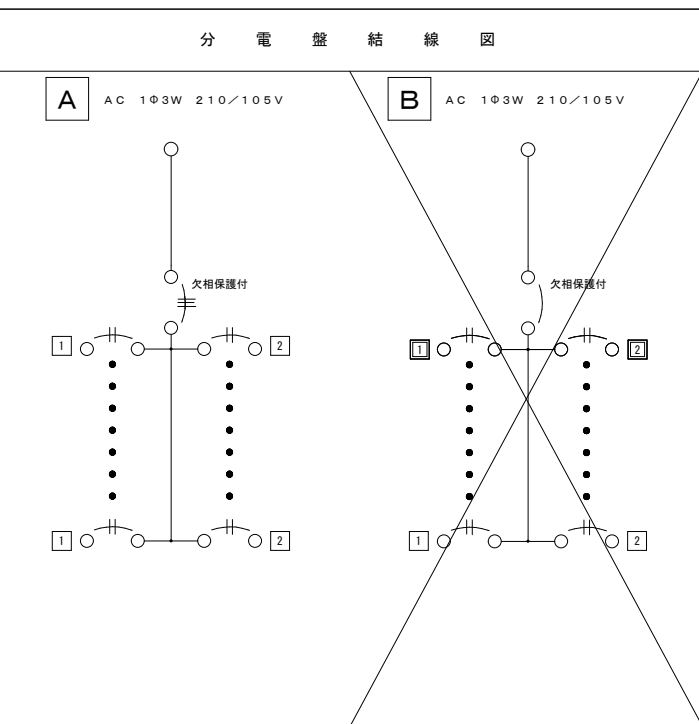
承認	設計	担当	

縮尺 A1:300  
 A3:600  
 設計年月日

工事名称 猿橋中学校 校舎 改修工事(電気設備)  
 図面名称 配置図 案内図

分電盤結線図

分電盤名称 結線図記号	分岐ELB		分岐MCB		回路番号		負荷名称	負荷容量	備考	分電盤名称 結線図記号	分岐ELB		分岐MCB		回路番号		負荷名称	負荷容量	備考
	A	F	A	T	200V	100V					A	F	A	T	210V	105V			
L-1A-a MCB 3P 50AF 30AT A 銅板製壁掛け型 塗装：指定色 CEB'-40 (1芯E) ※上部が「おん」付 (H:500程度)	5	0	2	0		1	女子便所 (職員用) 210V	1259		L-1B-a MCB 3P 50AF 30AT A 銅板製壁掛け型 塗装：指定色 CE5.5'-40 (1芯E) ※上部が「おん」付 (H:500程度)	5	0	2	0		1	男子便所 210V	636	
	5	0	2	0		2	男子便所 (職員用) 多目的トイレ	952			5	0	2	0		2	女子便所 多目的トイレ	1259	
	5	0	2	0		3	女子便所 (職員用) 100V	1750			5	0	2	0		3	男子便所 100V	1750	
	5	0	2	0		4	男子便所 (職員用) 100V	1750			5	0	2	0		4	女子便所 100V	1750	
	5	0	2	0		5	予備				5	0	2	0		5	予備		
合計									5,711VA	合計									5,395VA
L-2A-a L-3A-a MCB 3P 50AF 30AT A 銅板製壁掛け型 塗装：指定色 CES.5'-40 (1芯E) ※上部が「おん」付 (H:500程度)	5	0	2	0		1	女子便所 210V	1244		L-2B-a L-3B-a MCB 3P 50AF 30AT A 銅板製壁掛け型 塗装：指定色 CES.5'-40 (1芯E) ※上部が「おん」付 (H:500程度)	5	0	2	0		1	男子便所 210V	622	
	5	0	2	0		2	女子便所 210V	1264			5	0	2	0		2	男子便所 210V	647	
	5	0	2	0		3	女子便所 100V	1750			5	0	2	0		3	男子便所 100V	1750	
	5	0	2	0		4	女子便所 100V	1750			5	0	2	0		4	男子便所 100V	1750	
	5	0	2	0		5	予備				5	0	2	0		5	予備		
合計									6,008VA	合計									4,769VA
L-4A-a MCB 3P 50AF 30AT A 銅板製壁掛け型 塗装：指定色 CEB'-40 (1芯E) ※上部が「おん」付 (H:500程度)	5	0	2	0		1	女子便所 (職員用) 210V	1259											
	5	0	2	0		2	男子便所 (職員用) 210V	636											
	5	0	2	0		3	女子便所 (職員用) 100V	1750											
	5	0	2	0		4	男子便所 (職員用) 100V	1750											
	5	0	2	0		5	予備												
合計									5,395VA										



照明器具図

A1	LED (IL 60W相当) 温白色 拡散型	100φ
A2	LED (IL 60W相当) 温白色 中角型	100φ
595Lm 4.2W	A1: パナソニック XND0639WV LE9 相当品	
550Lm 4.2W	A2: パナソニック XND0635SV LE9 相当品	
B	LED (FDL 27W相当) 温白色 拡散型	100φ
1010Lm 7.0W	B: パナソニック XND1039WVLE9 相当品	
C1	LED (FDL 27W相当) 昼白色 人感センサー付	100φ
C2	LED (FDL 27W相当) 温白色 人感センサー付	100φ
1000Lm 7.1W	C1: パナソニック XNS1030WNKLE9 相当品	
980Lm 7.1W	C2: パナソニック XNS1030WVKLE9 相当品	
D	LED (FL 20W相当) 昼白色 人感センサー付	
1600Lm 11.6W	D: パナソニック XFX210ANNLE9 相当品	

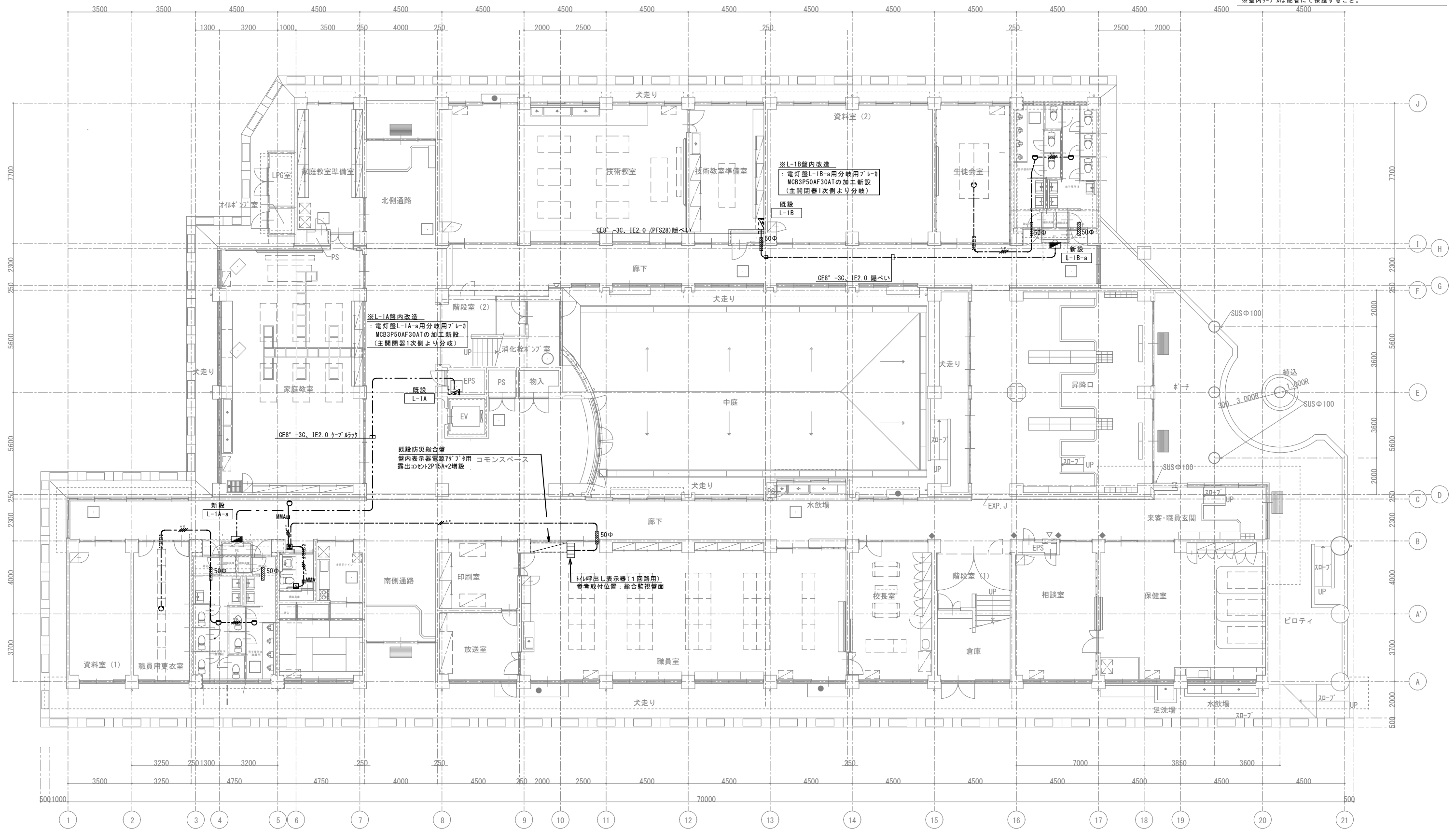
<p>呼出表示器 ※参考品番 7(株) ON-1A34/A+PS-1225A</p> <p>電源電圧 DC12V (電源7*プタ) 形状 埋込形 (JIS3 個用スイッチボックス) 材質 ZFV12SPCC t1.2 窓数 1窓 表示方式 断続プザー音と表示窓点灯</p>	<p>呼出表示灯 (プザー) ※参考品番 7(株) NBR-4B</p> <p>形状 壁埋込型 (JIS1 個用スイッチボックス) 材質 樹脂: 自己消火性樹脂 57*加'-: 6'加'-キ 備考 LED方式 (赤色)</p>	<p>トイレ用呼出押しボタン ※参考品番 7(株) NBR-7HMA</p> <p>形状 壁埋込型 (JIS1 個用スイッチボックス) 材質 自己消火性樹脂 備考 引きひも式、押ボタン式両用</p>	<p>呼出復帰ボタン ※参考品番 7(株) NBR-2A-C</p> <p>形状 壁埋込形 (JIS1 個用スイッチボックス) 材質 ABS樹脂</p>
--	---	---	--

記号	名称	摘要
□	トイレ呼出押しボタン	
■	復旧ボタン	
○	廊下灯	
○	差動式スポット型感知器	2種

注記 (特記なきものは下記とする)

—	EM-AE 0.9 - 4C 隠ぺい
—	EM-AE 1.2 - 2C 隠ぺい
—	EM-AE 1.2 - 3C 隠ぺい
—	1種金風線びA型
▨	壁貫通

※壁内ケーブルは配管にて保護すること。



株式会社 天野建築設計事務所  
 1級建築士 第338457号 天野実

承認	設計	担当

縮尺 A1:1/100  
 A3:1/200  
 設計年月日

工事名称 猿橋中学校校舎改修工事  
 図面名称 1階幹線・弱電設備改修図

記号	名称	摘要
○	差動式火災感知器	2種

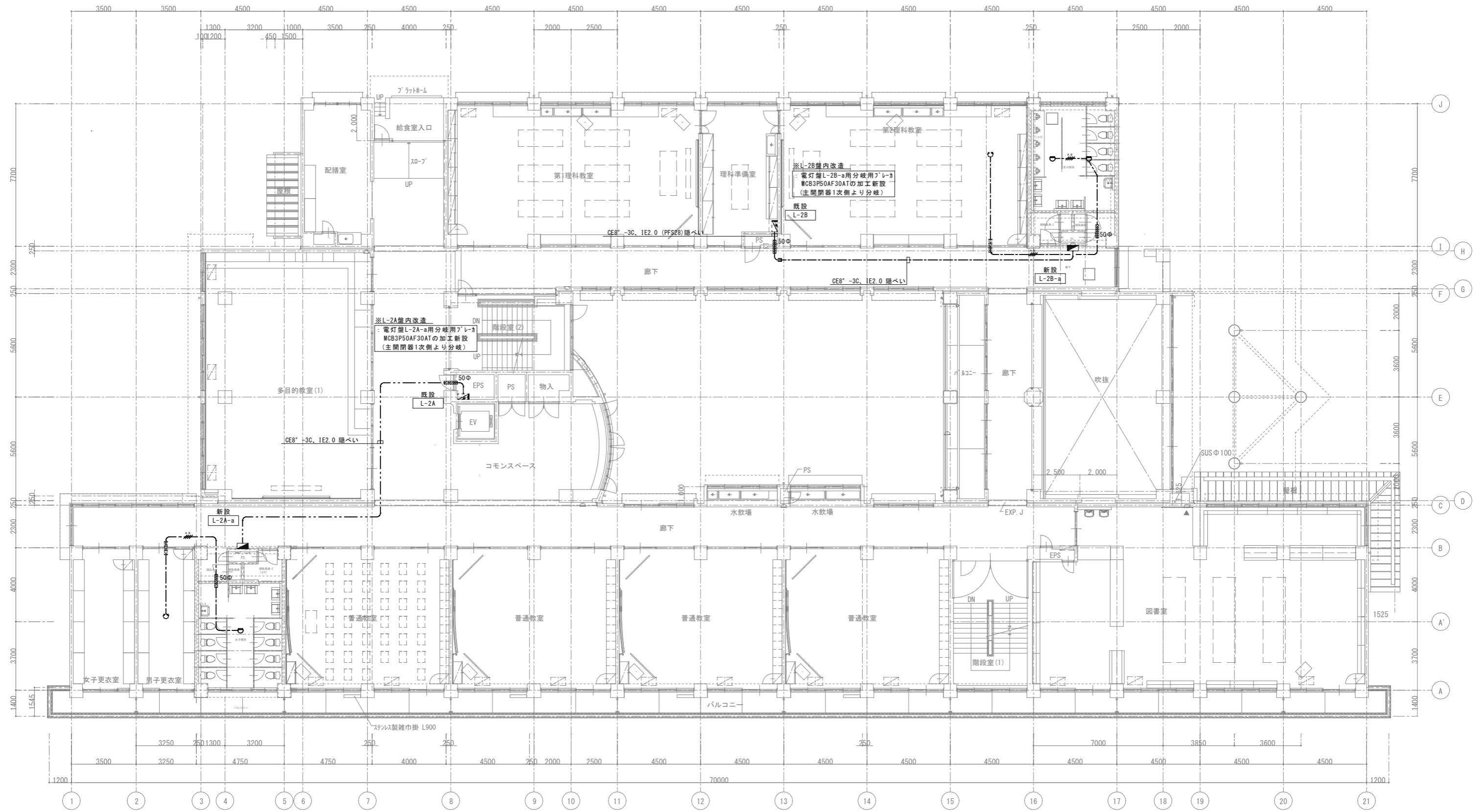
注記 (特記なきものは下記とする)

EM-AE 0.9 - 4C 隠ぺい

1種金属線びA型

壁貫通

※壁内ケーブルは配管にて保護すること。



株式会社 天野建築設計事務所  
1級建築士 第338457号 天野実

承認	設計	担当

縮尺 A1:1/100  
A3:1/200  
設計年月日

工事名称 猿橋中学校校舎改修工事  
図面名称 2階幹線・弱電設備改修図

No. E05

記号	名称	摘要
○	差動式火災感知器	2種

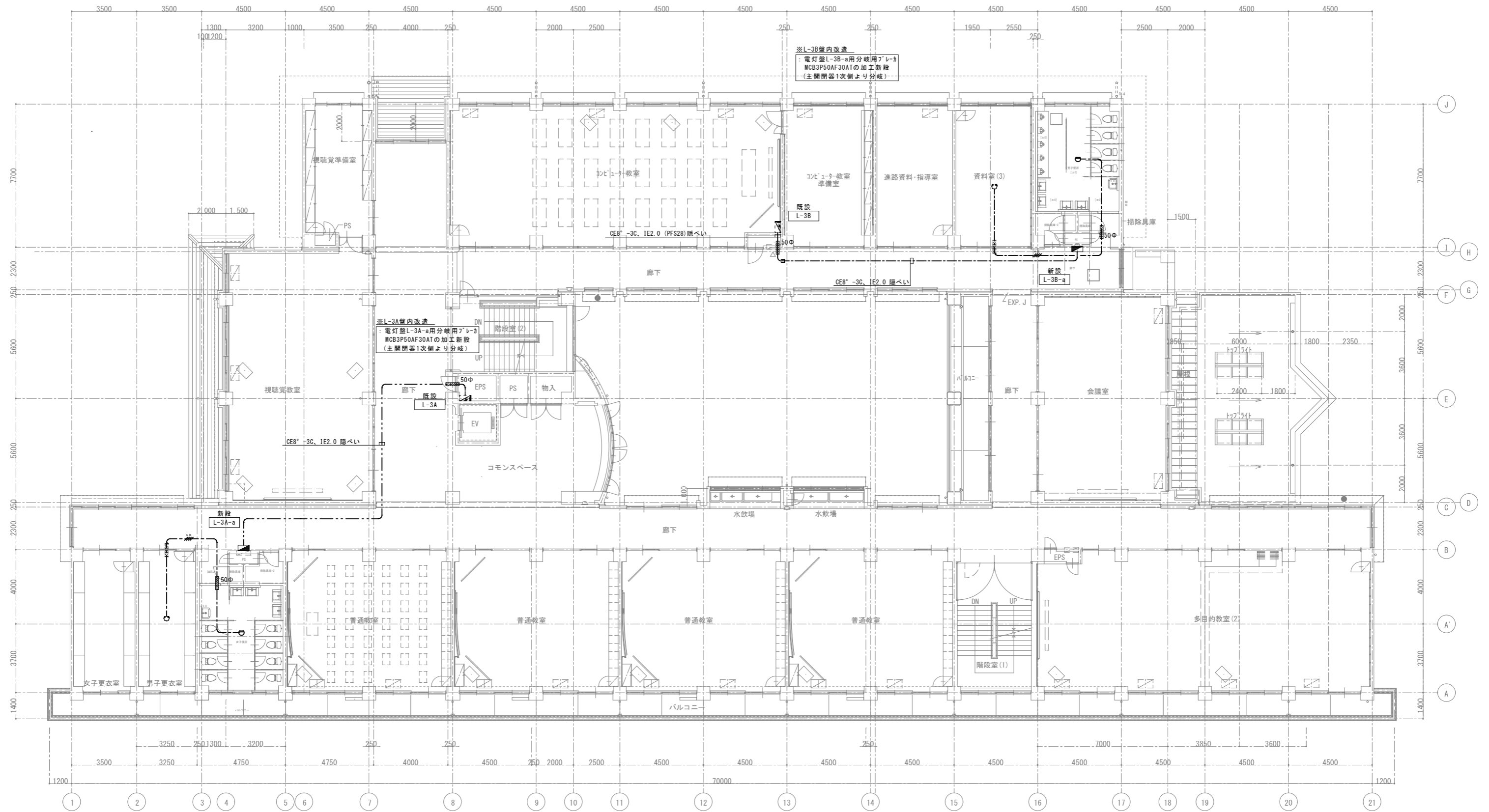
注記 (特記なきものは下記とする)

EM-AE 0.9 - 4C 隠ぺい

1種金属線びA型

壁貫通

※壁内ケーブルは配管にて保護すること。



株式会社 天野建築設計事務所  
1級建築士 第338457号 天野実

承認 設計 担当

縮尺 A1:1/100  
A1:1/200  
設計年月日

工事名称 猿橋中学校校舎改修工事  
図面名称 3階幹線・弱電設備改修図

No. E06

記号	名称	摘要
○	差動式火災感知器	2種

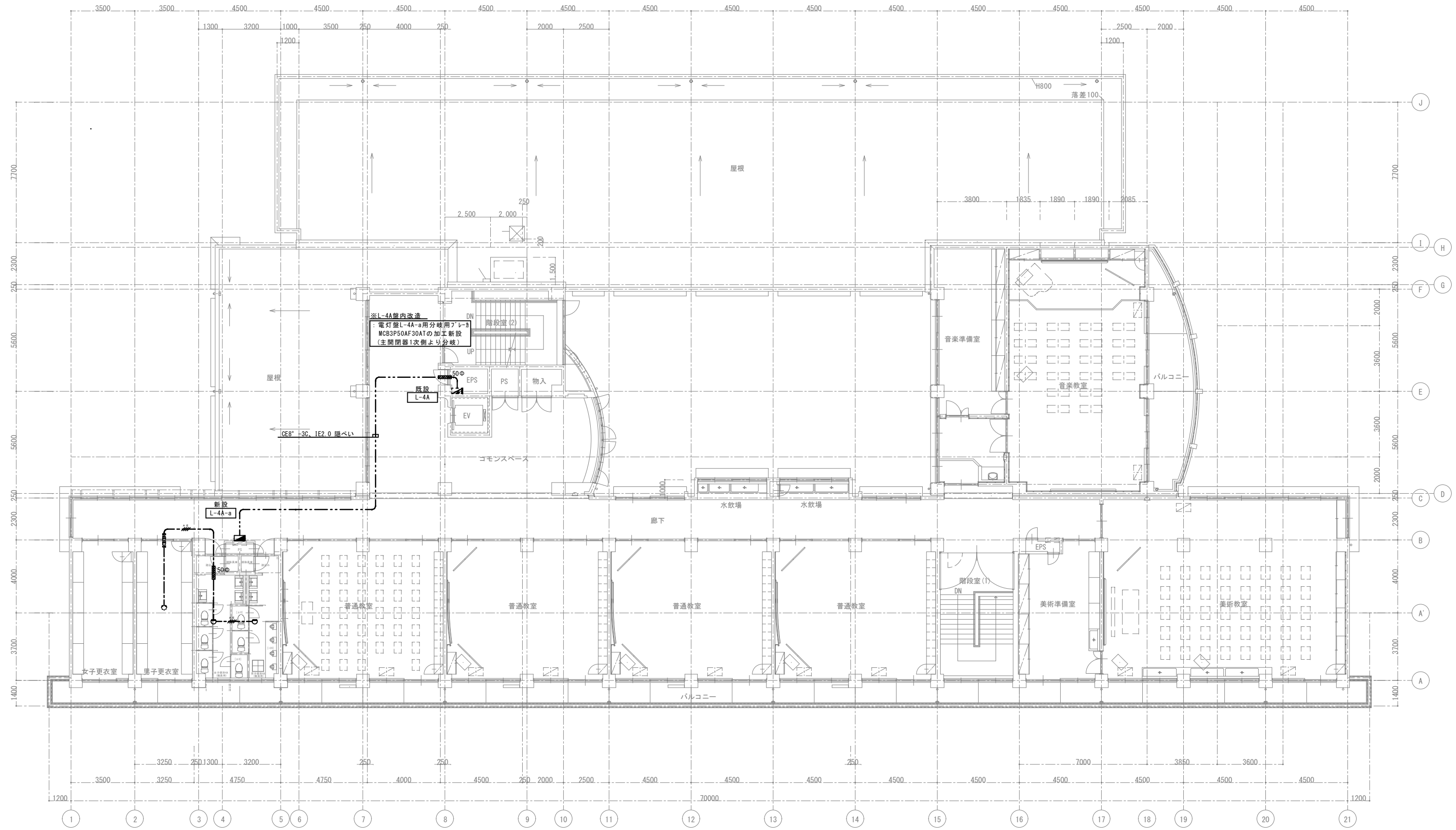
注記 (特記なきものは下記とする)

EM-AE 0.9 - 4C 隠ぺい

1種金属線びA型

壁貫通

※壁内ケーブルは配管にて保護すること。

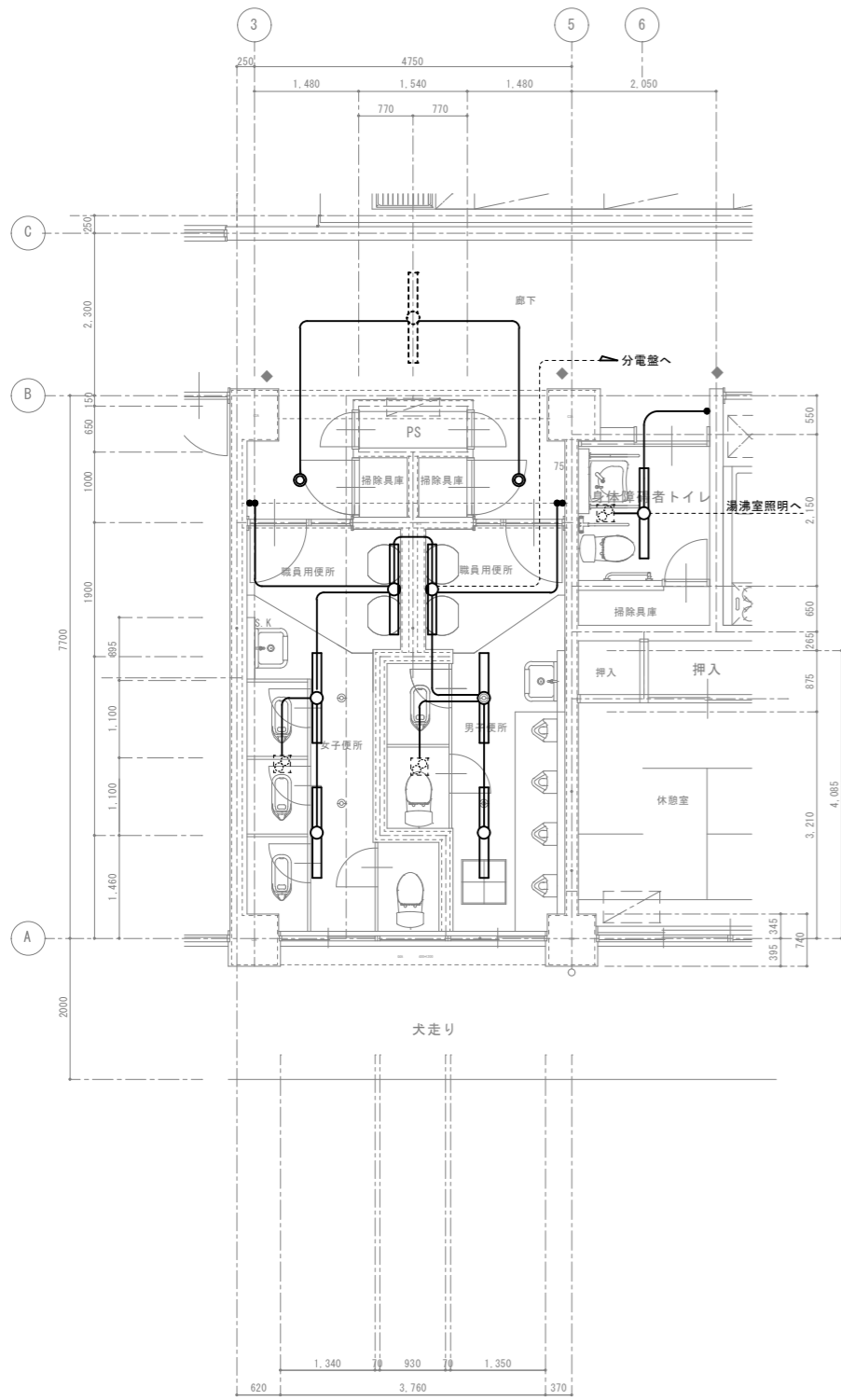


株式会社 天野建築設計事務所  
 1級建築士 第338457号 天野実

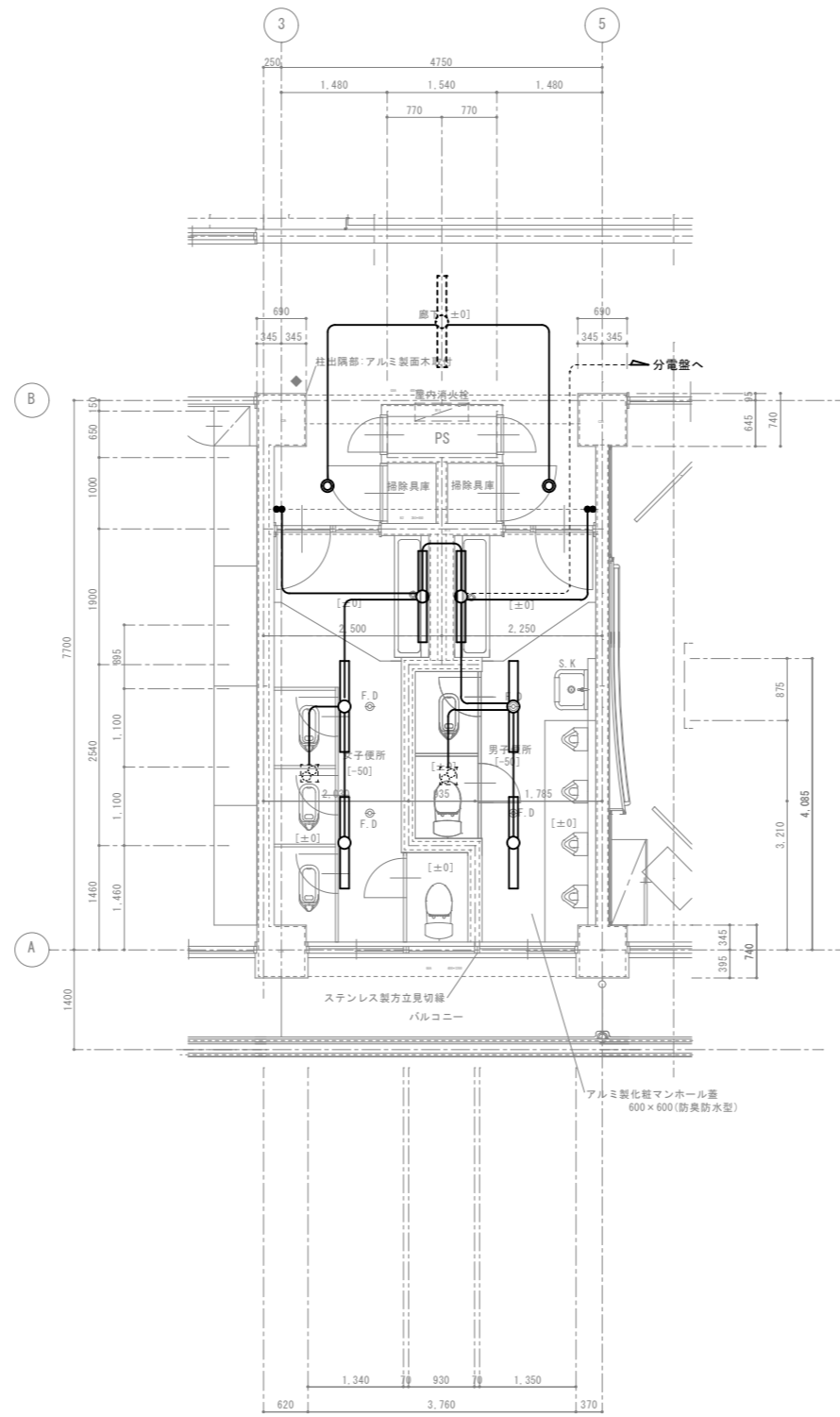
承認 設計 担当

縮尺 A1:1/100  
 A1:1/200  
 設計年月日

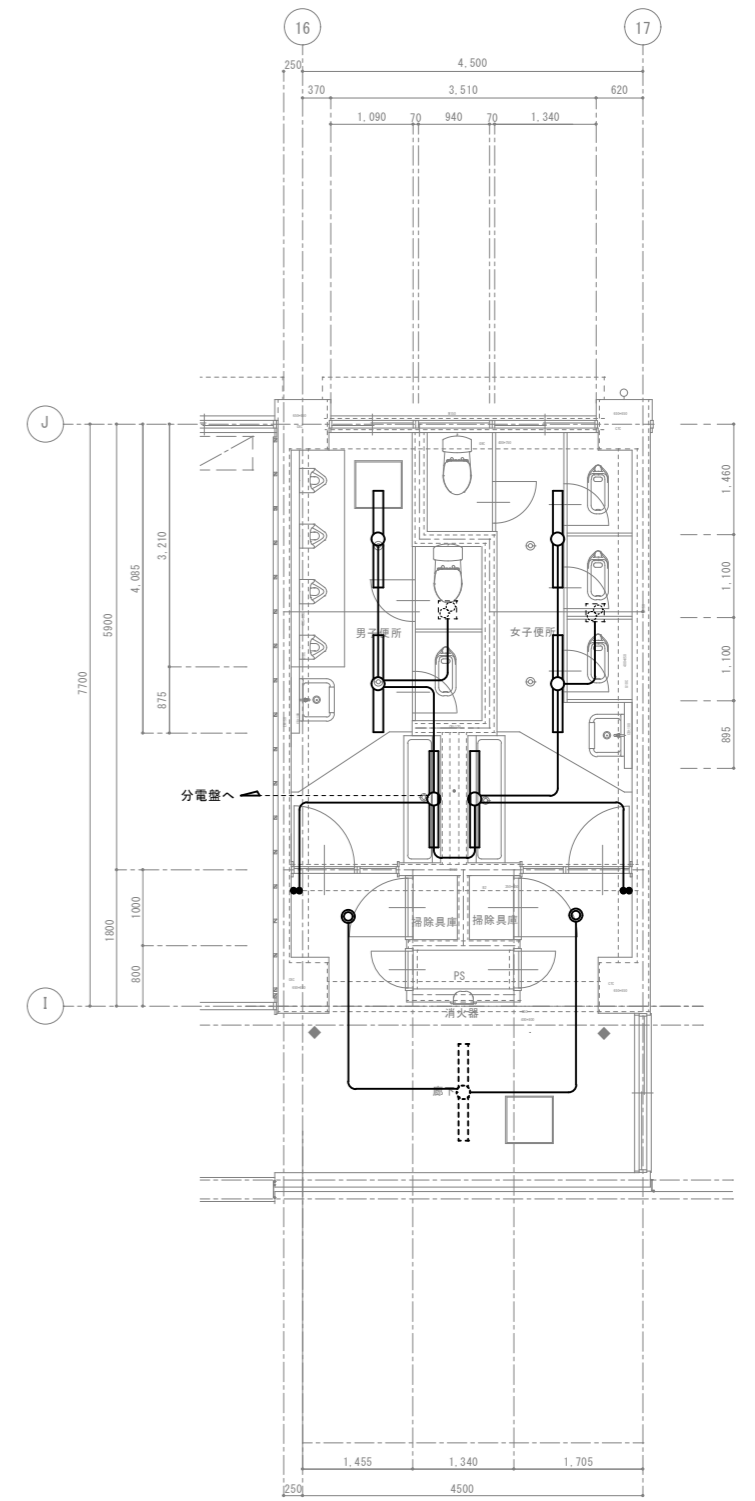
工事名称 猿橋中学校校舎改修工事  
 図面名称 4階幹線・弱電設備改修図



男・女子便所1A平面詳細図



男・女子便所2,3,4A平面詳細図

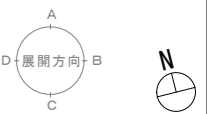


男・女子便所1,2,3B平面詳細図

記号	名称	摘要
●	埋込スイッチ	撤去処分
○	面付へんす付型 FL400×1相当品	撤去処分(LED器具の場合 学校へ納品すること)
○	面付フタ付型 FL400×1相当品	撤去処分(LED器具の場合 学校へ納品すること)
○	換気扇(壁付)	撤去処分(別途工事)
○	換気扇(天井)	撤去処分(別途工事)

注記 (特記なきものは下記とする)

—	VVF 1.6 - 2C	隠ぺい
—	VVF 1.6 - 3C	隠ぺい
—	VVF 1.6 - 2C × 2	隠ぺい
---		既存を示す。



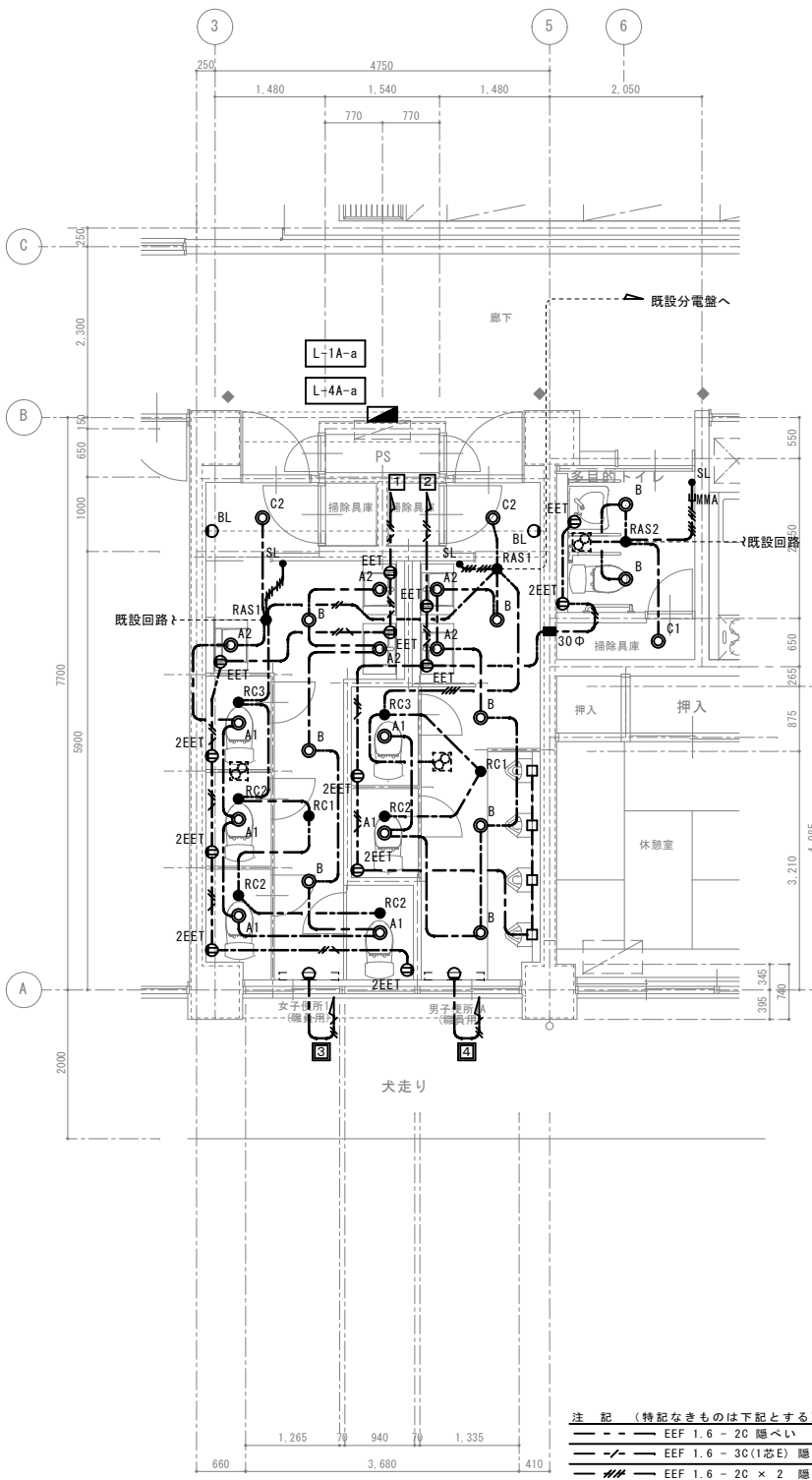
株式会社 天野建築設計事務所  
1級建築士 第338457号 天野実

承認 設計 担当

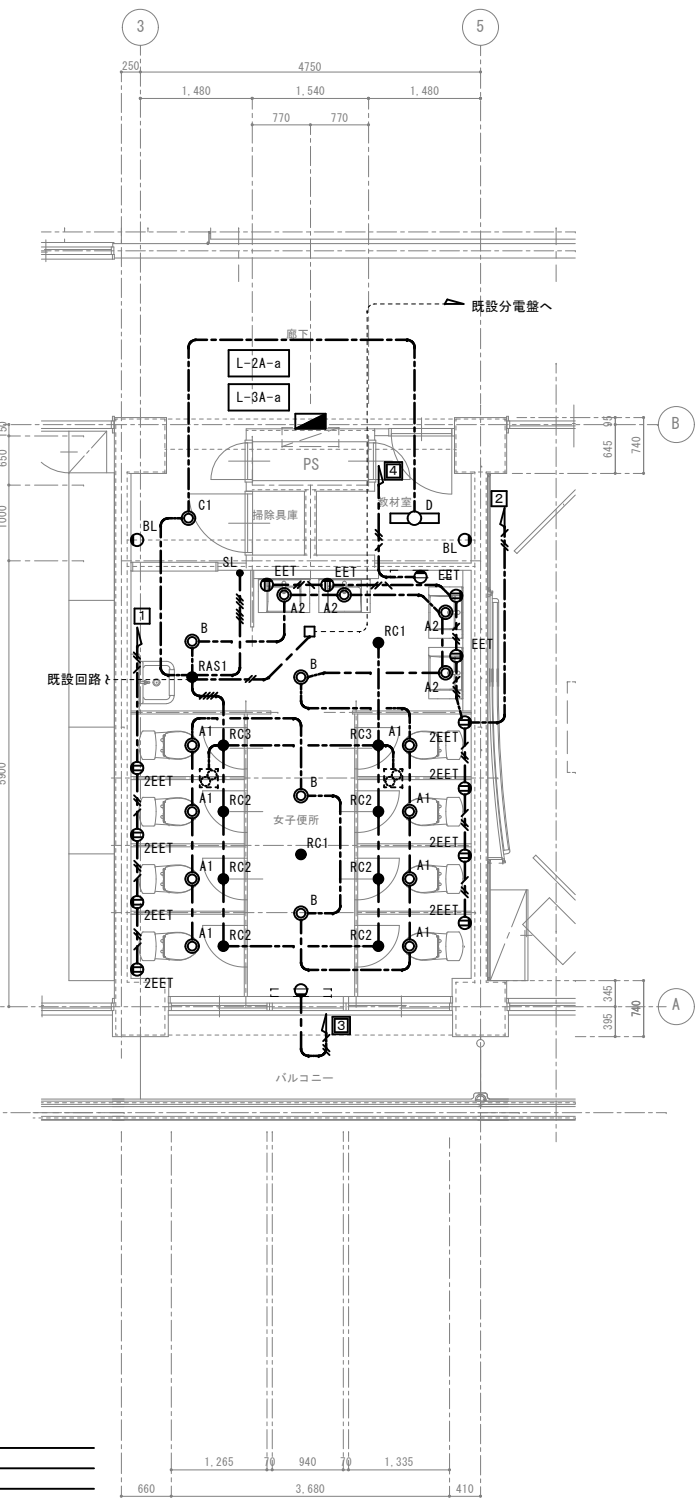
縮尺 A1:1/50  
A3:1/100  
設計年月日

工事名称 猿橋中学校校舎改修工事  
図面名称 既設トイレ撤去図

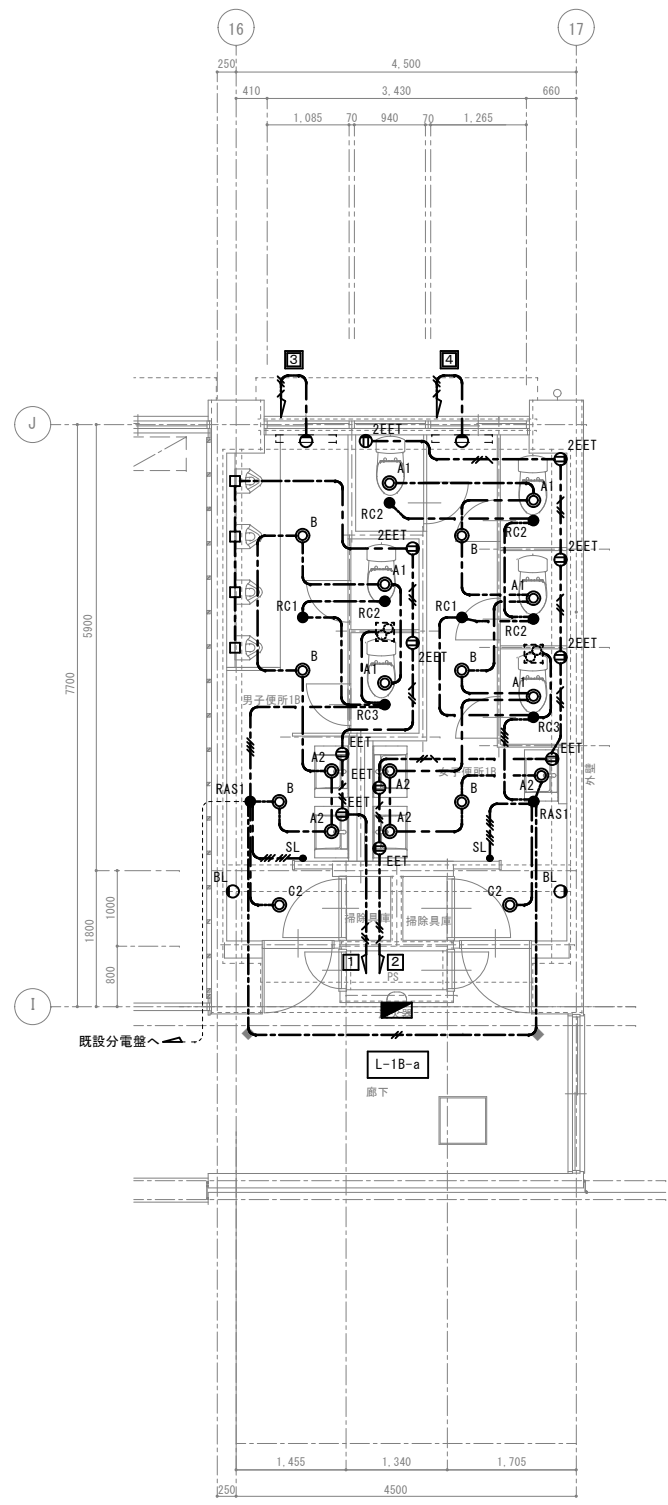
- 人感センサー仕様
- RAS1 : ハナニック WTK24818 相当品 (親機)
  - RAS2 : ハナニック WTK2604 相当品 (親機換気用)
  - RC1 : ハナニック WTK29129 相当品 (子機広角形)
  - RC2 : ハナニック WTK2910K 相当品 (子機)
  - RC3 : ハナニック WTK29318 相当品 (換気扇兼用)
  - SL : 手動操作型ハナニック WTC5822W 相当品



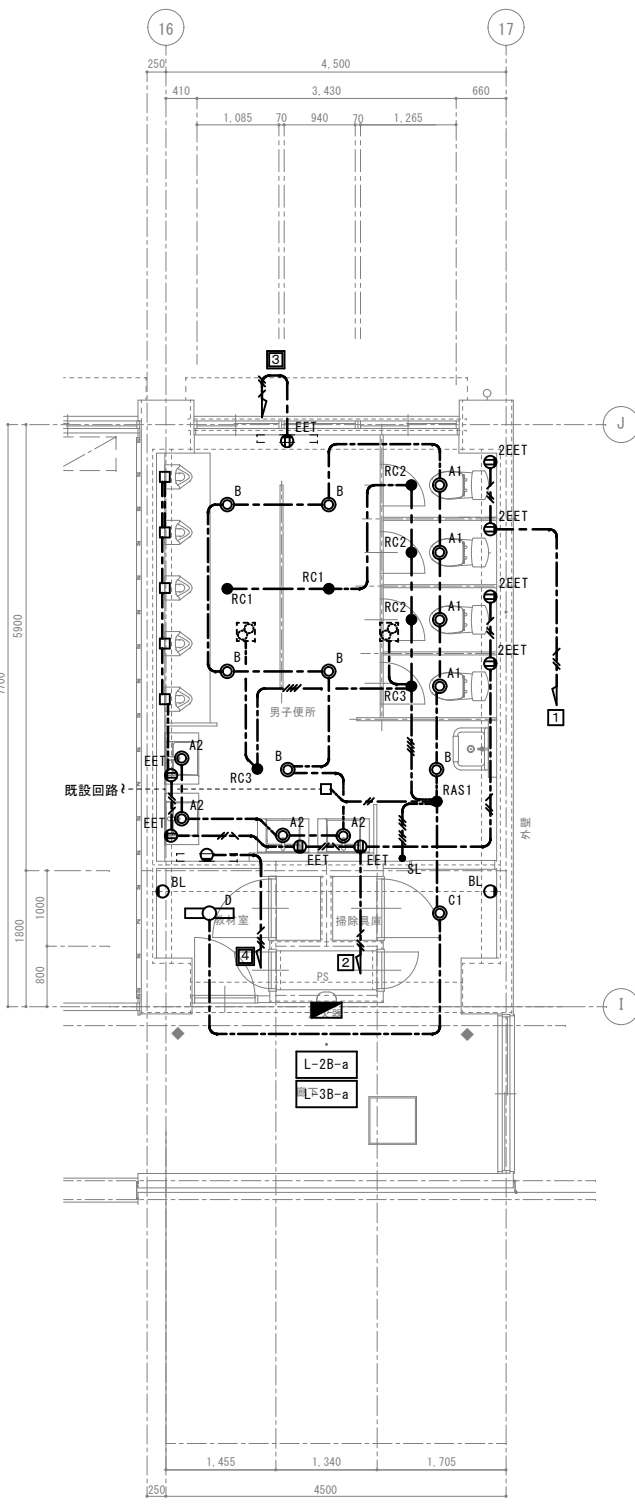
男・女子便所1A・4A平面詳細図



女子便所2, 3A平面詳細図

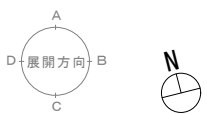


男・女子便所1B平面詳細図



男子便所2, 3B平面詳細図

- 注 記 (特記なきものは下記とする)
- EEF 1.6 - 2C 隠ぺい
  - /- EEF 1.6 - 3C (1芯E) 隠ぺい
  - /// EEF 1.6 - 2C x 2 隠ぺい
  - //// EEF 1.6 - 3C x 2 隠ぺい
  - - - EEF 2.0 - 2C 隠ぺい
  - / - EEF 2.0 - 3C (1芯E) 隠ぺい
  - 1種金属線ぴA型
  - J/S 1タイププレート (新金属プレート)
  - BL プランクプレート (新金属プレート)
  - 壁貫通
- ※壁内ケーブルは配管にて保護すること。



株式会社 天野建築設計事務所  
1級建築士 第338457号 天野実

承認 設計 担当

縮尺 A1:1/50  
A3:1/100  
設計年月日

工事名称 猿橋中学校校舎改修工事  
図面名称 トイレ電気設備改修詳細図

特記仕様書																				
<b>建築概要</b>	<p>1 工事名称:猿橋中学校校舎改修工事 改修工事(機械設備)</p> <p>2 工事場所:山梨県大月市猿橋町猿橋567</p> <p>3 建物概要:中学校 鉄筋造 4階建て 延床面積:5422.77 m<sup>2</sup></p> <p>4 工事範囲:設計図書及び工事契約書に示す範囲とする。</p>																			
<b>一般事項</b>	<p>1 本工事は全て本特記仕様書・設計図書及び関係官庁規則により施工する。特記なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、公共建築工事標準仕様書(建築・電気・機械設備工事)・同標準図に準拠し、監督員の指示に従い技術的に完全に施工すること。</p> <p>2 本工事に関連する法令・条例及び規則等は良くこれを理解・厳守し、関係官公署その他関係機関への必要な届出手続き等は請負者の責任において遅滞なく行い、内容について監督員に報告する。</p> <p>3 本設計図は工事概要を示すものであるから、請負者は充分なる理解の上、工事着手前に工事関係図書を提出し、監督員の承認を得ること。</p> <p>4 図面・本仕様書に疑義が生じた場合及び明記なきことでも技術上当然必要なものは監督員と協議の上、その指示に従い誠実に施工すること。軽微な変更・追加工事も同様とする。</p> <p>5 工事完成時には取扱説明書・竣工図・工程写真・試験表・保守要領書その他を提出すること。尚、本設備引渡し前に運用者に対して十分に説明・指導を行うこと。</p>																			
<b>工事項目及び工事概要</b>	<table border="1"> <tr> <td>1 衛生器具 設備工事</td> <td>図示位置に器具・水栓類を堅固且つ美麗に取付けるものとする。取付高さはJIS・器具メーカー仕様を参考とし、打合せの上決定すること。</td> </tr> <tr> <td>2 給水 設備工事</td> <td>水道直結方式とする。新規引込管:25mm 量水器:20mm</td> </tr> <tr> <td>3 排水通気 設備工事</td> <td>屋内外共、汚水・雑排水合流式とし、重力式排水方式で既存下水公設樹に接続とする。</td> </tr> <tr> <td>4 換気 設備工事</td> <td>既存天井換気扇を撤去し、更新天井換気扇を設置する。ダクトの接続替えも含むものとする。</td> </tr> </table>	1 衛生器具 設備工事	図示位置に器具・水栓類を堅固且つ美麗に取付けるものとする。取付高さはJIS・器具メーカー仕様を参考とし、打合せの上決定すること。	2 給水 設備工事	水道直結方式とする。新規引込管:25mm 量水器:20mm	3 排水通気 設備工事	屋内外共、汚水・雑排水合流式とし、重力式排水方式で既存下水公設樹に接続とする。	4 換気 設備工事	既存天井換気扇を撤去し、更新天井換気扇を設置する。ダクトの接続替えも含むものとする。											
1 衛生器具 設備工事	図示位置に器具・水栓類を堅固且つ美麗に取付けるものとする。取付高さはJIS・器具メーカー仕様を参考とし、打合せの上決定すること。																			
2 給水 設備工事	水道直結方式とする。新規引込管:25mm 量水器:20mm																			
3 排水通気 設備工事	屋内外共、汚水・雑排水合流式とし、重力式排水方式で既存下水公設樹に接続とする。																			
4 換気 設備工事	既存天井換気扇を撤去し、更新天井換気扇を設置する。ダクトの接続替えも含むものとする。																			
<b>提出書類</b>	<p>着工時</p> <p>メーカーリスト、現場代理人及び主任技術者通知書、主任技術者経歴書、施工図、機器類承認図、工事工程表、施工計画書、その他</p> <p>工事中</p> <p>月間工程表(必要に応じ週間工程表)、工事日報、資機材搬入報告書、定例会議議決報告書、その他、</p> <p>竣工時</p> <p>機器類保証書・取扱説明書、竣工図、工事写真(着工前、施工中、竣工時)、その他監督職員の指示による。</p>																			
<b>メーカー指定</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器具名</th> <th>製作所名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>衛生器具</td> <td>TOTO(株) LIXIL(株)</td> </tr> <tr> <td>排水器材</td> <td>(株)長谷川鋳工所 (株)第一器材 (株)オオタケファンドリー</td> </tr> <tr> <td>換気扇類</td> <td>三菱電機(株) パナソニック(株)</td> </tr> <tr> <td>管材類</td> <td>JIS・JWWA規格メーカー</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 上記又は同等品以上とし、メーカーリスト及び機器承認図を提出の上、監督員の承認を得ること。</p>	機器具名	製作所名	衛生器具	TOTO(株) LIXIL(株)	排水器材	(株)長谷川鋳工所 (株)第一器材 (株)オオタケファンドリー	換気扇類	三菱電機(株) パナソニック(株)	管材類	JIS・JWWA規格メーカー									
機器具名	製作所名																			
衛生器具	TOTO(株) LIXIL(株)																			
排水器材	(株)長谷川鋳工所 (株)第一器材 (株)オオタケファンドリー																			
換気扇類	三菱電機(株) パナソニック(株)																			
管材類	JIS・JWWA規格メーカー																			
<b>保温塗装仕様</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>材料仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">給水管</td> <td>屋内隠蔽埋設</td> <td>ワンタッチポリエチレン保温筒20mm ワンタッチポリエチレン保温筒10mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>隠蔽・PS</td> <td>ワンタッチポリエチレン保温筒20mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排気ダクト</td> <td>隠蔽</td> <td>GW保温筒25mm(ALGC)+ALGC粘着テープ</td> <td>外壁面より2.0mまで保温</td> </tr> <tr> <td>給気ダクト</td> <td>隠蔽</td> <td>GW保温筒25mm(ALGC)+ALGC粘着テープ</td> <td>全て</td> </tr> </tbody> </table>	種別	区分	材料仕様	備考	給水管	屋内隠蔽埋設	ワンタッチポリエチレン保温筒20mm ワンタッチポリエチレン保温筒10mm		隠蔽・PS	ワンタッチポリエチレン保温筒20mm		排気ダクト	隠蔽	GW保温筒25mm(ALGC)+ALGC粘着テープ	外壁面より2.0mまで保温	給気ダクト	隠蔽	GW保温筒25mm(ALGC)+ALGC粘着テープ	全て
種別	区分	材料仕様	備考																	
給水管	屋内隠蔽埋設	ワンタッチポリエチレン保温筒20mm ワンタッチポリエチレン保温筒10mm																		
	隠蔽・PS	ワンタッチポリエチレン保温筒20mm																		
排気ダクト	隠蔽	GW保温筒25mm(ALGC)+ALGC粘着テープ	外壁面より2.0mまで保温																	
給気ダクト	隠蔽	GW保温筒25mm(ALGC)+ALGC粘着テープ	全て																	

特記事項
<p>1 使用する管材及び保温材は凡例の項を参照とし、全て新品とする。</p> <p>2 機器類はメーカー標準仕様品とし、全て新品とする。</p> <p>3 保温・塗装工事は下記保温仕様を参考とし、詳細は共通仕様書参照とする。</p> <p>4 衛生陶器類のカラーは標準色同価格品とし監督職員と打ち合わせの上、決定すること。</p> <p>6 本工事に支障のある既存配管等の切廻し・盛替工事は図示なくも監督職員と協議の上、支障無きように行うこと。</p> <p>7 本工事は施工範囲外の設備に支障なきよう行うものとするが支障が発生した場合は、監督職員に速やかに報告し指示を受け、本施設に影響なきようにすること。尚、これ等に係る費用は請負者の負担とする。</p> <p>8 給水等に使用する器具・バルブ類は鉛レス対策品とする。</p> <p>9 主要な弁類には、使用用途を記したプラスチックの用途札を取付ける。</p> <p>10 洗面ユニット・流し等の排水管は直接接続とし、臭気漏れのなきように完全密閉すること。</p> <p>11 排水管の勾配は屋内は1/50以上とすること。</p> <p>12 排水床上掃除口はSUS製VP用化粧つば付き形とする。</p> <p>13 各配管は耐圧試験を行うものとし、詳細は標準仕様書による。</p> <p>14 屋外に使用する支持鋼材・ボルト・ナット類及びフランジは、垂鉛メッキのものとする。</p> <p>15 機器類・露出配管には記号・名称等を記入すること。</p> <p>16 機器類の据付配管工事及び二次側電気工事はメーカー技術資料及び関連法規に基づき、完全に施工すること。</p> <p>17 穴埋めの補修は無収縮モルタルとする。又、必要に応じ鉄筋等を使用する。</p>

工事区分
<p>建築工事:</p> <p>電気工事:</p> <p>別途工事:</p>

図面リスト	図番	図面名称	原図	縮尺			備考	
	M-01	特記仕様書	A1		M-09	衛生設備 平面詳細図 No.1	A1	1/50(A3:1/100)
	M-02	衛生設備 器具表 系統図	A1	Free	M-10	衛生設備 平面詳細図 No.2	A1	1/50(A3:1/100)
	M-03	衛生設備 配置図	A1	1/100(A3:1/200)	M-11	衛生設備既存平面詳細図	A1	1/50(A3:1/100)
	M-04	衛生設備 1階平面図	A1	1/100(A3:1/200)				
	M-05	衛生設備 2階平面図	A1	1/100(A3:1/200)				
	M-06	衛生設備 3階平面	A1	1/100(A3:1/200)				
	M-07	衛生設備 4階平面図	A1	1/100(A3:1/200)				
	M-08	衛生設備 屋上平面図	A1	1/100(A3:1/200)				

凡例・管材	記号	名称	施工場所	種別	規格	保温材	継手・備考
—————	給水管	屋内隠蔽	配管用ステンレス鋼管	JIS G3448(SUS304)	架橋ポリ10mm	専用拡管式継手	
—————	排水管	屋内露出	配管用ステンレス鋼管	JIS G3448(SUS304)	架橋ポリ20mm	専用拡管式継手	
—————	通気管	屋内無隠	耐火二層管	FDPS		専用耐火継手	
-----		屋内無隠					

株式会社 天野建築設計事務所 天野 実 <small>1級建築士 第338457号</small>		承認	設計	担当	縮尺 A1:	工事名称 猿橋中学校 校舎 改修工事(機械設備)	図面名称 特記仕様書	No. M 01
					A3:			
					設計年月日			

衛生器具表 (A, Bトイレ)

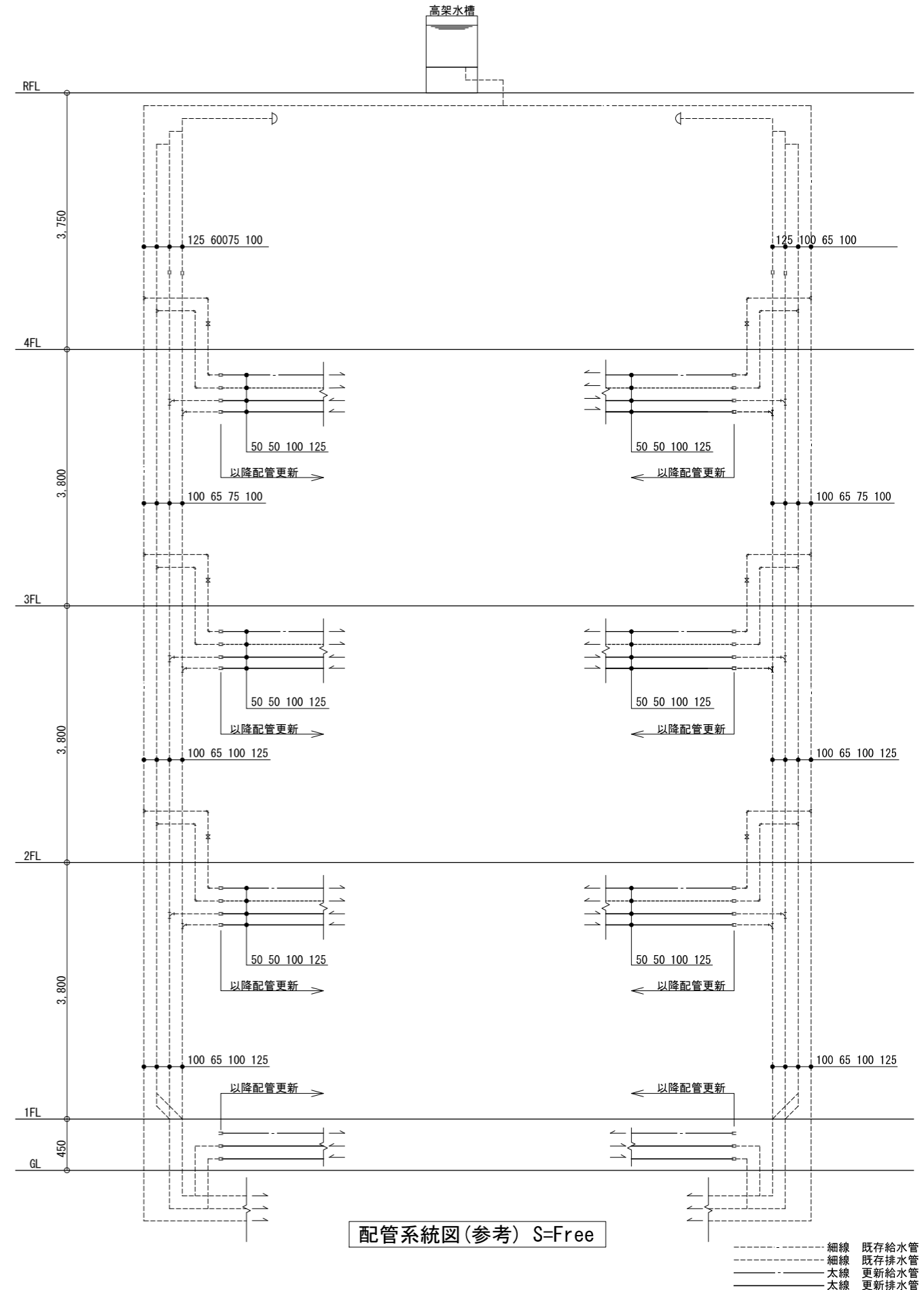
器具名称	仕様	参考品番 (TOTO)	電源・容量	設置場所 数量										備考	工事内容
				1A 男子 女子 トイレ	2A 女子 トイレ	3A 女子 トイレ	4A 男子 女子 トイレ	1F 多 目的 トイレ	1B 男子 女子 トイレ	2 男子 女子 トイレ	B3B 男子 女子 トイレ	数量 合計			
洋風便器	パブリック用コンパクトタイプ フラッシュタンク式 標準形 節水Ⅱ形 防露便器 掃除口なし 床給排水 手洗い無し	CFS498B		6	8	8	6	1		6	4	4	43	C810S	和風大便器→洋風便器
ウォシュレット	エレングート 本体操作 おしり洗浄 ビデ 水勢調節 暖房便座 脱臭 他	TCF587(P)	AC100V*314W	6				1		6			13		
暖房便座	エロンゲート 脱臭 ソフト閉止	TCF226	AC100V*56W		8	8	6				4	4	30		
紙巻器	二連 棚:SUS製	YH181 R/L		6				1		6			13		
紙巻器	一連 SUS製	YH116			8	8	6				4	4	30		
壁掛小便器	低リップタイプ 壁給排水 自動感知FV	UFS900R	AC100V*0.5W	5			4			4	5	5	22	U610	
壁掛洗面器	カウンター一体形 壁給排水 自動水栓	LMVRS45P TLE28SS1A	AC100V	5	4	4	5			5	4	4	31		
化粧鏡	耐食タイプ 350*600H	YM3560F		5	4	4	5			5	4	4	31		
化粧鏡	耐食タイプ 350*800H	YM3580FC						1					1		
マルチシンク	大形 横水栓	SK510 T200SNR13C			1	1				1	1		4		
壁掛洗面器	角形 壁給排水 自動水栓	L710C TLE26SS1A	AC100V					1					1		
手すり	パブリック用樹脂被覆タイプ L型	T112GL9						1					1		
手すり	パブリック用樹脂被覆タイプ はね上げタイプ	T112HK7R						1					1		
手すり	パブリック用樹脂被覆タイプ 車椅子・杖使用者用	T112CP23						2					2		

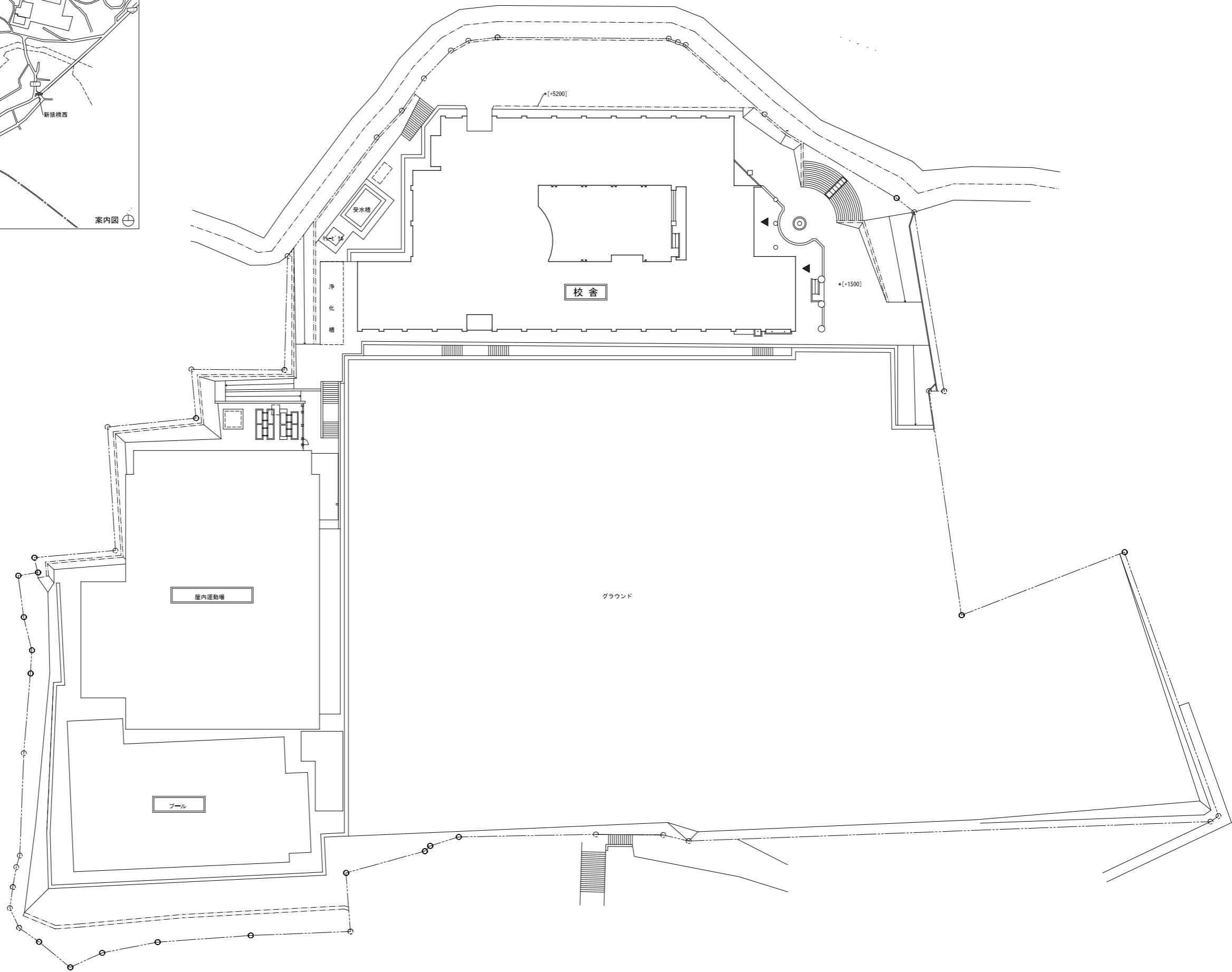
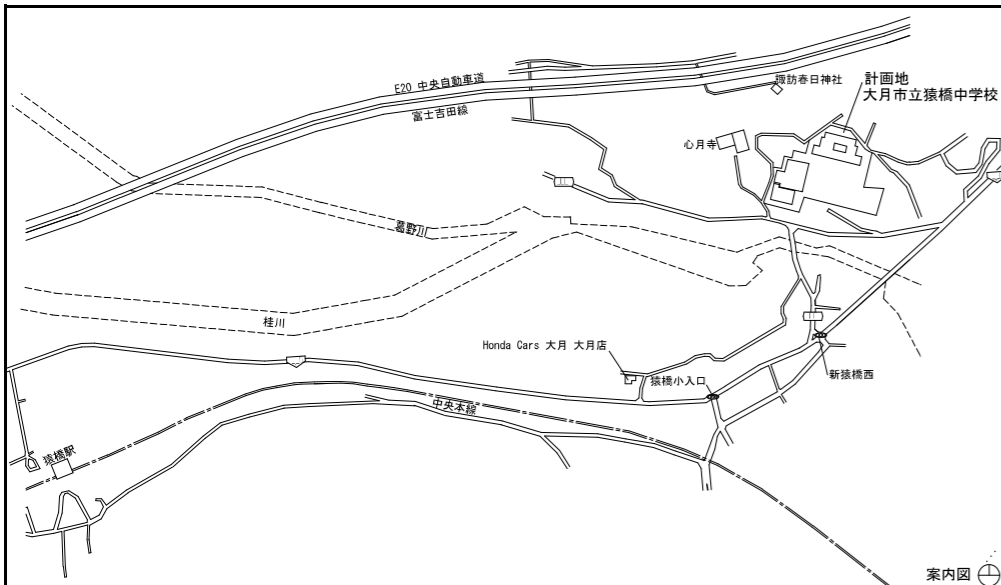
撤去衛生器具表 (A, Bトイレ)

器具名称	仕様、参考型番 (TOTO)	設置場所 数量						備考	工事内容
		1A		2, 3, 4A		1, 2, 3B			
		男子 女子 トイレ	女子 トイレ	男子 女子 トイレ	女子 トイレ	男子 女子 トイレ	女子 トイレ		
和風大便器	C752B CFB310UMTV CF32H	1	3	3	9	3	9	28	附属器具一式
洋風大便器	C13 CFB50UVH CF32H	1	1	3	3	3	3	14	
身障者便器	C56K DT511W TWF-J+NB CF39AK CF32H							1	
身障者洗面器	L364ARP LF12-U LF97PA LF3							1	
傾斜鏡	KF4560Z							1	
小便器	U321 UF3NH	4		12		12		28	
洗面器	L146P LF1U LF5PA LF3U	2	2					4	附属器具一式
掃除用流し	SK202A LF7E19U SF20SF SF10E	1	1	3	3	3	3	14	

換気機器表 (A, Bトイレ)

記号	機器名称	参考品番	羽根径 φ mm	風量 m3/h	静圧 Pa	電源 V	消費電力 W	数	参考型番	設置場所	取付品	参考型番	個数
FEC 1	天井換気扇	VD-20ZC14	150	250	120	100	44.0	13					

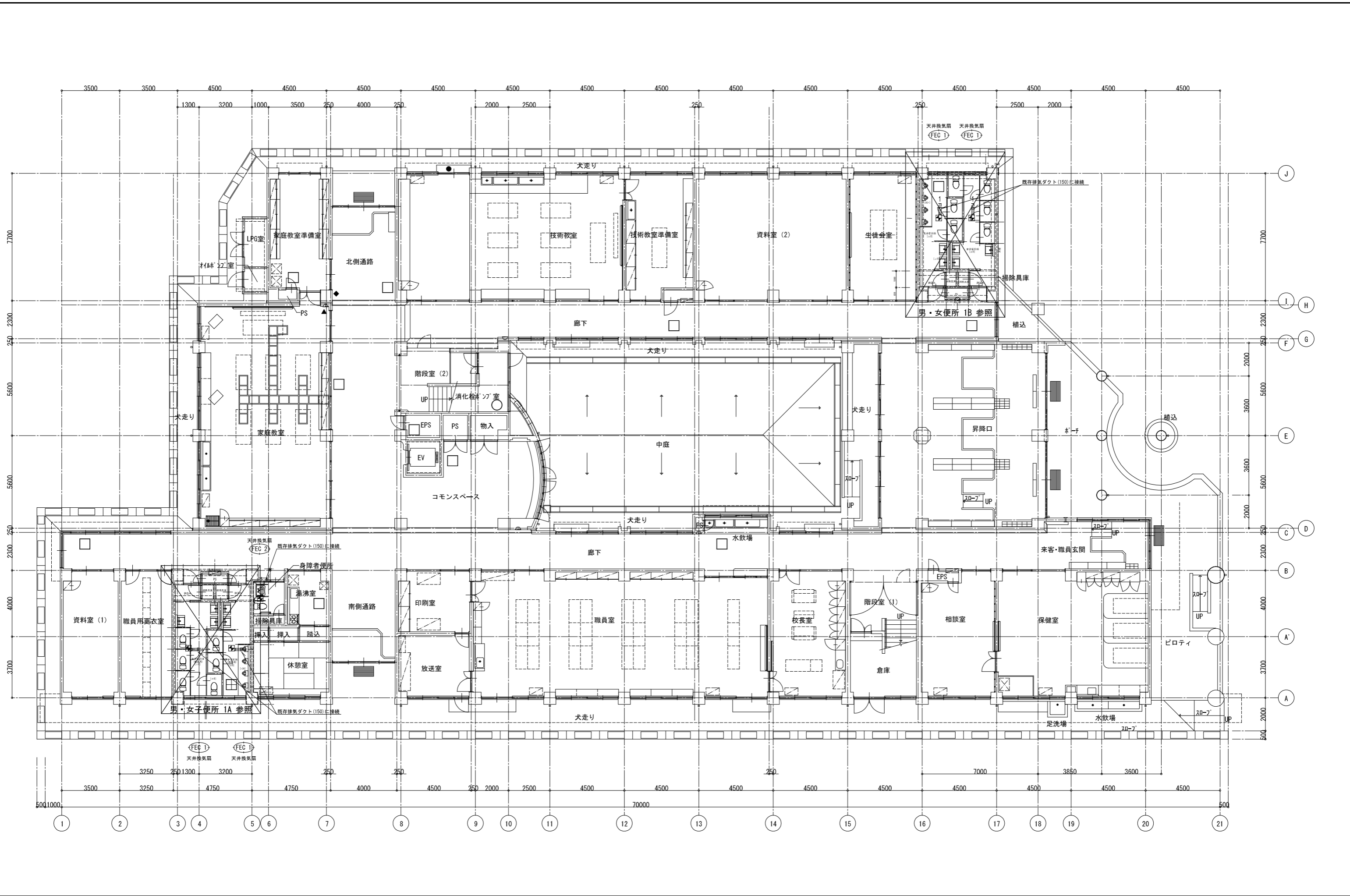




株式会社 天野建築設計事務所 天野 実  
 1級建築士 第338457号

承認	設計	担当	縮尺 A1:300 A3:600
			設計年月日

工事名称 猿橋中学校 校舎 改修工事(機械設備)  
 図面名称 配置図 案内図

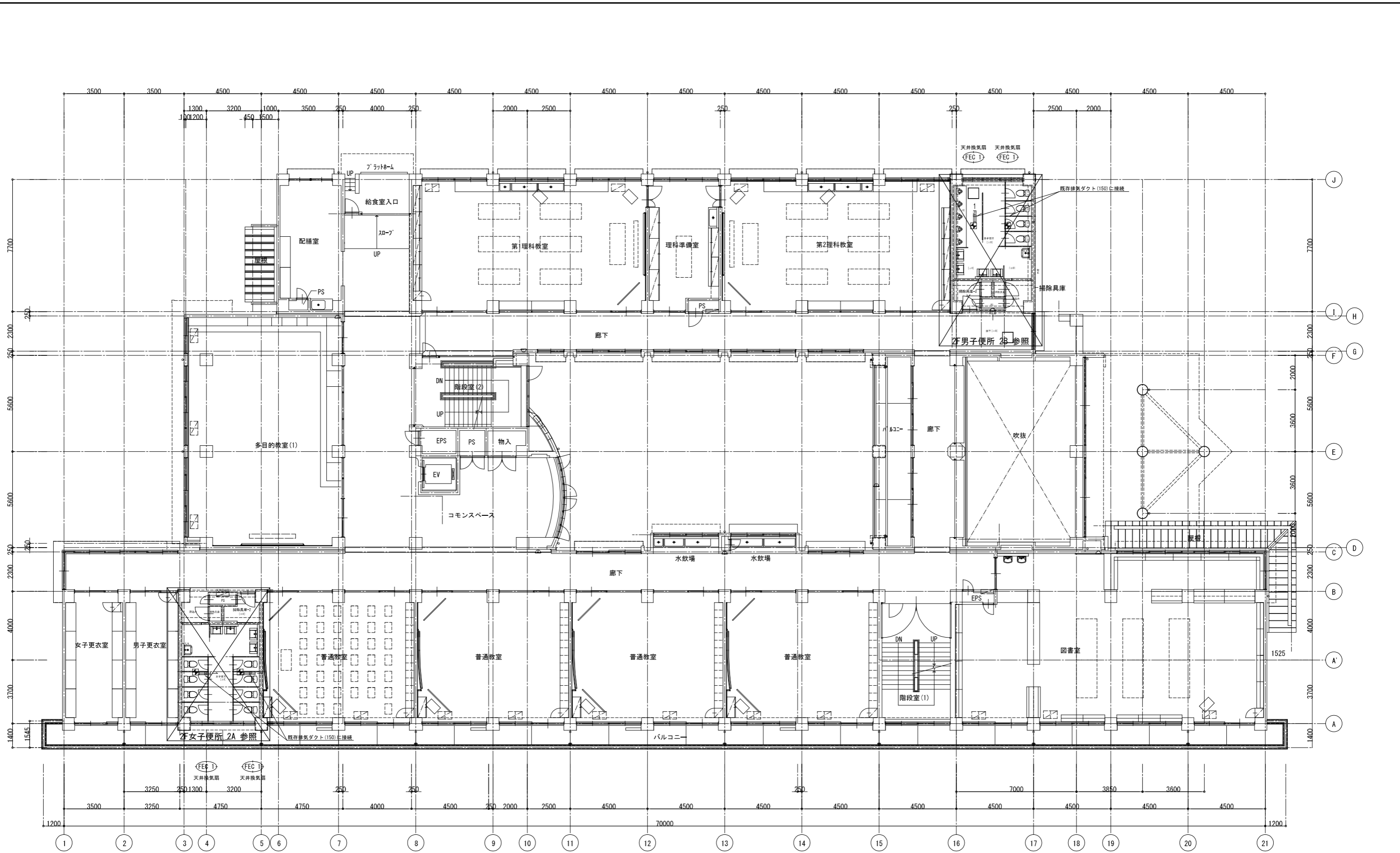


株式会社 天野建築設計事務所 天野 実  
 1級建築士 第338457号

承認	設計	担当

縮尺 A1:100  
A3:200  
設計年月日

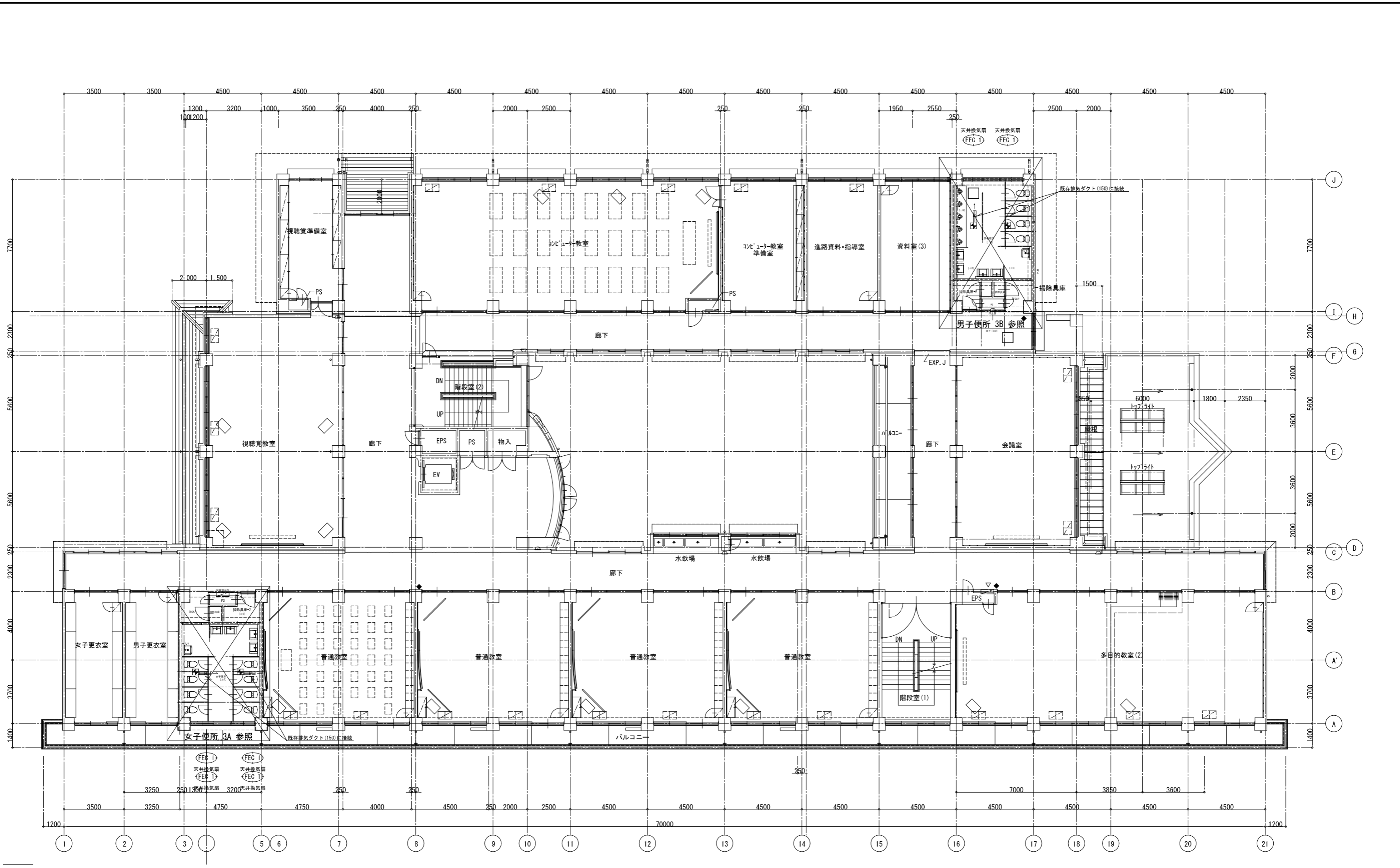
工事名称 猿橋中学校 校舎 改修工事(機械設備)  
 図面名称 1階平面図



株式会社 天野建築設計事務所 天野 実  
 1級建築士 第338457号

承認	設計	担当

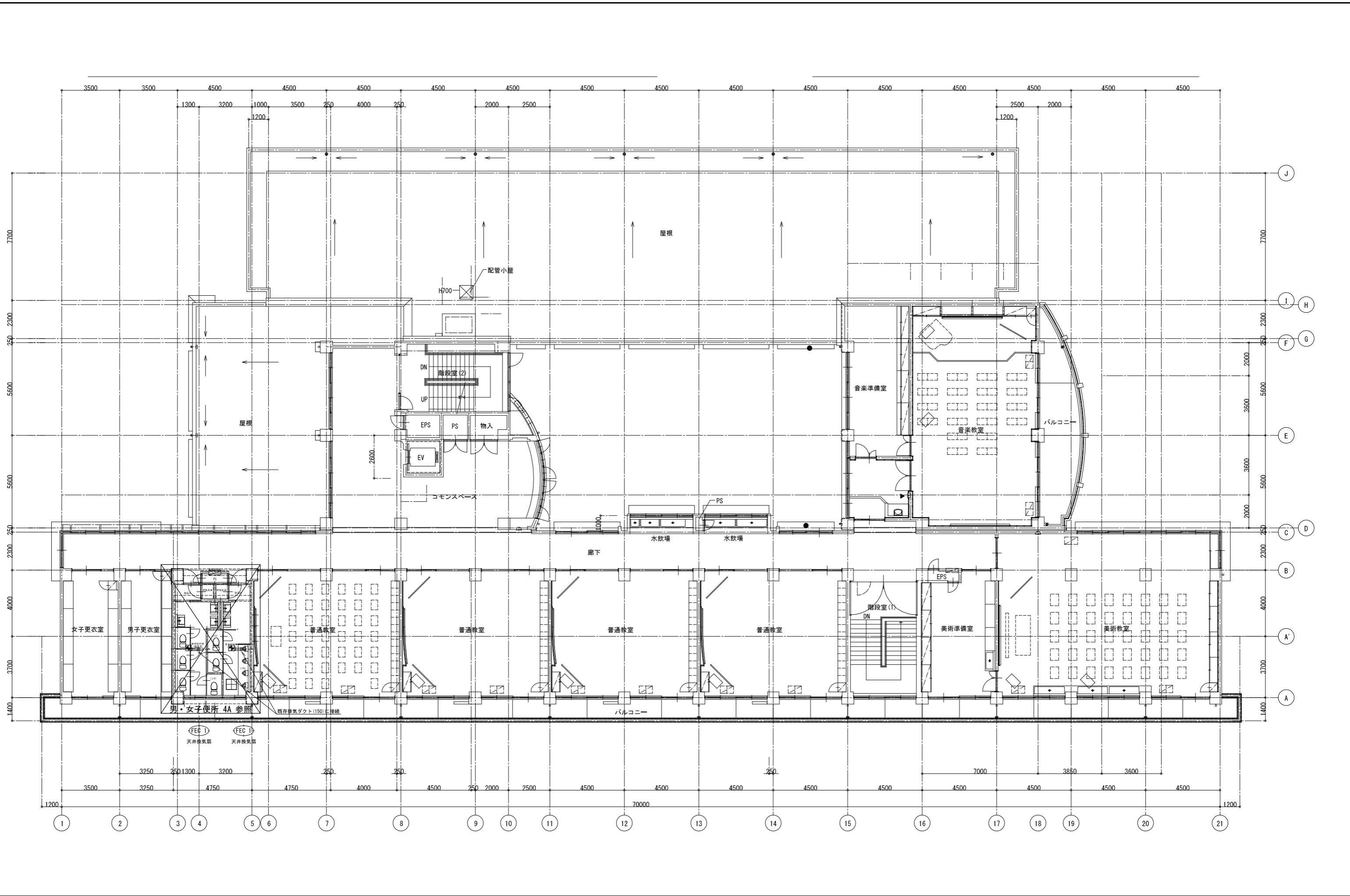
縮尺 A1:100  
 A3:200  
 設計年月日  
 工事名称 猿橋中学校 校舎 改修工事(機械設備)  
 図面名称 2階平面図



株式会社 天野建築設計事務所 天野 実  
 1級建築士 第338457号

承認	設計	担当

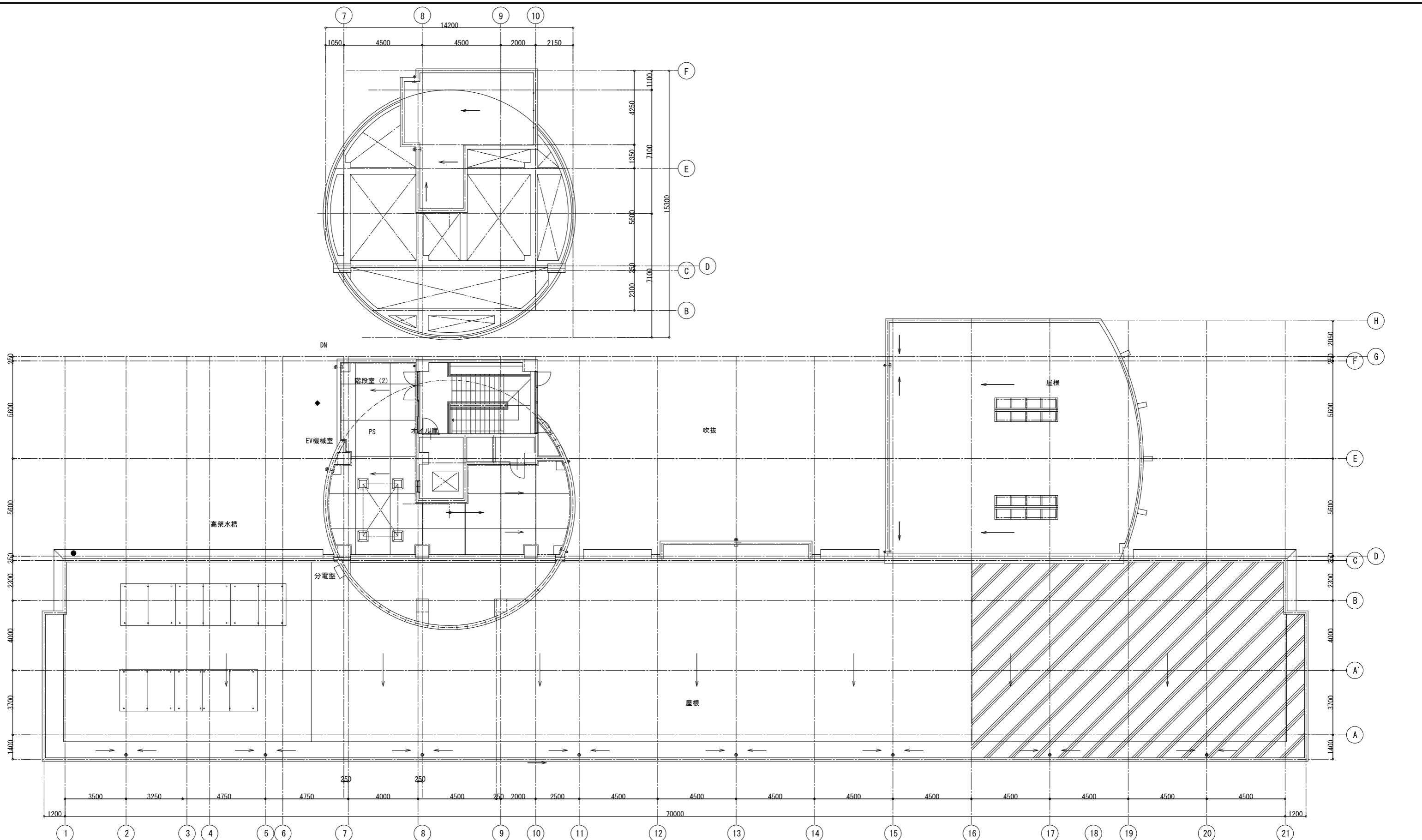
縮尺 A1:100  
 A3:200  
 設計年月日  
 工事名称 猿橋中学校 校舎 改修工事(機械設備)  
 図面名称 3階平面図



株式会社 天野建築設計事務所 天野 実  
 1級建築士 第338457号

承認	設計	担当

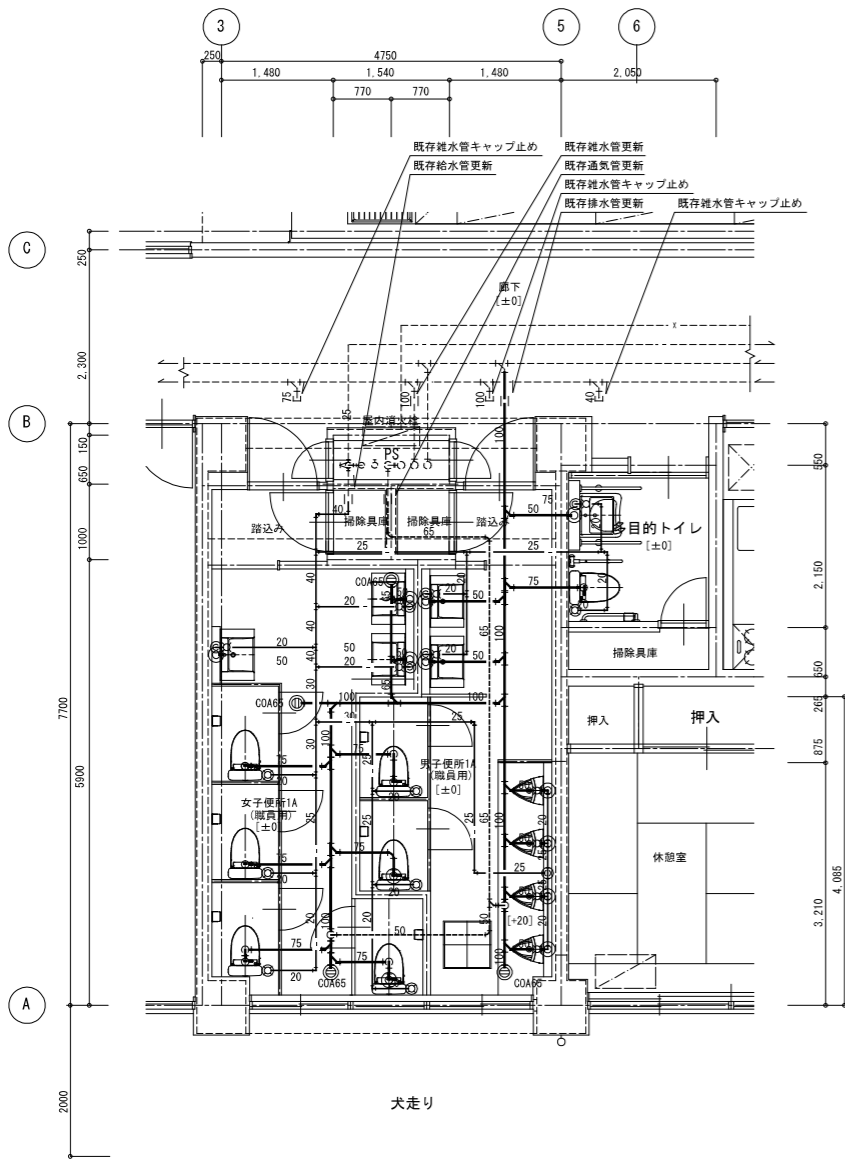
縮尺 A1:100  
 A3:200  
 設計年月日  
 工事名称 猿橋中学校 校舎 改修工事(機械設備)  
 図面名称 4階平面図



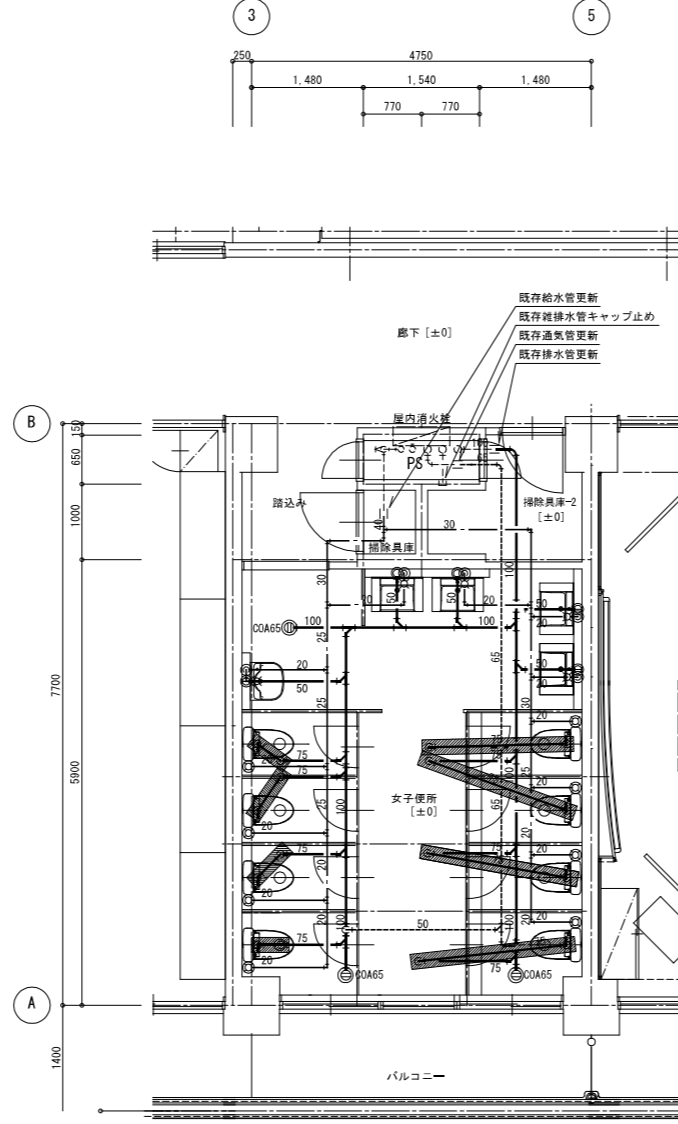
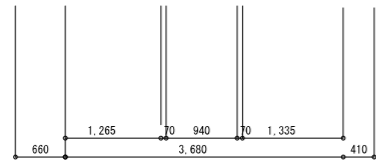
株式会社 天野建築設計事務所 天野 実  
 1級建築士 第338457号

承認	設計	担当

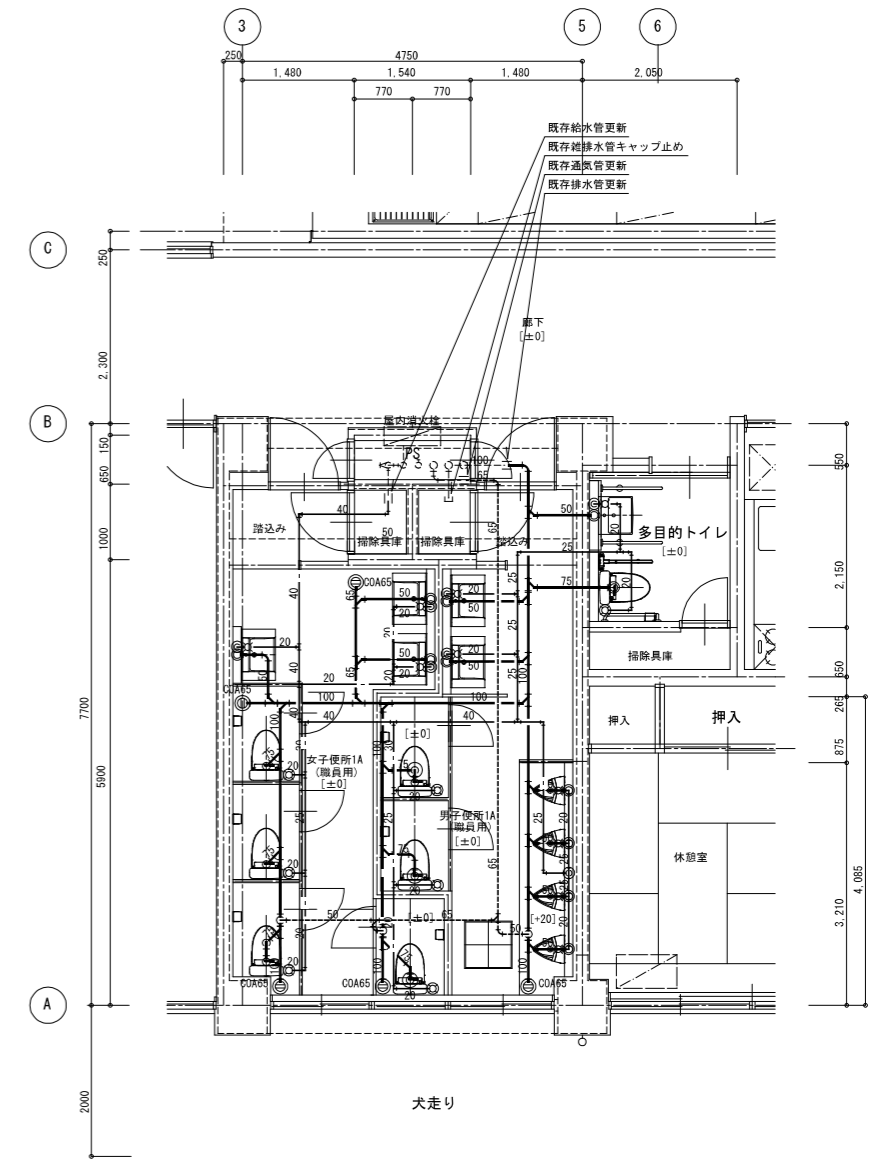
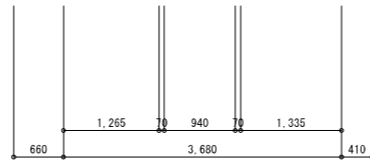
縮尺 A1:100  
 A3:200  
 設計年月日  
 工事名称 猿橋中学校 校舎 改修工事(機械設備)  
 図面名称 屋上平面図



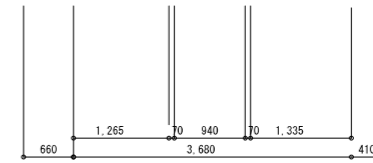
男・女子便所 1A 平面詳細図



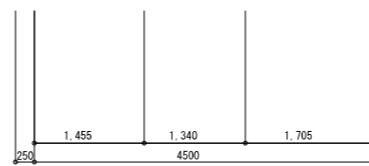
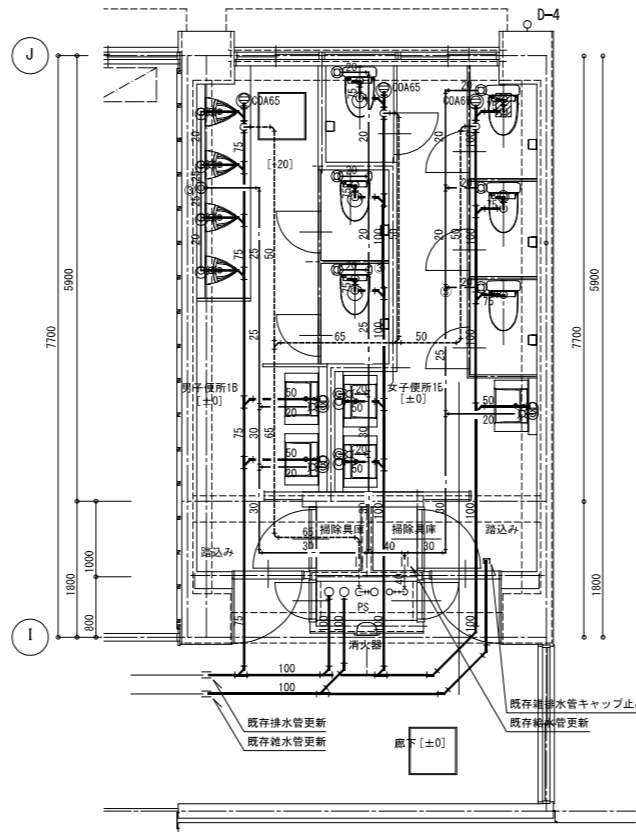
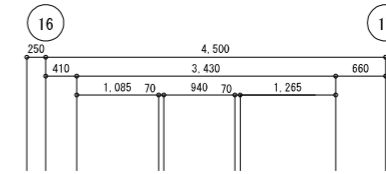
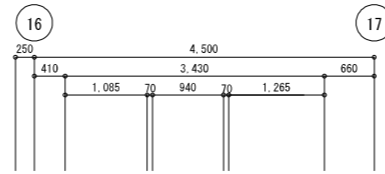
女子便所 2, 3A 平面詳細図



男・女子便所 4A 平面詳細図

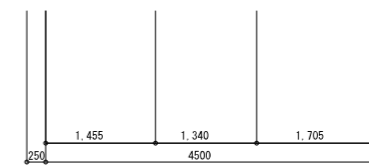
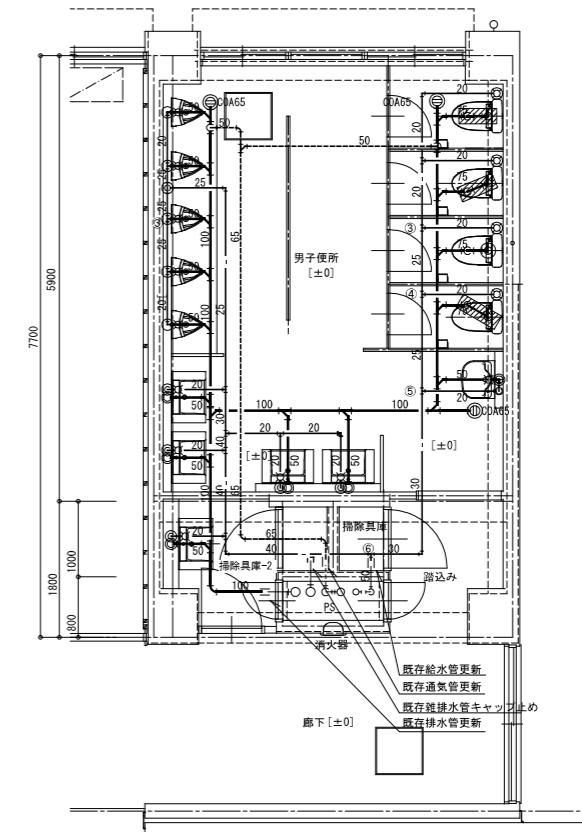


- 注記(便所A-1, 2, 3, 4F B-1, 2, 3F共通)
- 1 配管更新箇所は概ね図示位置とするが、現場合せとする。
  - 2 図示細線は既存管を、太線は更新配管をしめす。
  - 3 更新箇所より二次側の給排水管は全て撤去とし、更新とする。
  - 4 床スラブの折り口径は75mm以下とする。
  - 5 床スラブの貫通箇所はなるべく既存穴を利用すること。
  - 6 図中斜線は床スラブ溝切り箇所をしめす。



電気ヒーター: 1.75KW\*2

男・女子便所 1B 平面詳細図

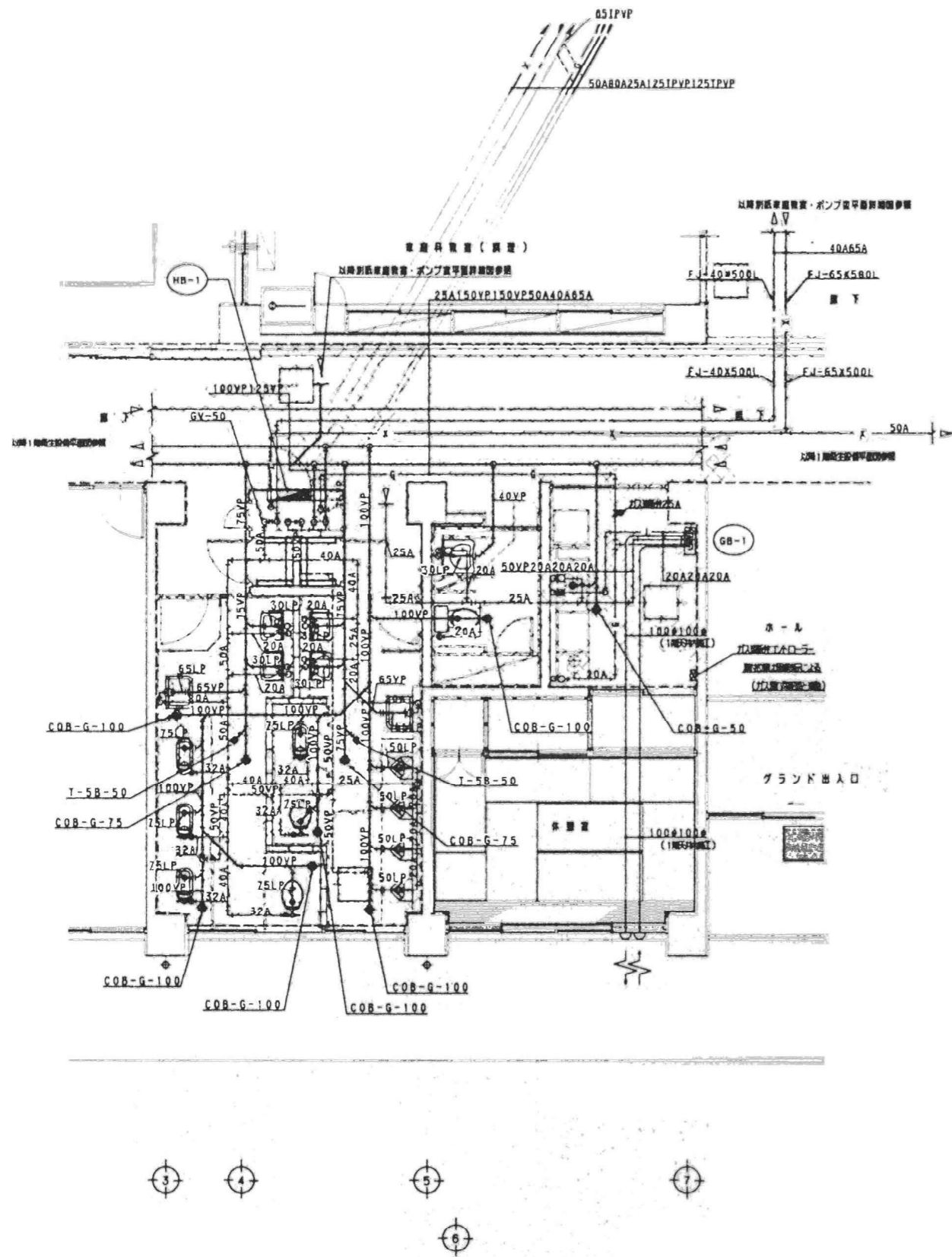


電気ヒーター: 1.75KW\*2

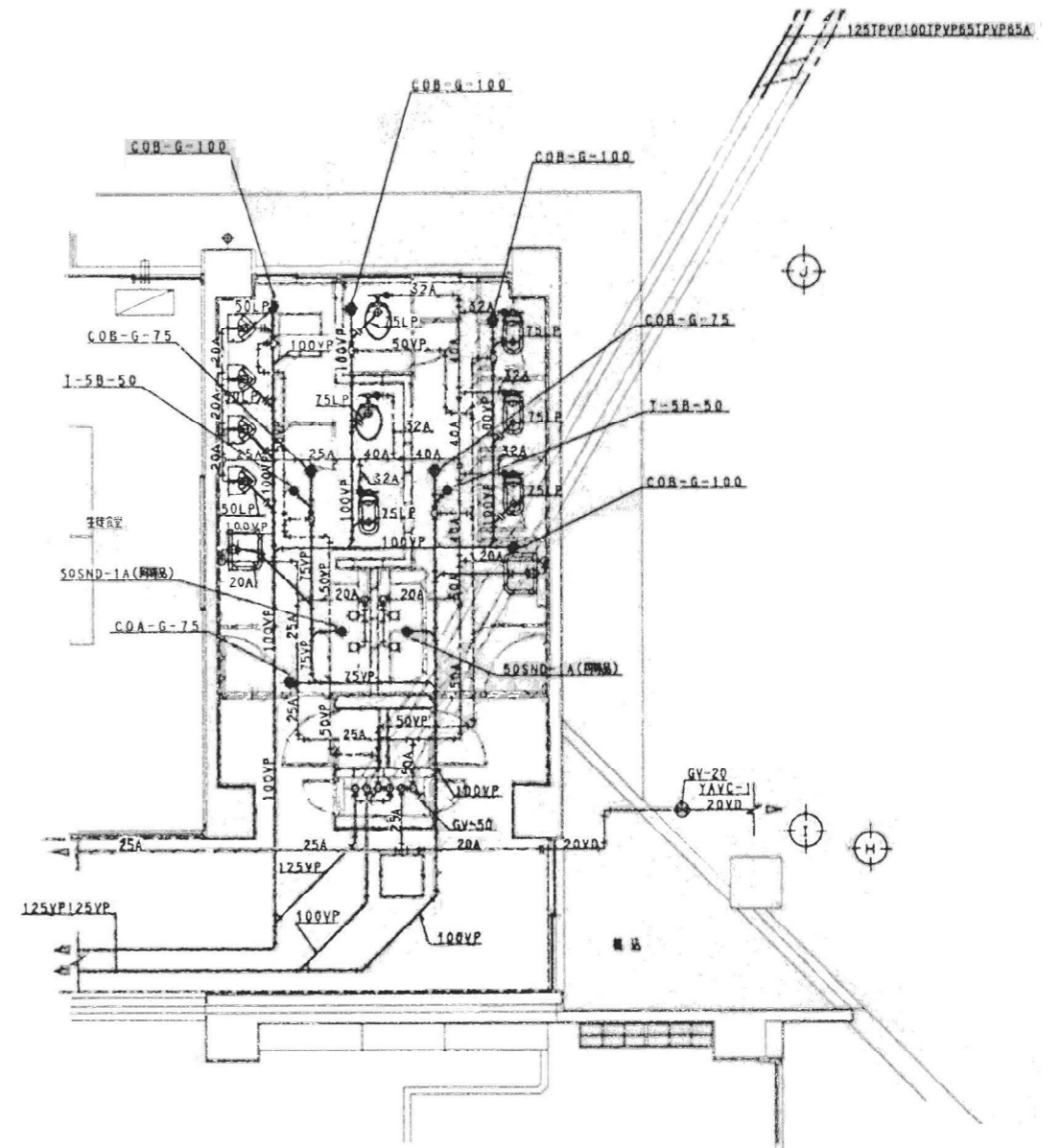
男子便所 2, 3B 平面詳細図

注記(便所A-1, 2, 3, 4F B-1, 2, 3F共通)

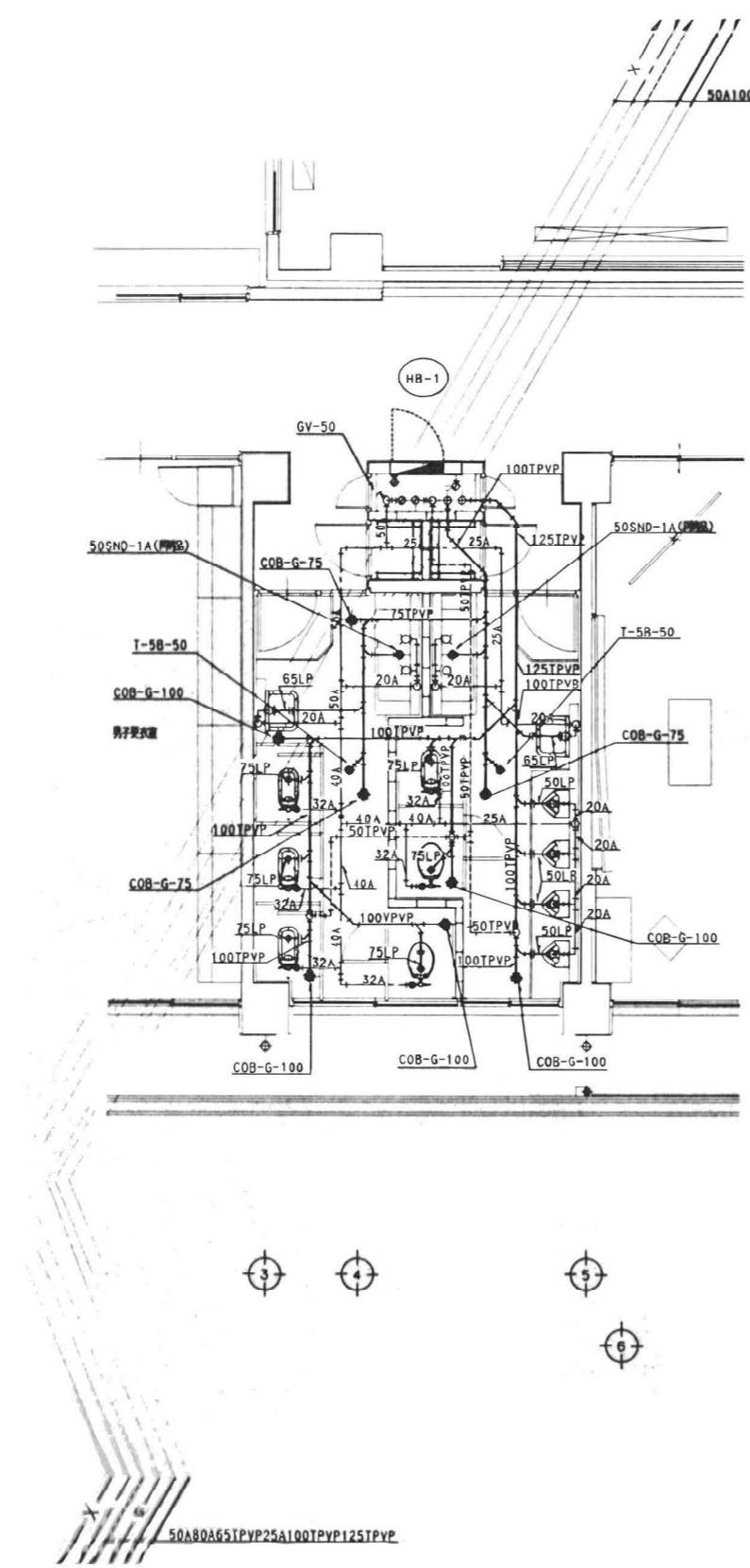
- 1 配管更新箇所は概ね図示位置とするが、現場合せとする。
- 2 図示細線は既存管を、太線は更新配管をしめす。
- 3 更新箇所より二次側の給排水管は全て撤去とし、更新とする。
- 4 床スラブの析り口径は75mm以下とする。
- 5 床スラブの貫通箇所はなるべく既存穴を利用すること。
- 6 図中 は床スラブ溝研り箇所をしめす。



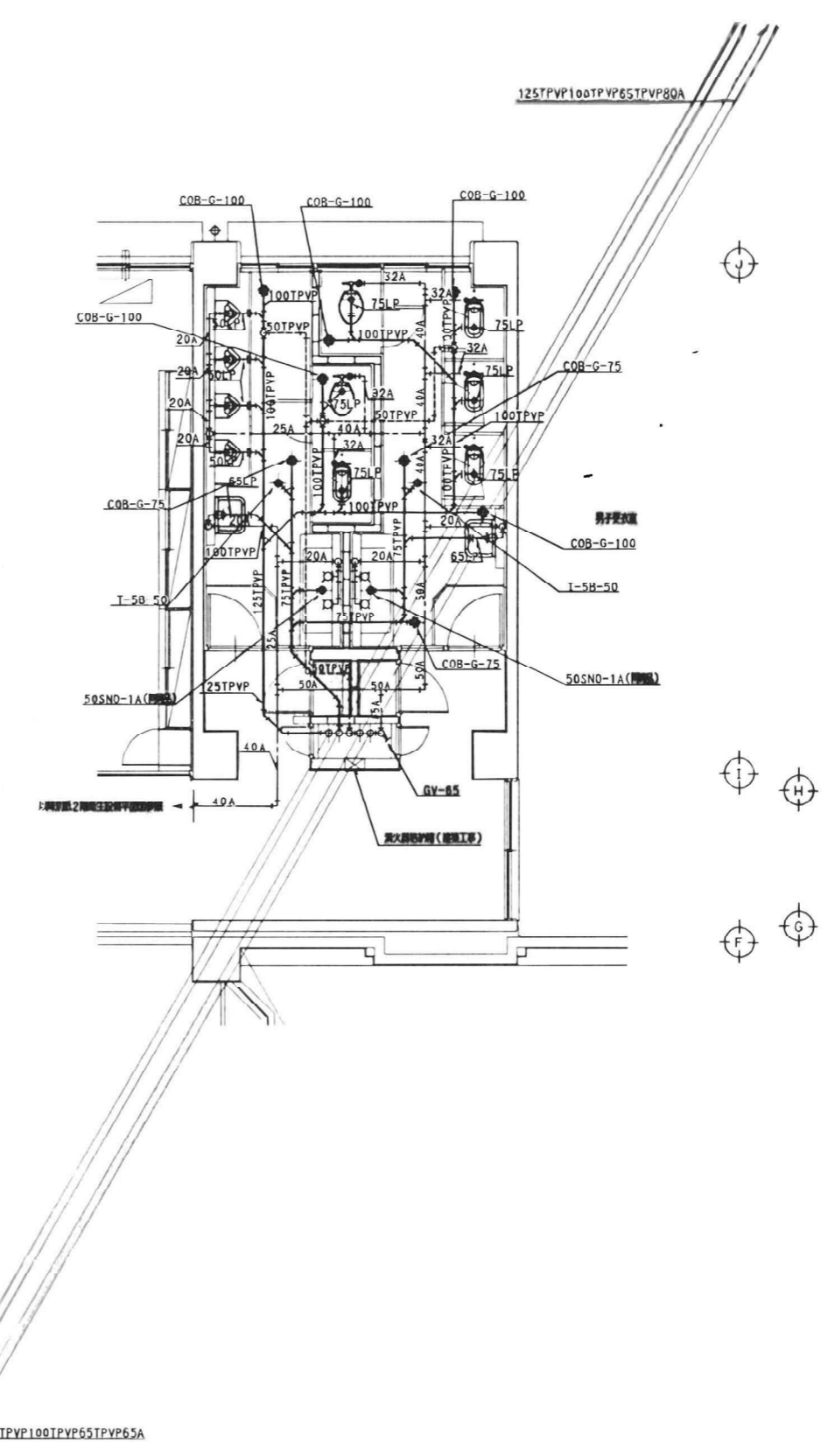
既存 男・女子便所 1A 平面詳細図



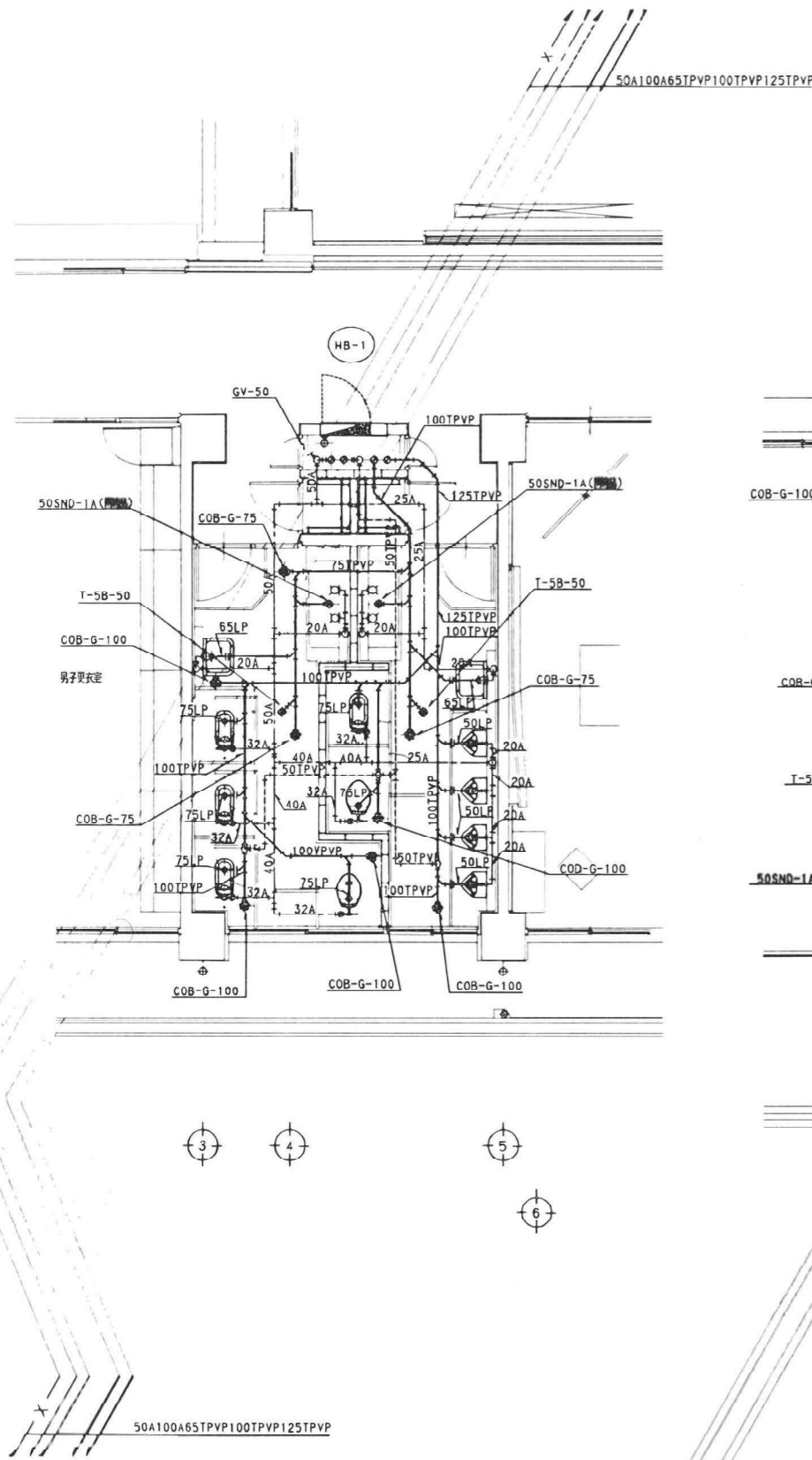
既存 男・女子便所 1B 平面詳細図



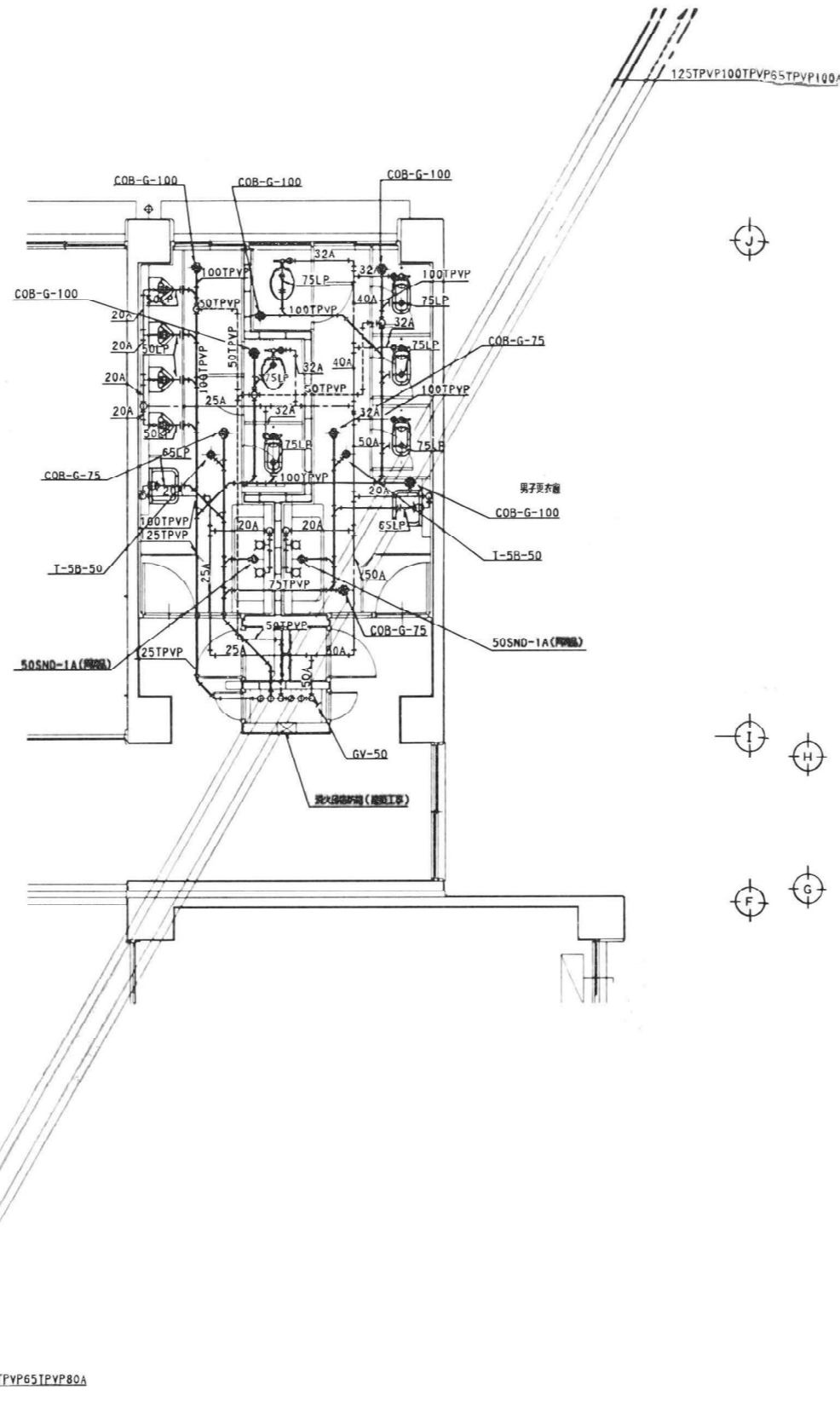
既存 男・女子便所 2A 平面詳細図



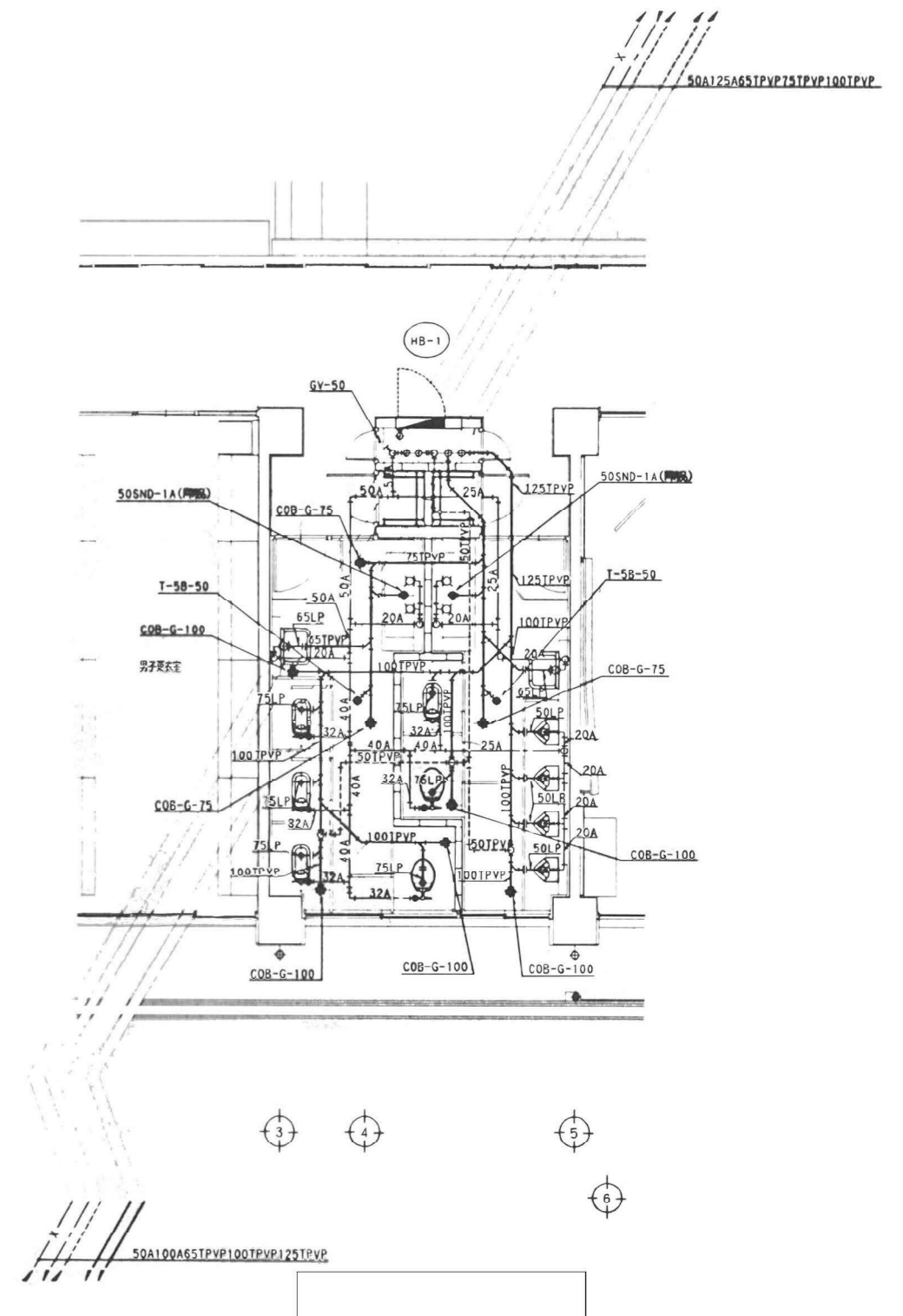
既存 男・女子便所 2B 平面詳細図



既存 男・女子便所 3A 平面詳細図



既存 男・女子便所 3B 平面詳細図



既存 男・女子便所 4A 平面詳細図